

市内中小企業の景況について
(第 126 回京都市中小企業経営動向実態調査)

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し、経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 30 年 3 月
- ・ 調査対象期間 平成 30 年 1 月～3 月期 (3 箇月実績) / 平成 30 年 4～6 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 370 社、非製造業 430 社、計 800 社に対しアンケートを送付。486 社が回答 (回収率 60.8%)。

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	241 (49.6)	非製造業	245 (50.4)
西陣	20 (4.1)	卸売	53 (10.9)
染色	31 (6.4)	小売	53 (10.9)
印刷	29 (6.0)	情報通信	21 (4.3)
窯業	16 (3.3)	飲食・宿泊	30 (6.2)
化学	21 (4.3)	サービス	53 (10.9)
金属	27 (5.6)	建設	35 (7.2)
機械	28 (5.8)	不明	0 (0.0)
その他の製造	69 (14.2)	合計	486 (100.0)

※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)	52 (10.7)
-----------------------	-----------

➤ =Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

増加、上昇などと回答した企業の企業割合から、減少、低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として、それより上である場合は、上向き傾向を表す回答が多いことを示し、下である場合は、下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

➤ 中小企業の定義

中小企業基本法に基づき、業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業、その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信、飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については、インターネットホームページでも御覧いただけます。

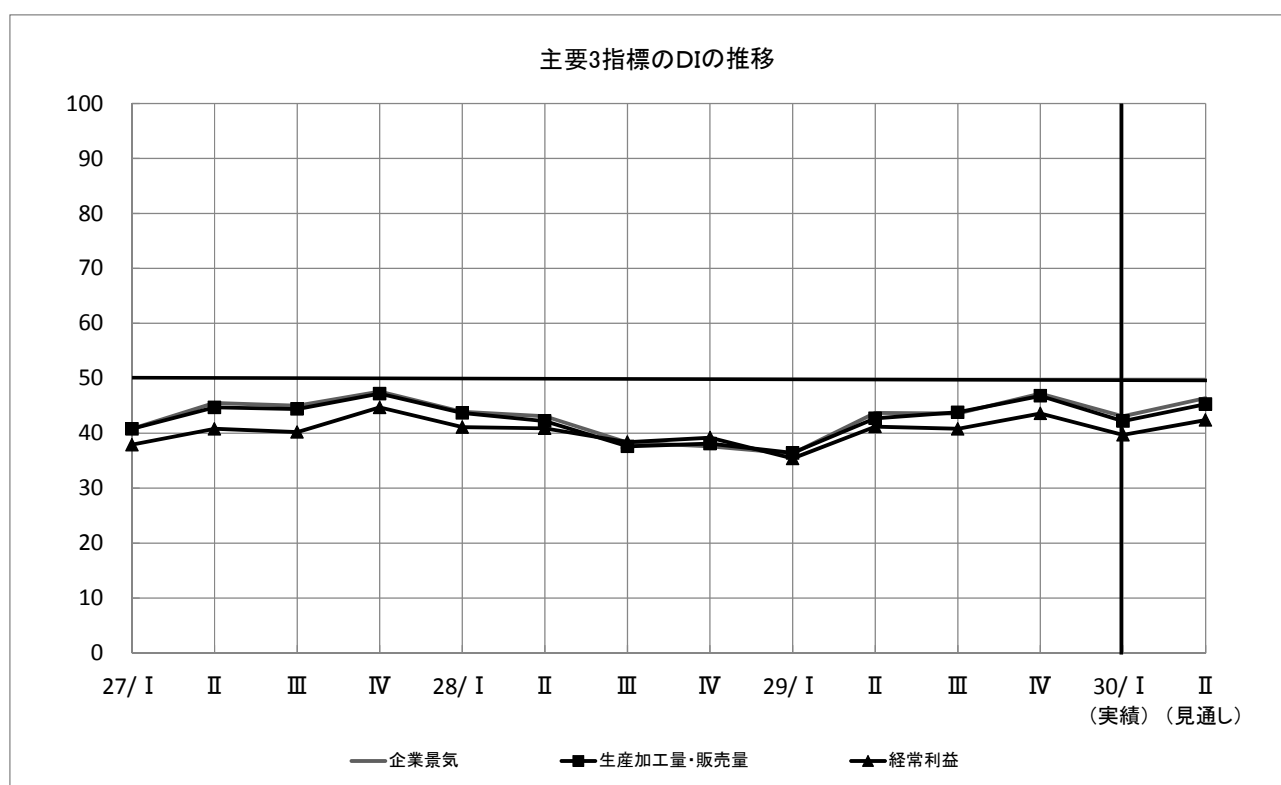
URL <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/30-3-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

調査結果概要

1 景気動向について

- 今期の企業景気DIは、全産業で4.1ポイント低下した。製造業で5.3ポイント低下、非製造業で3.0ポイント低下した。
- 来期の企業景気DIの見通しは、全産業で3.3ポイント上昇。製造業で4.2ポイント上昇、非製造業では2.4ポイント上昇。

<主要3指標のDIの推移>



		前期 (H29/10-12月)		今期 (H30/1-3月)		来期 (4-6月)	
			増減		増減		増減
企業景気DI	全産業	47.2	△3.6	43.1	▼4.1	46.4	△3.3
	製造業	49.8	△3.2	44.5	▼5.3	48.7	△4.2
	非製造業	44.7	△3.8	41.7	▼3.0	44.1	△2.4
生産加工量・販売量DI	全産業	46.8	△3.0	42.2	▼4.6	45.3	△3.1
	製造業	50.9	△3.9	45.1	▼5.8	48.2	△3.1
	非製造業	42.5	△1.9	39.2	▼3.3	42.1	△2.9
経常利益DI	全産業	43.6	△2.8	39.7	▼3.9	42.4	△2.7
	製造業	48.4	△4.5	43.3	▼5.1	44.8	△1.5
	非製造業	38.7	△0.8	36.0	▼2.7	39.8	△3.8

<主要3指標の業種別推移（今期／来期見通し）>

	企業景気DI				生産加工量・販売量DI				経常利益DI			
	今期		来期		今期		来期		今期		来期	
		増減		増減		増減		増減		増減		増減
製造業	44.5	▼5.3	48.7	△4.2	45.1	▼5.8	48.2	△3.1	43.3	▼5.1	44.8	△1.5
西陣	28.9	▼3.7	27.8	▼1.1	34.2	△1.6	27.8	▼6.4	28.9	▼3.7	30.6	△1.7
染色	17.2	▼21.3	25.9	△8.7	19.0	▼17.5	27.6	△8.6	20.7	▼15.8	31.0	△10.3
印刷	41.1	△9.1	46.4	△5.3	44.6	△10.6	48.2	△3.6	37.5	△1.5	44.6	△7.1
窯業	43.8	▼10.0	46.9	△3.1	43.3	▼14.4	46.7	△3.4	43.3	▼10.5	43.3	0.0
化学	52.6	▼9.9	57.9	△5.3	52.6	▼13.0	57.9	△5.3	55.3	△5.3	47.4	▼7.9
金属	61.5	▼5.8	57.7	▼3.8	62.0	▼7.2	57.7	▼4.3	57.7	▼3.8	50.0	▼7.7
機械	60.9	▼14.1	65.2	△4.3	56.5	▼15.7	58.7	△2.2	63.0	▼8.4	56.5	▼6.5
その他の製造	47.8	△2.3	53.7	△5.9	47.7	▼0.8	53.0	△5.3	43.8	▼3.2	48.4	△4.6
非製造業	41.7	▼3.0	44.1	△2.4	39.2	▼3.3	42.1	△2.9	36.0	▼2.7	39.8	△3.8
卸売	40.0	▼5.6	42.9	△2.9	36.5	▼8.9	46.8	△10.3	37.5	▼3.6	45.7	△8.2
小売	41.0	▼5.6	41.7	△0.7	40.4	▼1.9	38.9	▼1.5	30.2	▼7.6	37.0	△6.8
情報通信	58.3	△3.3	50.0	▼8.3	53.1	△0.5	43.8	▼9.3	56.3	△9.1	46.9	▼9.4
飲食・宿泊	46.3	△7.2	40.4	▼5.9	42.3	△5.2	40.0	▼2.3	31.5	▼1.3	34.6	△3.1
サービス	37.5	△1.1	50.0	△12.5	35.1	△2.7	44.4	△9.3	35.2	△0.7	41.7	△6.5
建設	38.6	▼11.4	41.2	△2.6	36.8	▼10.4	37.9	△1.1	37.1	▼4.8	33.3	▼3.8
観光関連企業	42.9	△5.6	43.9	△1.0	39.4	△1.7	45.7	△6.3	35.4	△3.0	43.6	△8.2

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇，▼は低下を示す。）

<設備投資DI 推移（今期／来期見通し）>

	設備投資DI			
	今期		来期	
		増減		増減
製造業	21.0	▼2.3	21.5	△0.5

注：増減は当該期と1期前との差（△は上昇，▼は低下を示す。）

(1) 今期実績 平成30年1月～3月期

全産業の企業景気DIは、4.1ポイント低下した。

製造業全体の企業景気DIは、5.3ポイント低下した。「原材料の高騰」(上京区/西陣)、「売上減少」(中京区/染色)、「取引先減少」(東山区/窯業)、「受注量の減少と人手不足」(伏見区/化学)、「前年の中国特需の反動」(南区/金属)、「仕事は増加しているが、単価が安く受注できない」(右京区/機械)などの要因により、西陣、染色、窯業、化学、金属、機械の6業種が低下した。一方、「観光客の増加」(伏見区/その他の製造)、「新規ユーザーの獲得」(南区/その他の製造)などの要因により、印刷、その他の製造の2業種が上昇した。

非製造業全体の企業景気DIは、3.0ポイント低下した。「為替上昇と輸入元の物価上昇」(北区/卸売)、「物流価格の高騰」(山科区/小売)、「人手不足により、新たな受注ができない」(南区/建設)などの要因により、卸売、小売、建設の3業種が低下した。一方、「売上増加」(伏見区/情報通信)、「中国・韓国・台湾からの観光客増加」(中京区/飲食・宿泊)、「値上げによる売上増」(伏見区/サービス)などの要因により、情報通信、飲食・宿泊、サービスの3業種が上昇した。

観光関連は、5.6ポイント上昇した。

今期の企業景気DIは、製造業、非製造業ともに低下した。特に、染色、機械、建設、窯業が2桁の低下となるなど、全体で4.1ポイント低下した。観光客増加などにより、飲食・宿泊など一部の業種で上昇する一方、売上減少や原材料費・仕入価格の上昇、人手不足などの要因により、多くの業種で企業景気DIが低下した。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中3業種であり、いずれも低下した業種は7業種である。

今期:主要3指標DIいずれも上昇した業種 14業種中3業種

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	41.1 (△ 9.1)	44.6 (△ 10.6)	37.5 (△ 1.5)
情報通信	58.3 (△ 3.3)	53.1 (△ 0.5)	56.3 (△ 9.1)
サービス	37.5 (△ 1.1)	35.1 (△ 2.7)	35.2 (△ 0.7)

今期:主要3指標DIいずれも低下した業種 14業種中7業種

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
染色	17.2 (▼ 21.3)	19.0 (▼ 17.5)	20.7 (▼ 15.8)
窯業	43.8 (▼ 10.0)	43.3 (▼ 14.4)	43.3 (▼ 10.5)
金属	61.5 (▼ 5.8)	62.0 (▼ 7.2)	57.7 (▼ 3.8)
機械	60.9 (▼ 14.1)	56.5 (▼ 15.7)	63.0 (▼ 8.4)
卸売	40.0 (▼ 5.6)	36.5 (▼ 8.9)	37.5 (▼ 3.6)
小売	41.0 (▼ 5.6)	40.4 (▼ 1.9)	30.2 (▼ 7.6)
建設	38.6 (▼ 11.4)	36.8 (▼ 10.4)	37.1 (▼ 4.8)

注:カッコ内は前期との差(今期マイナス前期。△は上昇、▼は低下を示す。)

(2) 来期見通し 平成30年4月～6月期

企業景気DIの来期見通しは、3.3ポイント上昇見込みとなっている。

製造業全体の企業景気DIは、4.2ポイント上昇見込みとなっている。「新刊・改訂版が発刊されるため」(左京区/印刷)、「当社ならではの品種に重点をおいた販売戦略の効果が出てきている」(左京区/窯業)、「半導体リチウム電池関係が好調」(南区/化学)、「5箇月連続で受注が前年同月を上回っており、来期も上回る見込み」(南区/機械)、「取引先拡大による売上増加見込み」(右京区/その他の製造)などの要因により、染色、印刷、窯業、化学、機械、その他の製造の6業種が上昇の見込み。一方、「取引先の業績悪化」(上京区/西陣)、「見積依頼の減少」(伏見区/金属)などの要因により、西陣、金属の2業種が低下の見込み。

非製造業全体の企業景気DIは、2.4ポイント上昇見込みとなっている。「ブランドを統一してターゲットを集中」(左京区/卸売)、「店舗増加による売上増加」(左京区/小売)、「大型案件を受注見込み」(上京区/サービス)などの要因により、卸売、小売、サービス、建設の4業種が上昇の見込み。一方、「輸入食品と国産野菜の価格上昇」(中京区/飲食・宿泊)、「接客人員の減少のため予約を制限する日がある」(中京区/飲食・宿泊)などの要因により、情報通信、飲食・宿泊の2業種が低下の見込み。

観光関連は、1.0ポイント上昇の見込み。

景気は、緩やかに回復している。先行きについても、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続くことが期待される。

京都市の中小企業についてみると、今期の企業景気DIは、売上減少や原材料費・仕入価格の上昇、人手不足などの要因により、多くの業種で低下し、全体で4.1ポイント低下した。先行きについては、製造業を中心に、多くの業種で受注や売上の増加を見込んでおり、全産業で3.3ポイントの上昇見込み。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は14業種中5業種であり、いずれも低下と予測している業種も2業種。

来期見通し:主要3指標いずれも上昇と予測した業種 14業種中5業種

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
染色	25.9 (△ 8.7)	27.6 (△ 8.6)	31.0 (△ 10.3)
印刷	46.4 (△ 5.3)	48.2 (△ 3.6)	44.6 (△ 7.1)
その他の製造	53.7 (△ 5.9)	53.0 (△ 5.3)	48.4 (△ 4.6)
卸売	42.9 (△ 2.9)	46.8 (△ 10.3)	45.7 (△ 8.2)
サービス	50.0 (△ 12.5)	44.4 (△ 9.3)	41.7 (△ 6.5)

来期見通し:主要3指標いずれも低下と予測した業種 14業種中2業種

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
金属	57.7 (▼ 3.8)	57.7 (▼ 4.3)	50.0 (▼ 7.7)
情報通信	50.0 (▼ 8.3)	43.8 (▼ 9.3)	46.9 (▼ 9.4)

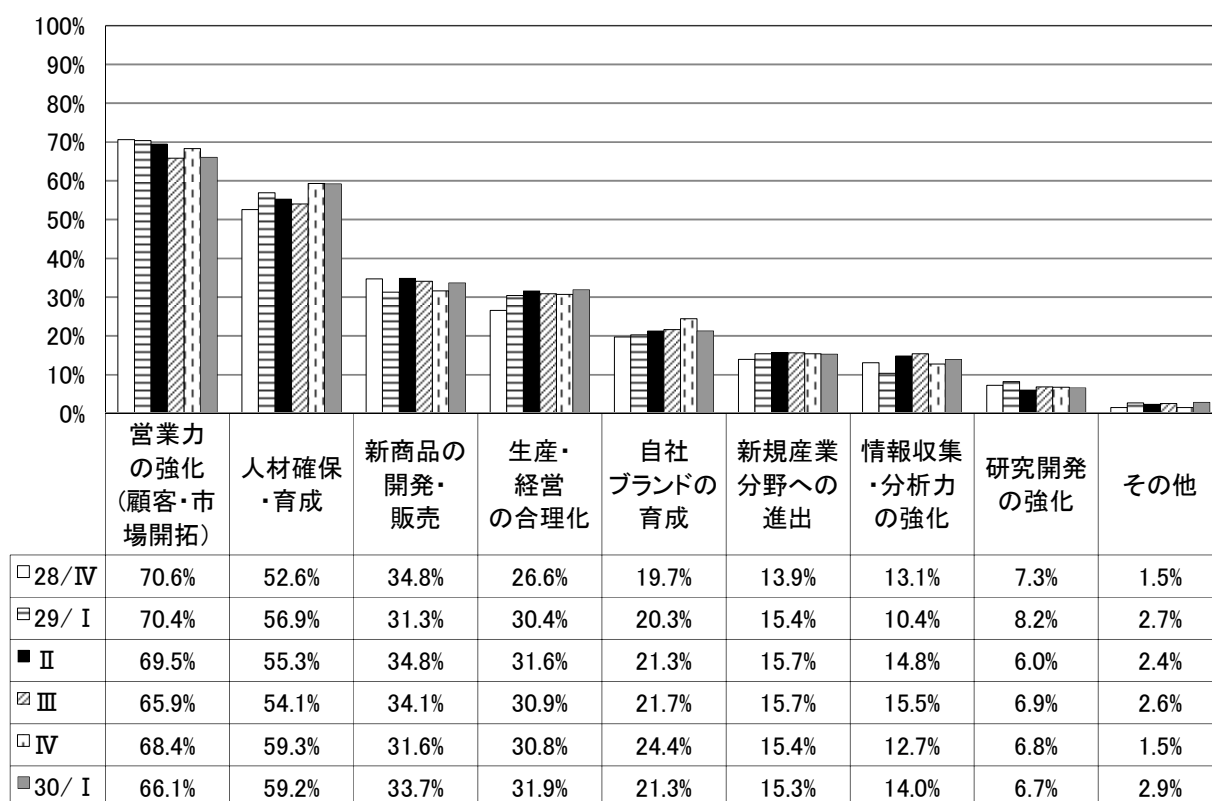
注:カッコ内は今期との差(来期マイナス今期。△は上昇を示す。)

2 当面の経営戦略について

● 「営業力の強化」が引き続きトップ。「人材確保・育成」を重視する企業も高水準を維持。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が 66.1%と、引き続き最も多くなっている。続いて「人材確保・育成」が 59.2%、「新商品の開発・販売」が 33.7%、「生産・経営の合理化」が 31.9%となっている。

前期と比較すると、すべての項目で順位の変動はなかった。上昇しているのは、「新商品の開発・販売」の 2.1 ポイント増、「情報収集・分析力の強化」の 1.3 ポイント増などとなっている。一方、低下しているのは、「自社ブランドの育成」が 3.1 ポイント減, 「営業力の強化」が 2.3 ポイント減などとなっている。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合合計が 100%を超える。

3 経営上の不安要素について

●「人材育成」が引き続きトップ。「原材料価格上昇」を挙げる企業が最も増加。

経営上の不安要素としては、「人材育成」を挙げる企業が47.3%と、引き続き40%を上回る結果となった。続いて、「売上不振」が37.8%、「競争激化」が33.2%、「人手不足」が32.1%、「人件費増加」が25.2%となっている。

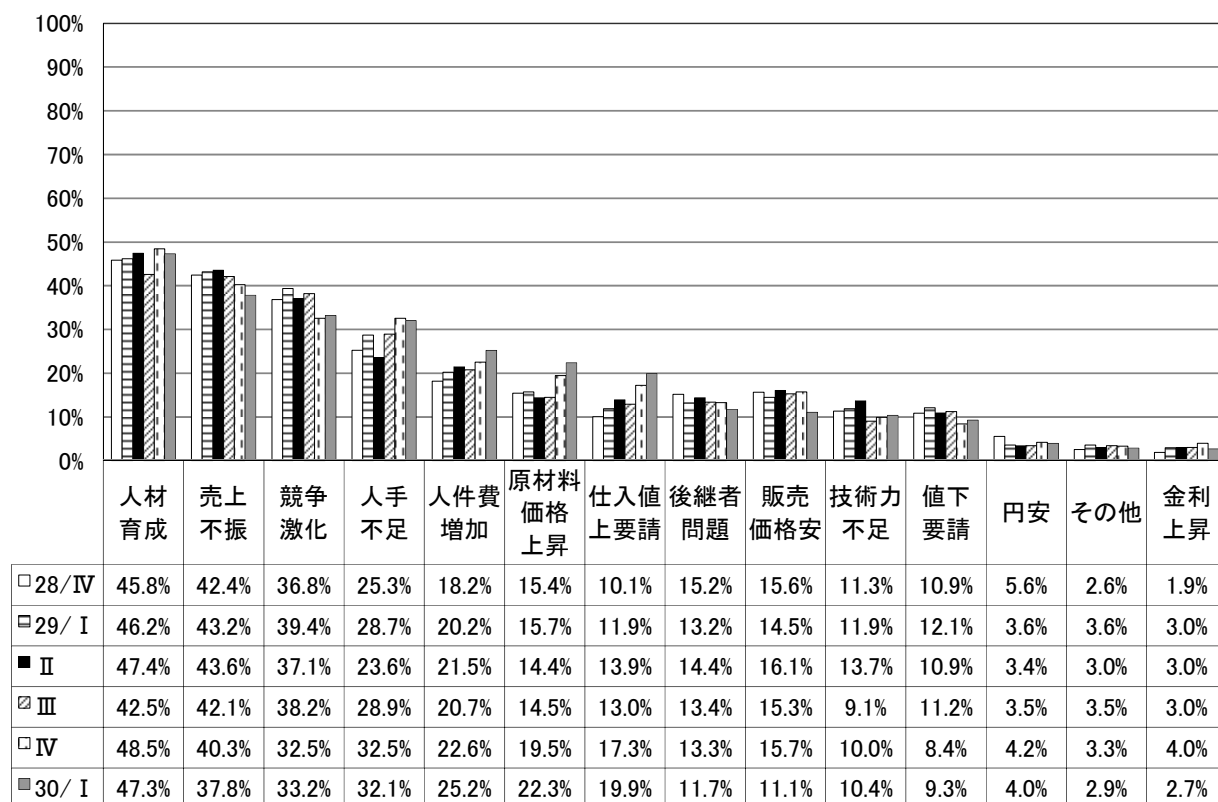
前期と比較すると、「人材育成」が引き続きトップとなった。最も上昇しているのは、「原材料価格上昇」で2.8ポイント増、続いて「人件費増加」と「仕入値上要請」が2.6ポイント増となっている。一方、最も低下しているのは、「販売価格安」で4.6ポイント減、続いて「売上不振」が2.5ポイント減となっている。

業種別にみると、窯業、化学、金属、機械（※1）、小売、情報通信、サービス、建設の8業種では、「人材育成」と回答した企業が最も多く、西陣、染色、卸売の3業種では、「売上不振」と回答した企業が最も多かった。印刷では「競争激化」が、その他の製造では「仕入値上要請」が、飲食・宿泊では「人手不足」がそれぞれ最も多かった。

観光関連では、「人材育成」が最も多かった。

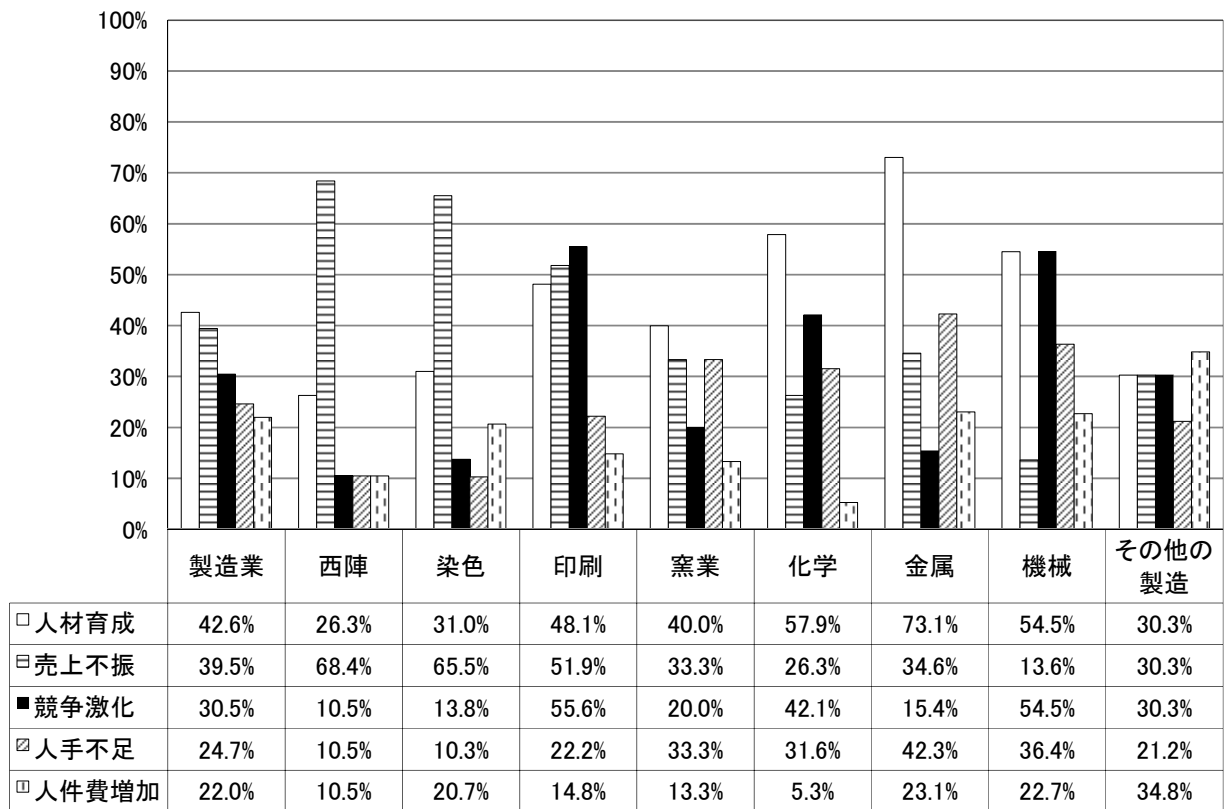
※1 他に「競争激化」が同数。

※2 他に「原材料価格上昇」が同数。

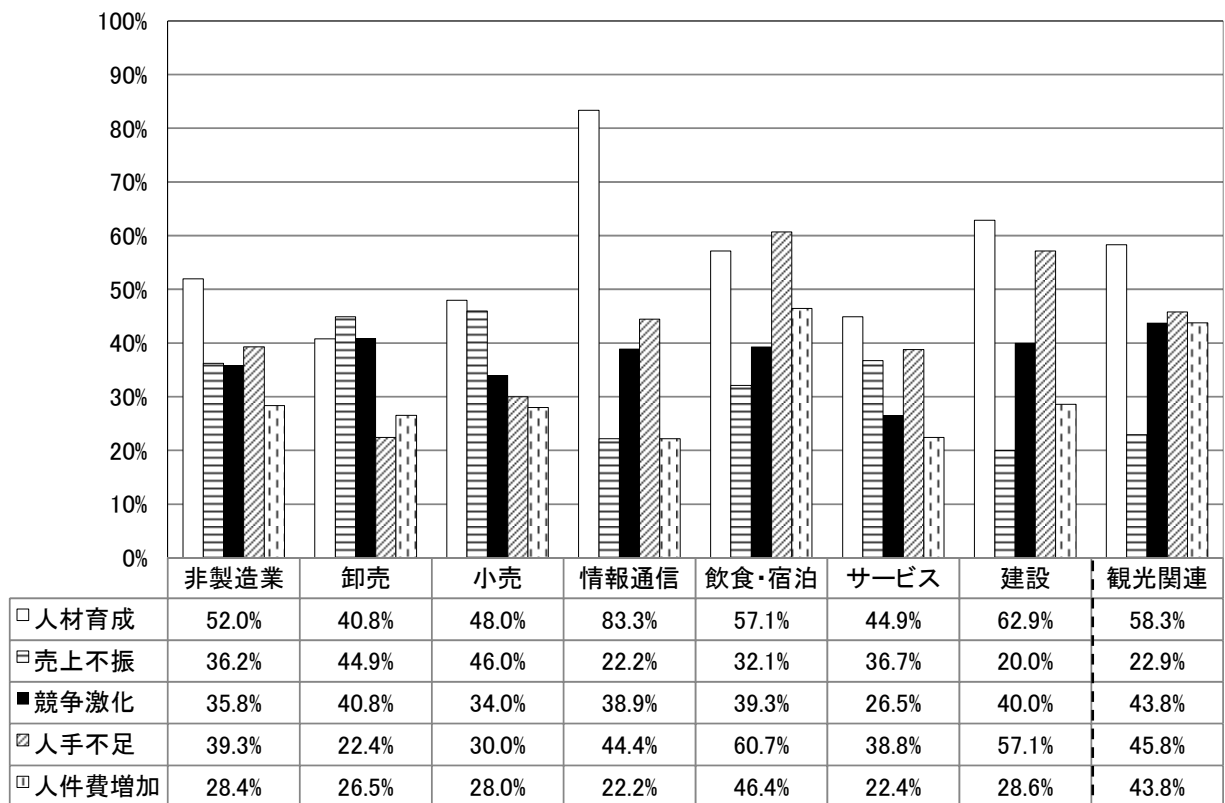


注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

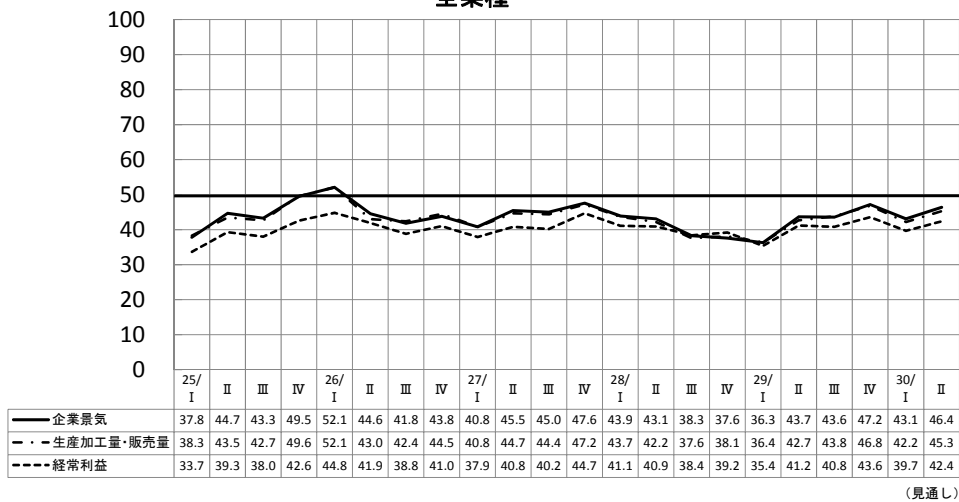


・経営上の不安要素・非製造業主要回答

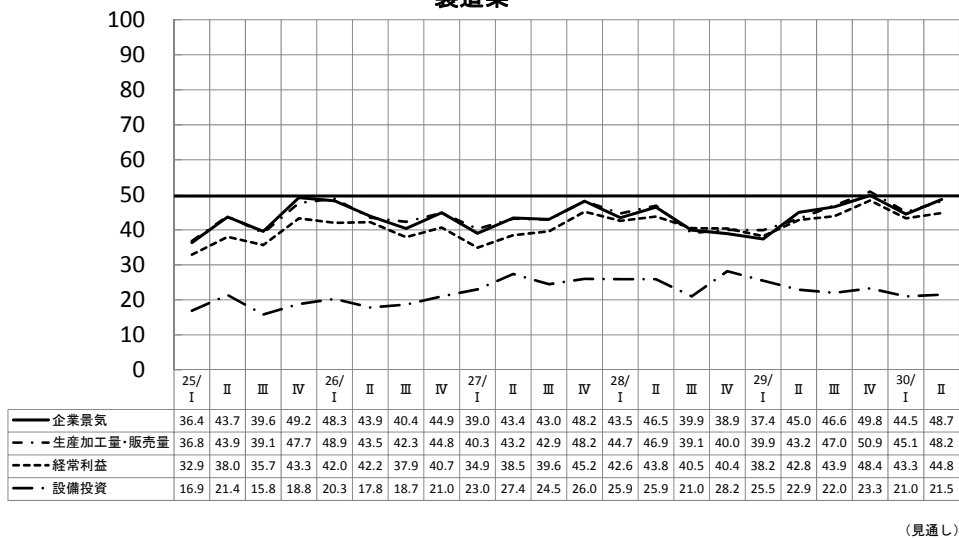


参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

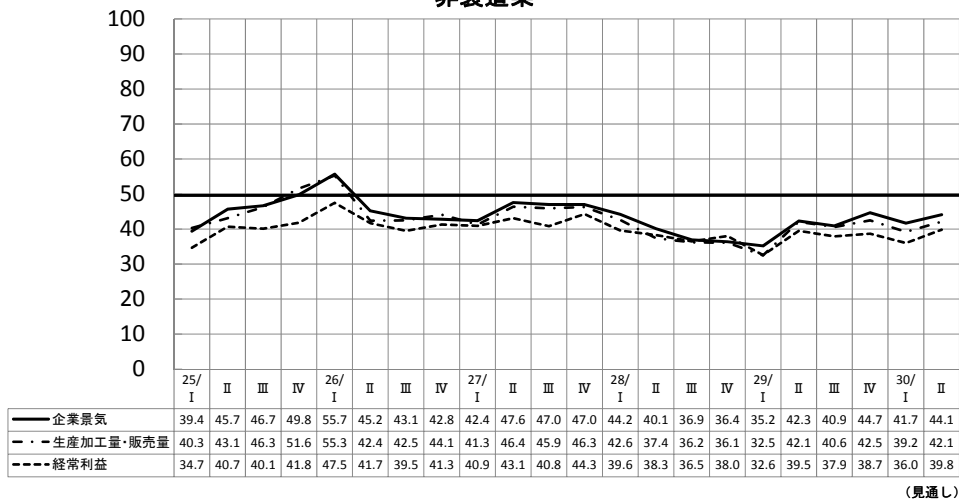
全業種



製造業

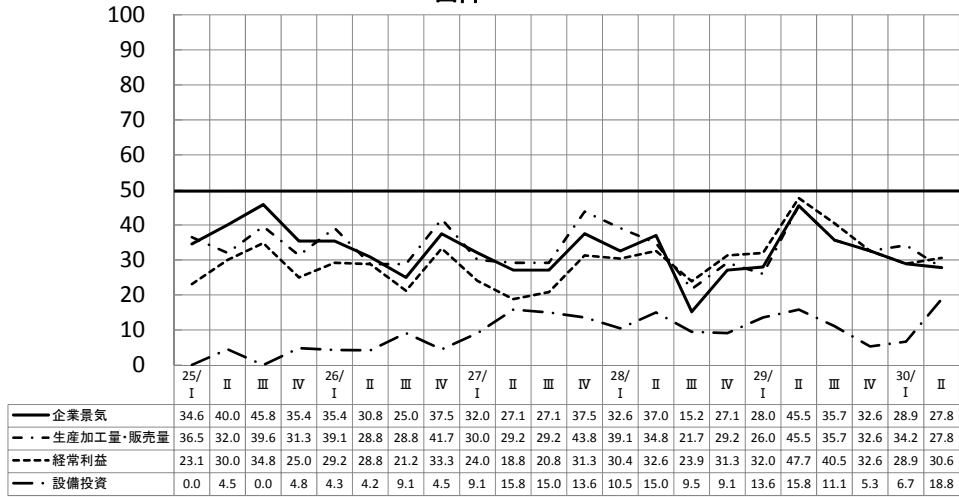


非製造業



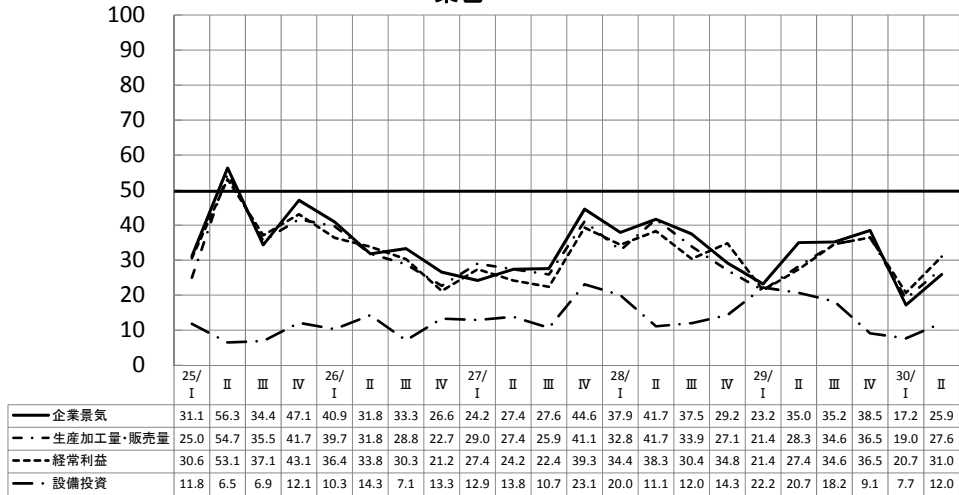
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



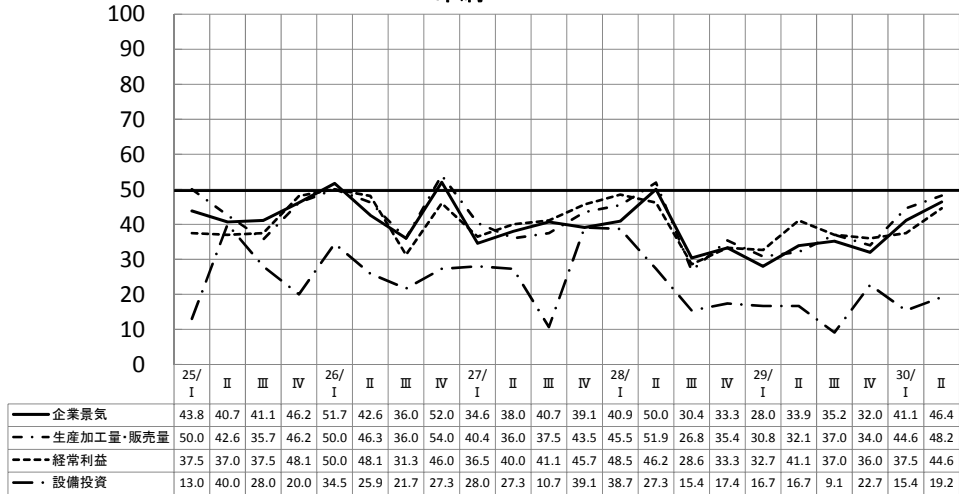
(見通し)

染色



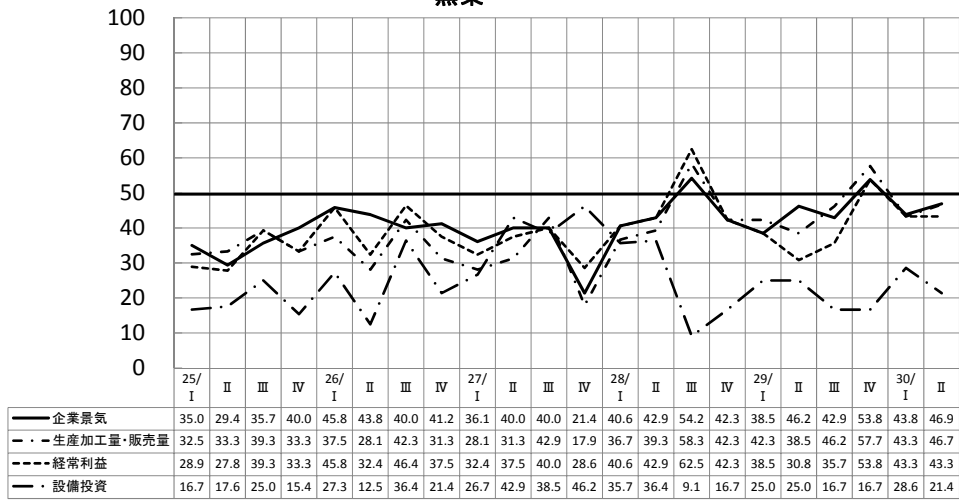
(見通し)

印刷



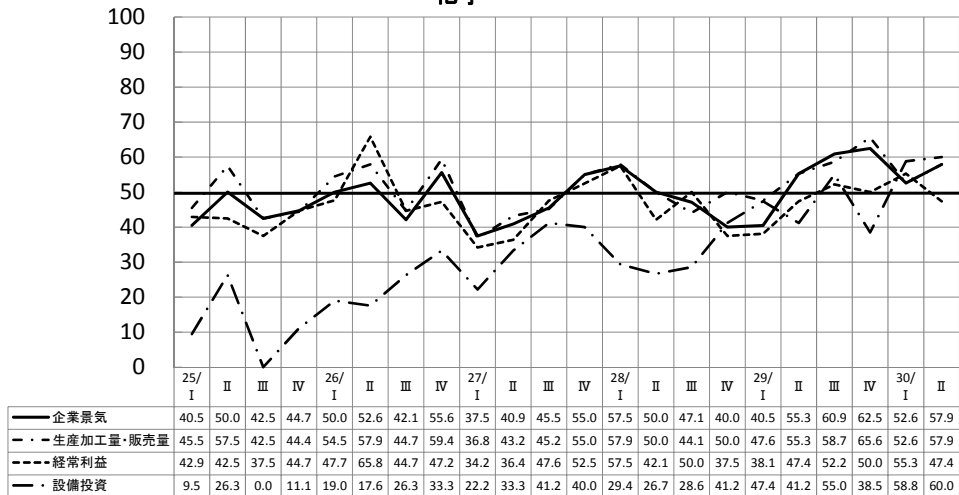
(見通し)

窯業



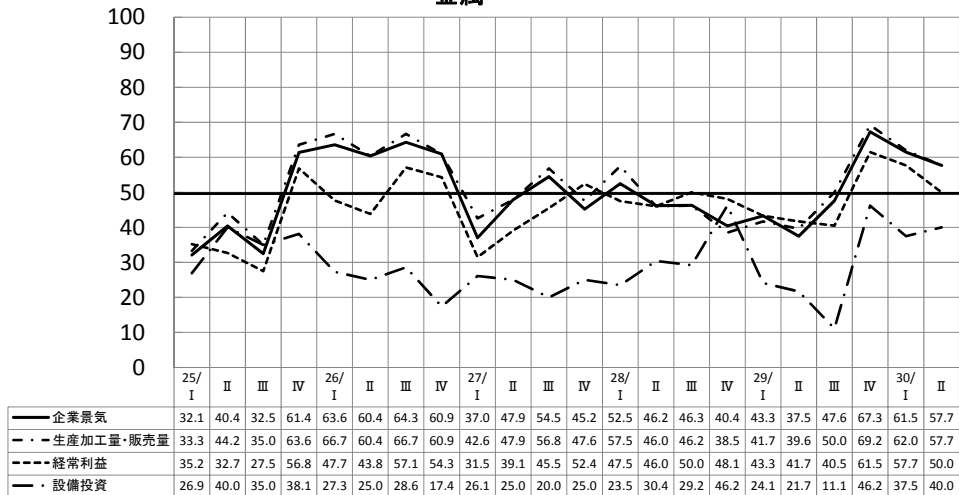
(見通し)

化学



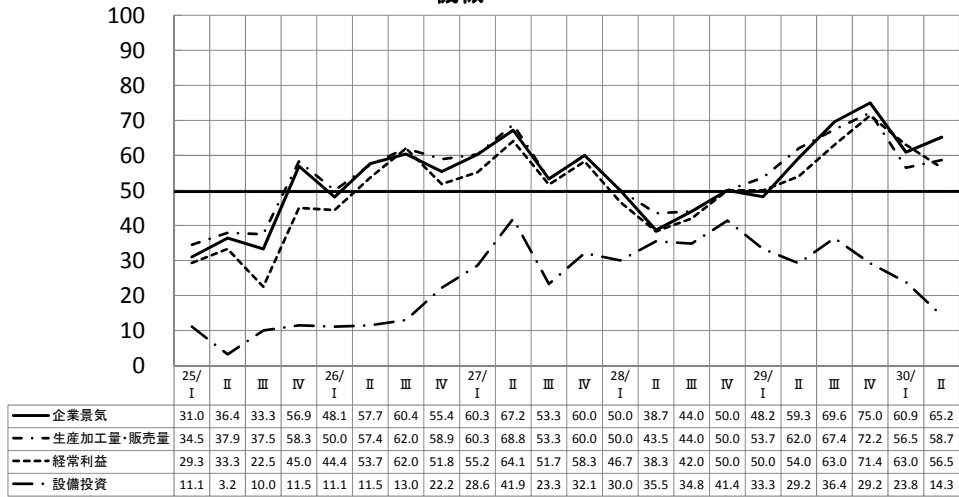
(見通し)

金属



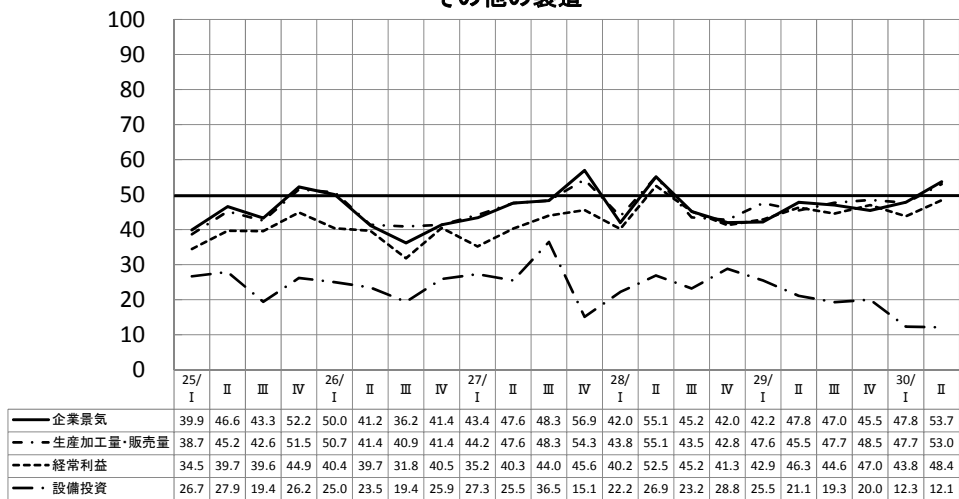
(見通し)

機械



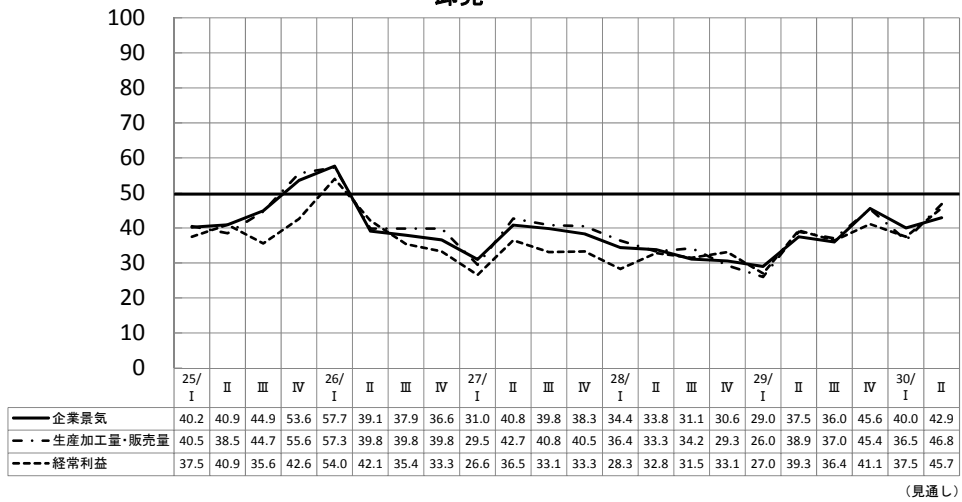
(見通し)

その他の製造

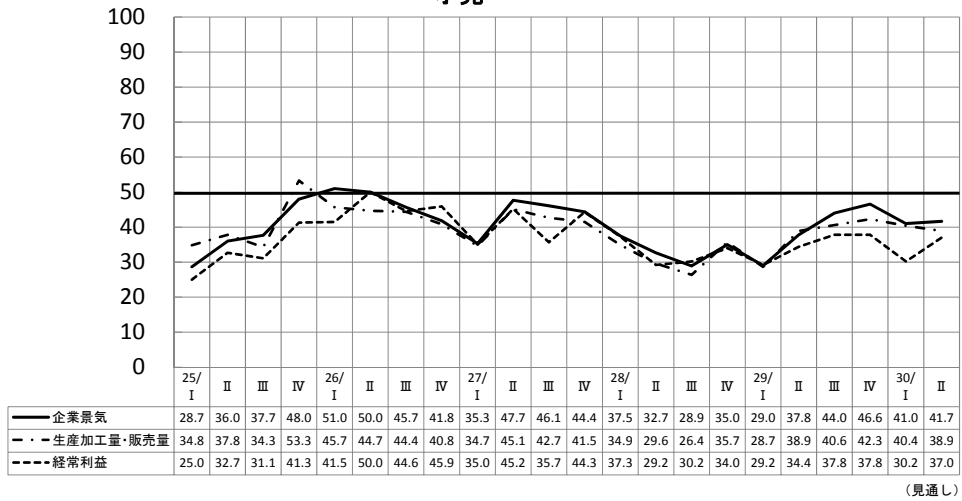


(見通し)

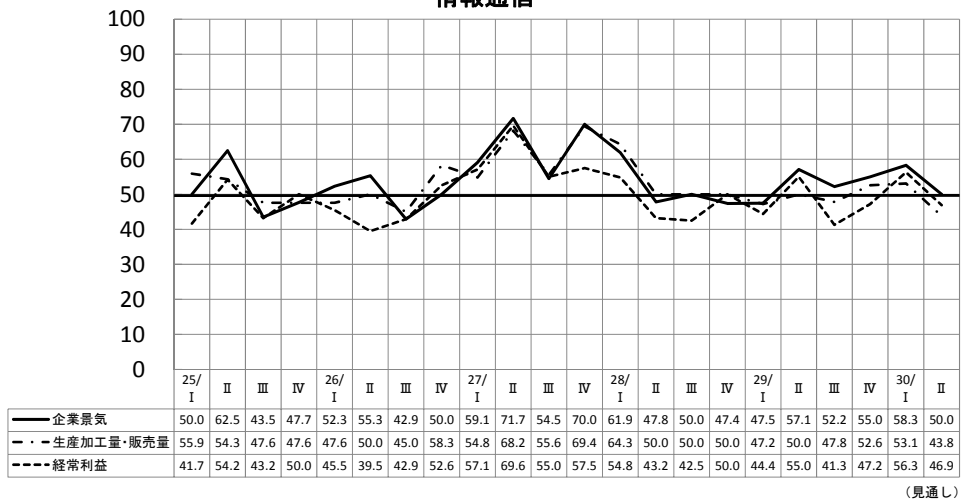
卸売



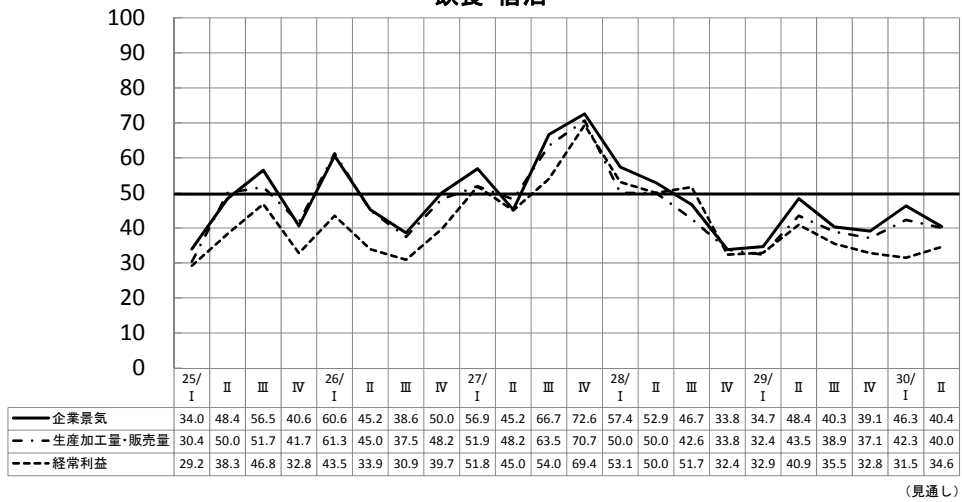
小売



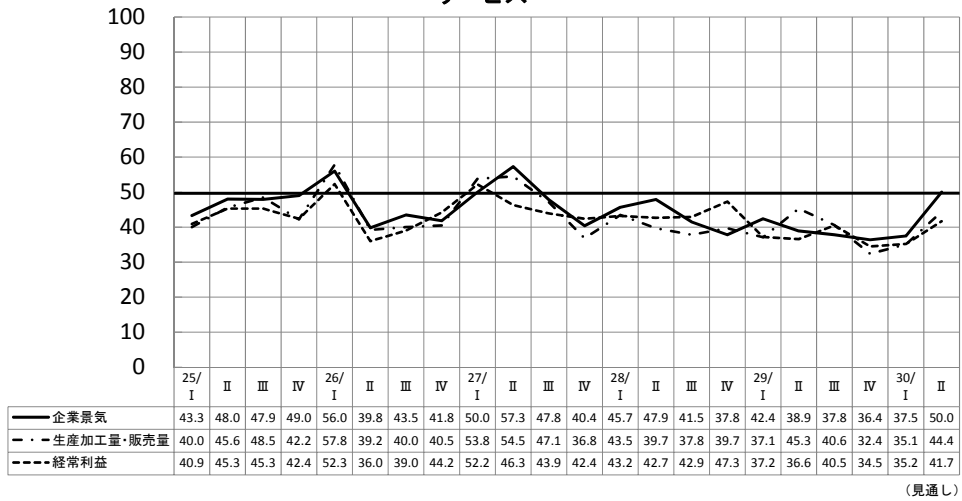
情報通信



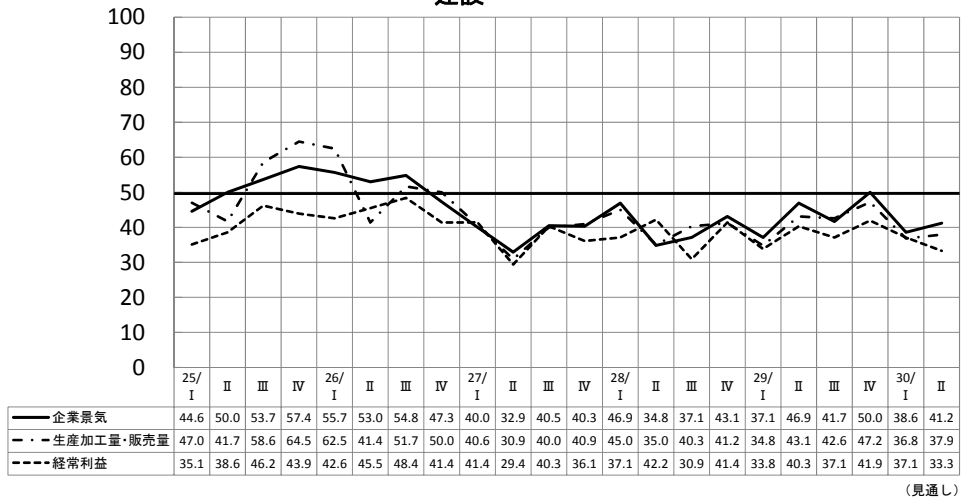
飲食・宿泊



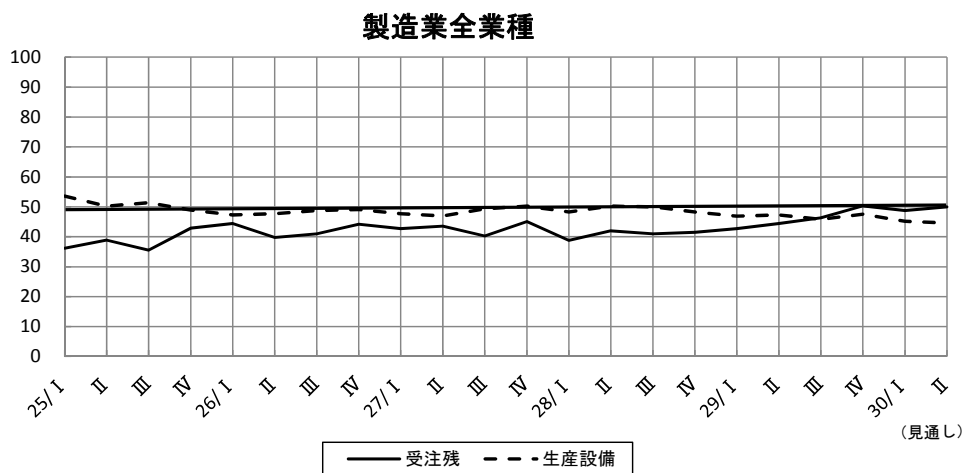
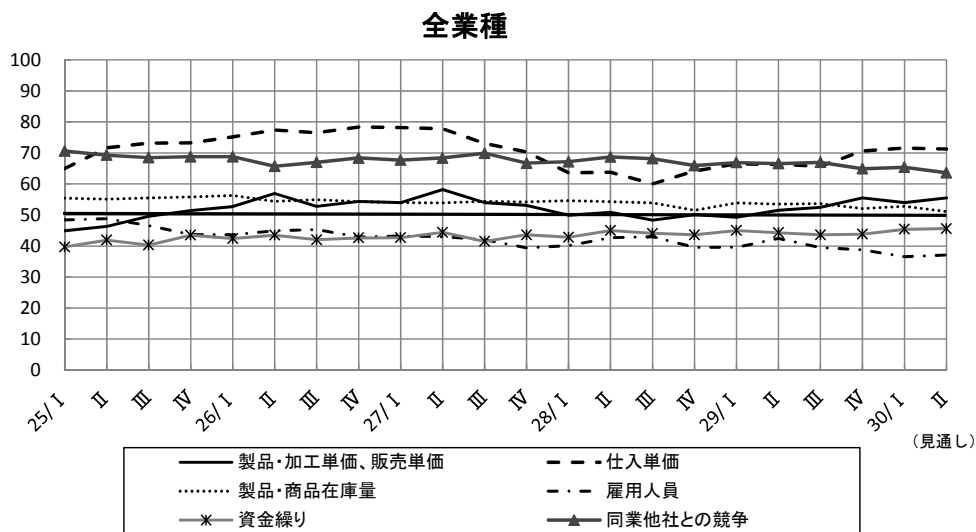
サービス



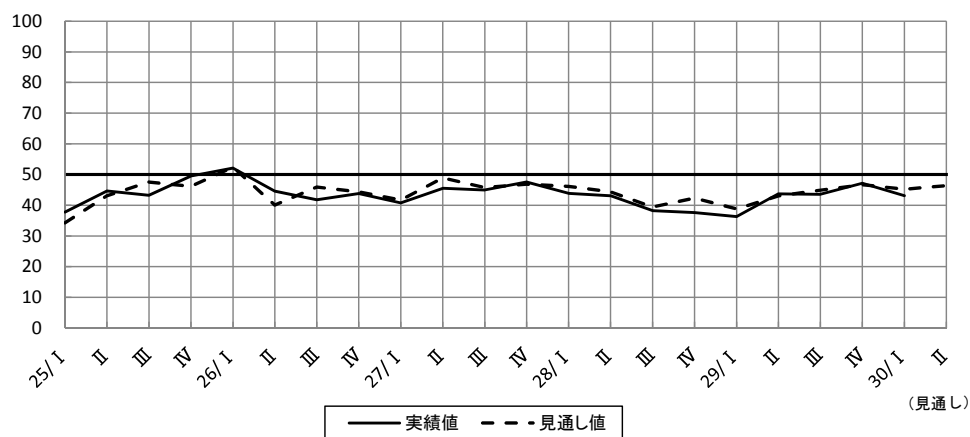
建設



参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	16
1. 企業景気.....	16
2. 生産加工量・販売量.....	18
3. 経常利益.....	20
4. 製品・加工単価, 販売単価.....	22
5. 仕入単価.....	24
6. 製品・商品在庫量.....	26
7. 雇用人員.....	28
8. 資金繰り.....	30
9. 同業他社との競争.....	32
10. 受注残.....	34
11. 生産設備.....	35
12. 設備投資.....	36
(2) 当面の経営戦略について.....	37
(3) 経営上の不安要素について.....	46
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	56

注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DI が低下していることを示す。
- ・ 「△」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DI が上昇していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

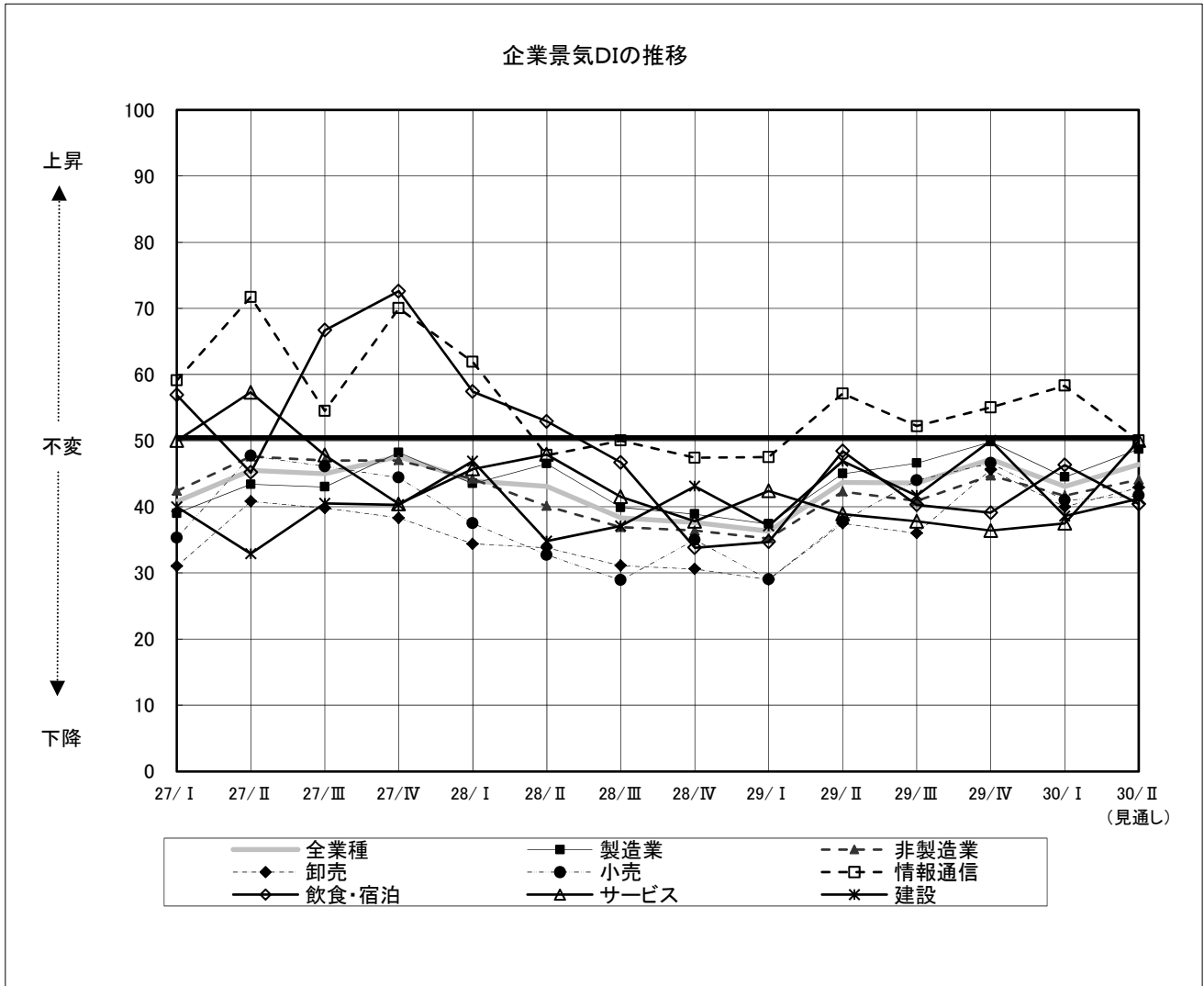


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

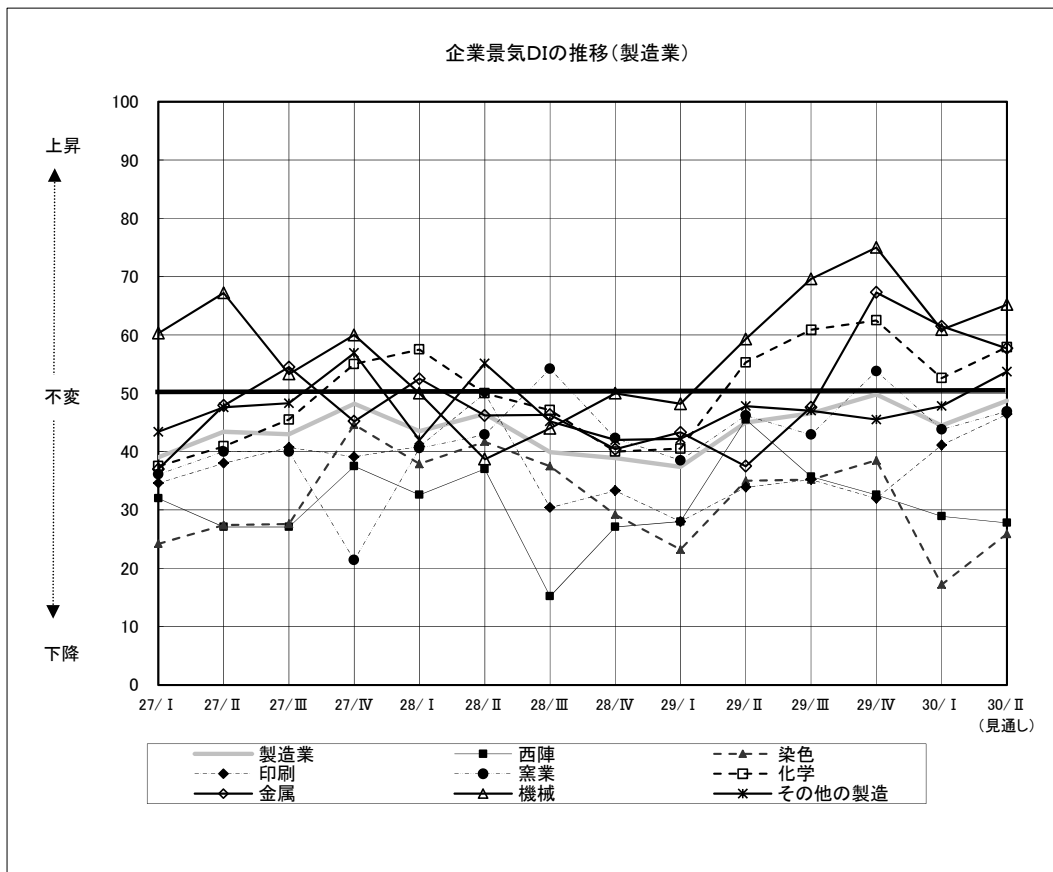


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	47.2	43.1	▼ 4.1	△ 3.3
製造業	49.8	44.5	▼ 5.3	△ 4.2
西陣	32.6	28.9	▼ 3.7	▼ 1.1
染色	38.5	17.2	▼ 21.3	△ 8.7
印刷	32.0	41.1	△ 9.1	△ 5.3
窯業	53.8	43.8	▼ 10.0	△ 3.1
化学	62.5	52.6	▼ 9.9	△ 5.3
金属	67.3	61.5	▼ 5.8	▼ 3.8
機械	75.0	60.9	▼ 14.1	△ 4.3
その他の製造	45.5	47.8	△ 2.3	△ 5.9
非製造業	44.7	41.7	▼ 3.0	△ 2.4
卸売	45.6	40.0	▼ 5.6	△ 2.9
小売	46.6	41.0	▼ 5.6	△ 0.7
情報通信	55.0	58.3	△ 3.3	▼ 8.3
飲食・宿泊	39.1	46.3	△ 7.2	▼ 5.9
サービス	36.4	37.5	△ 1.1	△ 12.5
建設	50.0	38.6	▼ 11.4	△ 2.6
観光関連	37.3	42.9	△ 5.6	△ 1.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

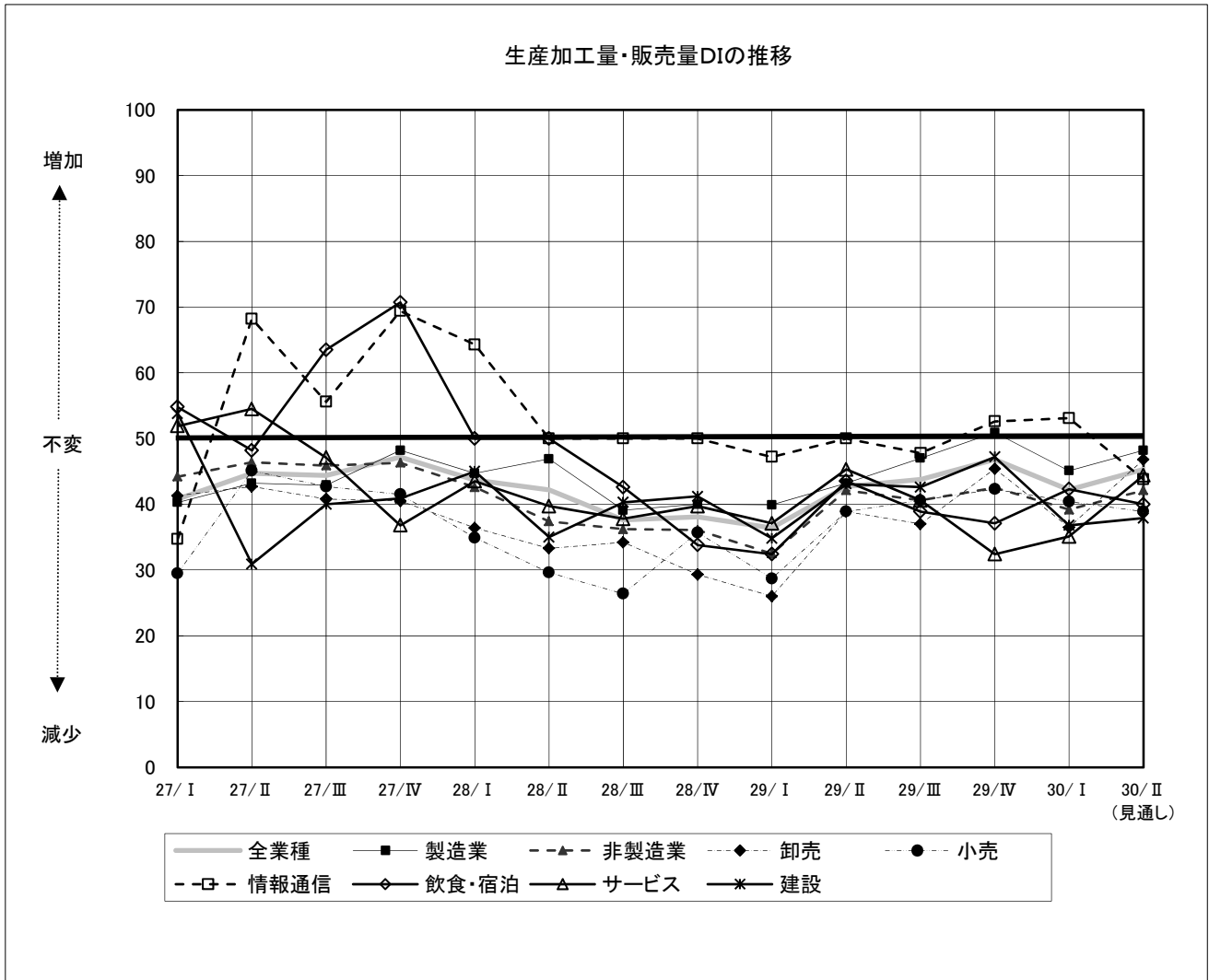


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

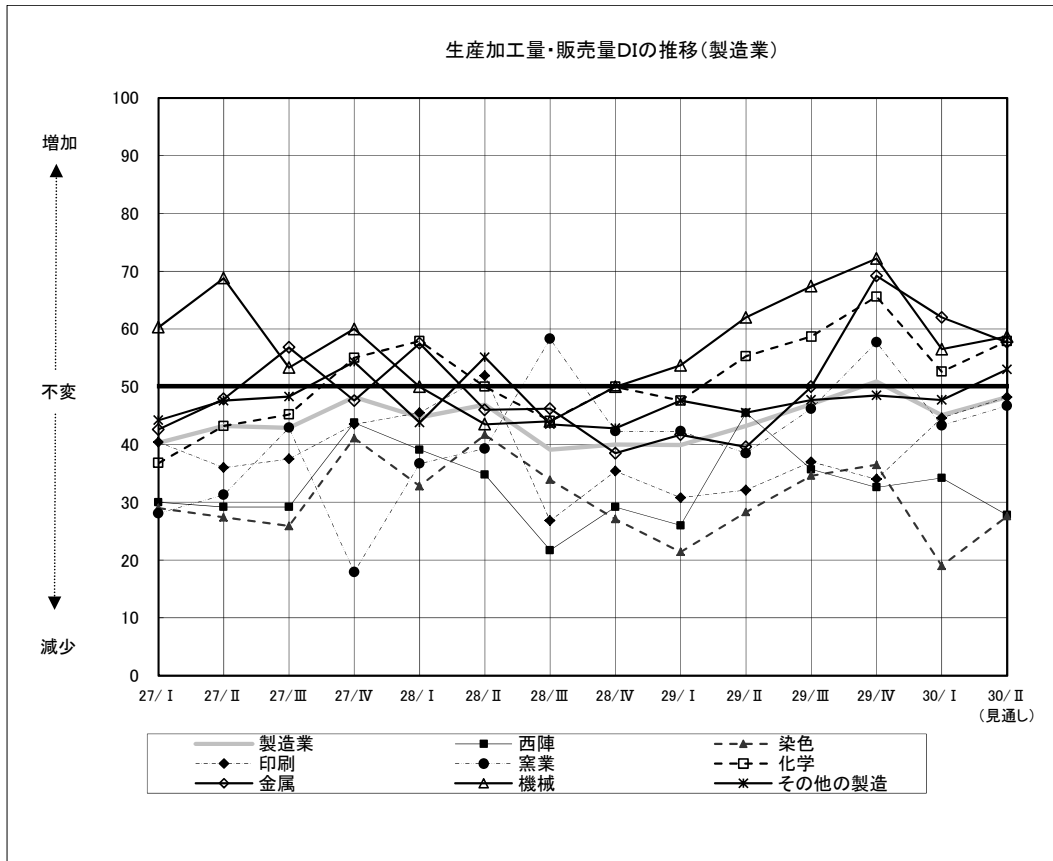


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	46.8	42.2	▼ 4.6	45.3 △ 3.1
製造業	50.9	45.1	▼ 5.8	48.2 △ 3.1
西陣	32.6	34.2	△ 1.6	27.8 ▼ 6.4
染色	36.5	19.0	▼ 17.5	27.6 △ 8.6
印刷	34.0	44.6	△ 10.6	48.2 △ 3.6
窯業	57.7	43.3	▼ 14.4	46.7 △ 3.4
化学	65.6	52.6	▼ 13.0	57.9 △ 5.3
金属	69.2	62.0	▼ 7.2	57.7 ▼ 4.3
機械	72.2	56.5	▼ 15.7	58.7 △ 2.2
その他の製造	48.5	47.7	▼ 0.8	53.0 △ 5.3
非製造業	42.5	39.2	▼ 3.3	42.1 △ 2.9
卸売	45.4	36.5	▼ 8.9	46.8 △ 10.3
小売	42.3	40.4	▼ 1.9	38.9 ▼ 1.5
情報通信	52.6	53.1	△ 0.5	43.8 ▼ 9.3
飲食・宿泊	37.1	42.3	△ 5.2	40.0 ▼ 2.3
サービス	32.4	35.1	△ 2.7	44.4 △ 9.3
建設	47.2	36.8	▼ 10.4	37.9 △ 1.1
観光関連	37.7	39.4	△ 1.7	45.7 △ 6.3

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移（全体）

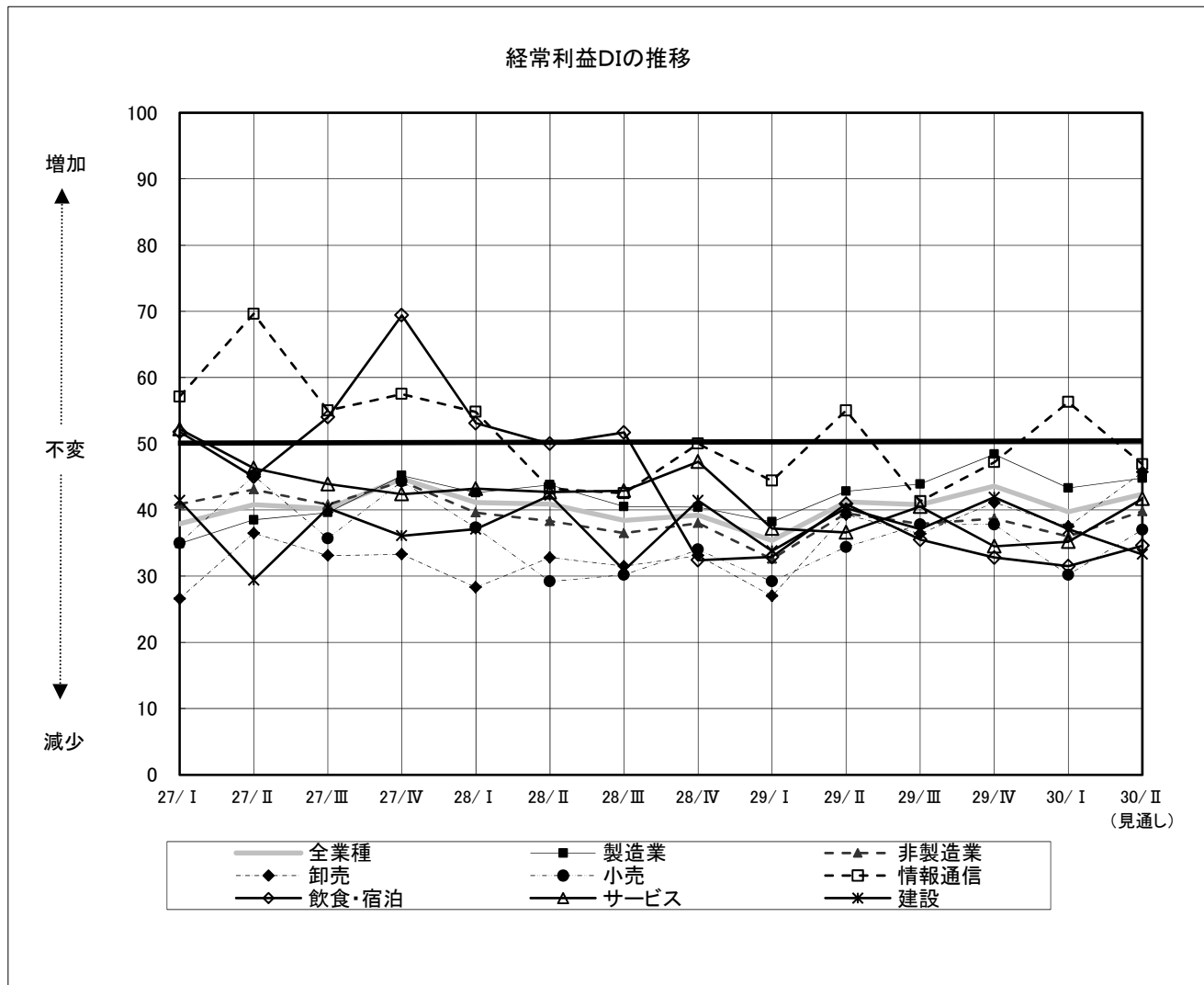


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

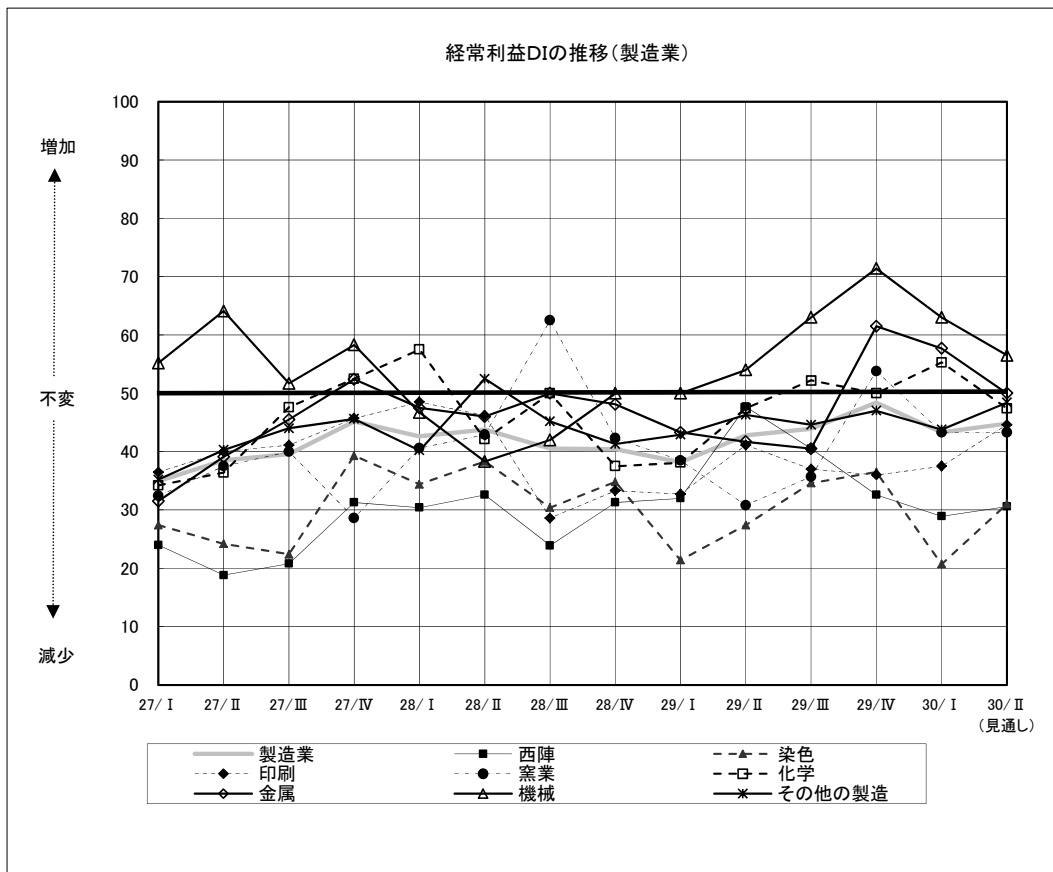


表3. 経常利益DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	43.6	39.7	▼ 3.9	△ 2.7
製造業	48.4	43.3	▼ 5.1	△ 1.5
西陣	32.6	28.9	▼ 3.7	△ 1.7
染色	36.5	20.7	▼ 15.8	△ 10.3
印刷	36.0	37.5	△ 1.5	△ 7.1
窯業	53.8	43.3	▼ 10.5	0.0
化学	50.0	55.3	△ 5.3	▼ 7.9
金属	61.5	57.7	▼ 3.8	▼ 7.7
機械	71.4	63.0	▼ 8.4	▼ 6.5
其他の製造	47.0	43.8	▼ 3.2	△ 4.6
非製造業	38.7	36.0	▼ 2.7	△ 3.8
卸売	41.1	37.5	▼ 3.6	△ 8.2
小売	37.8	30.2	▼ 7.6	△ 6.8
情報通信	47.2	56.3	△ 9.1	▼ 9.4
飲食・宿泊	32.8	31.5	▼ 1.3	△ 3.1
サービス	34.5	35.2	△ 0.7	△ 6.5
建設	41.9	37.1	▼ 4.8	▼ 3.8
観光関連	32.4	35.4	△ 3.0	△ 8.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

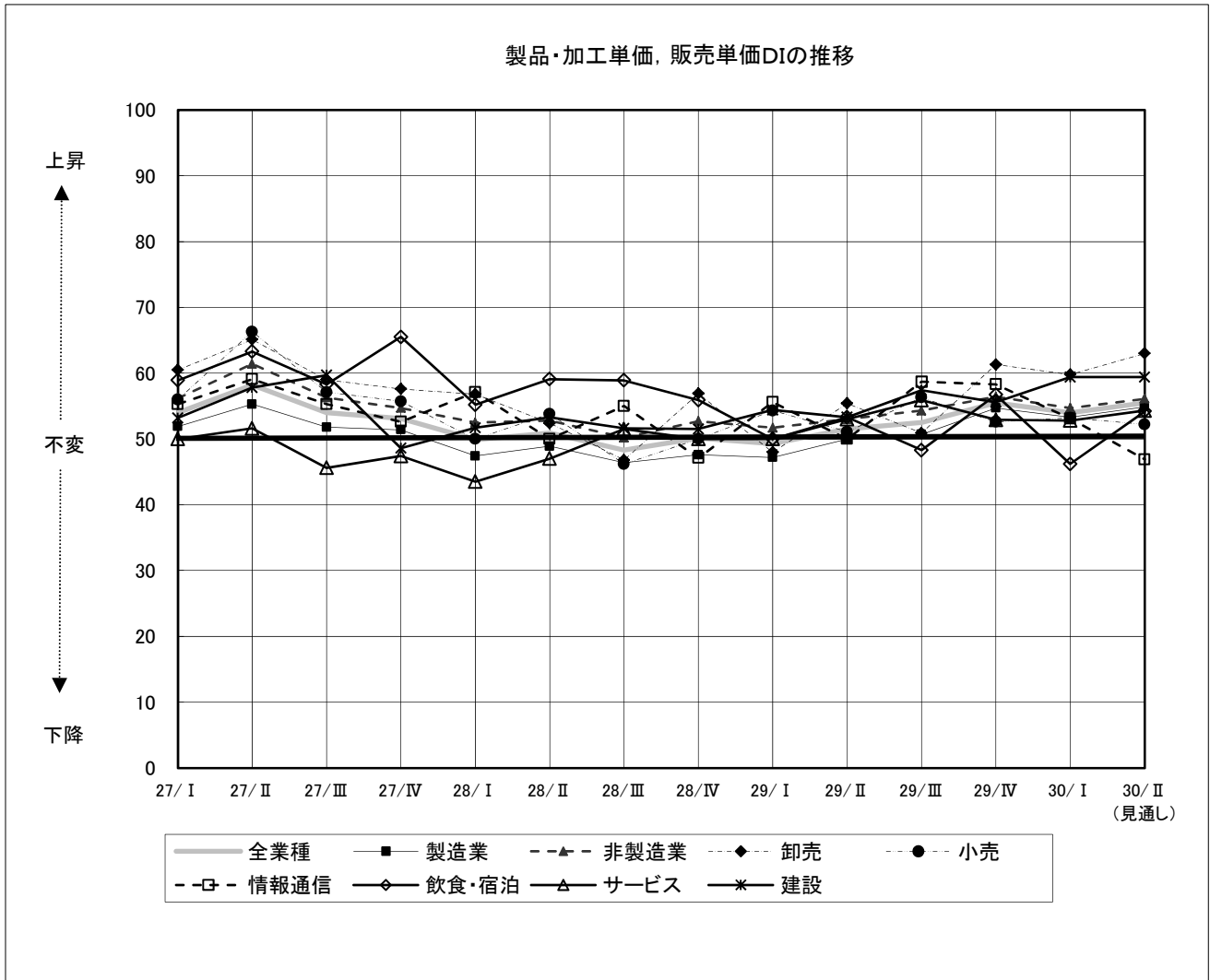


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

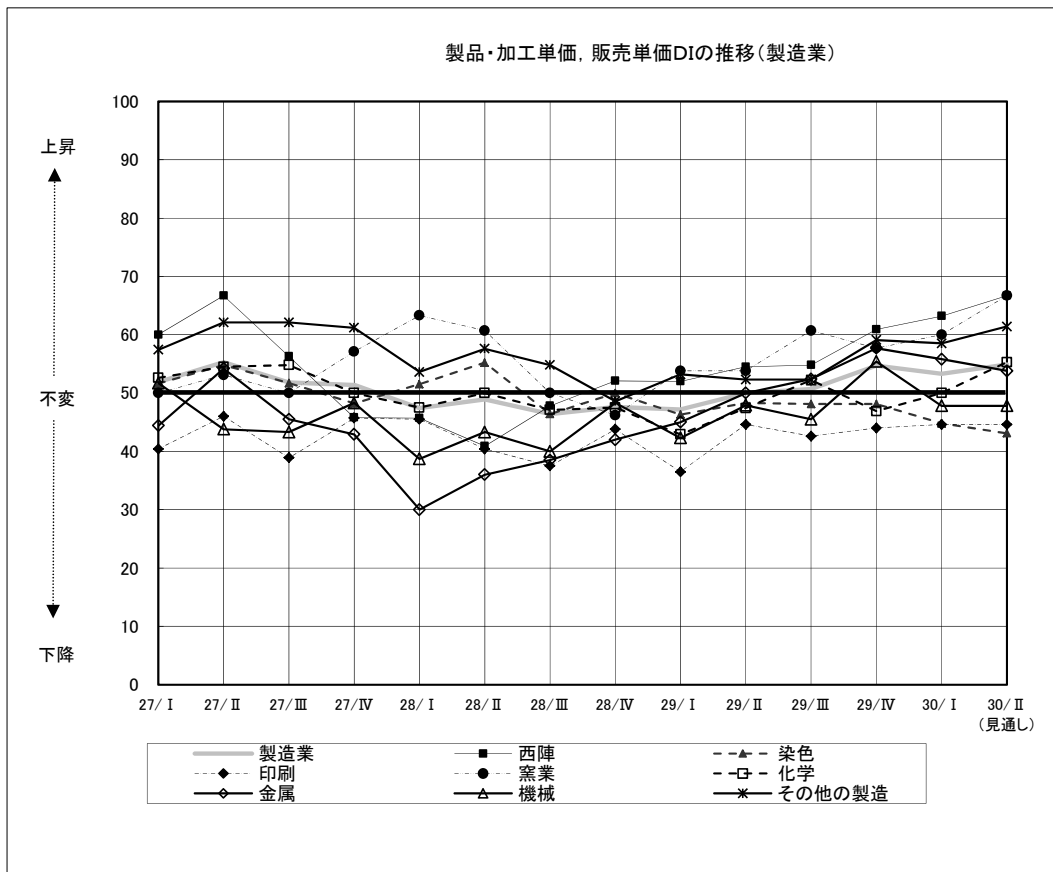


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	55.5	54.0	▼ 1.5	55.5	△ 1.5
製造業	54.7	53.3	▼ 1.4	54.9	△ 1.6
西陣	60.9	63.2	△ 2.3	66.7	△ 3.5
染色	48.1	44.8	▼ 3.3	43.1	▼ 1.7
印刷	44.0	44.6	△ 0.6	44.6	0.0
窯業	57.7	60.0	△ 2.3	66.7	△ 6.7
化学	46.9	50.0	△ 3.1	55.3	△ 5.3
金属	57.7	55.8	▼ 1.9	53.8	▼ 2.0
機械	55.4	47.8	▼ 7.6	47.8	0.0
その他の製造	59.1	58.5	▼ 0.6	61.4	△ 2.9
非製造業	56.4	54.7	▼ 1.7	56.1	△ 1.4
卸売	61.3	59.8	▼ 1.5	63.0	△ 3.2
小売	52.6	53.2	△ 0.6	52.2	▼ 1.0
情報通信	58.3	53.1	▼ 5.2	46.9	▼ 6.2
飲食・宿泊	56.7	46.2	▼ 10.5	54.2	△ 8.0
サービス	52.9	52.8	▼ 0.1	54.3	△ 1.5
建設	55.6	59.4	△ 3.8	59.4	0.0
観光関連	57.8	50.0	▼ 7.8	56.4	△ 6.4

※ 網掛けは, 10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

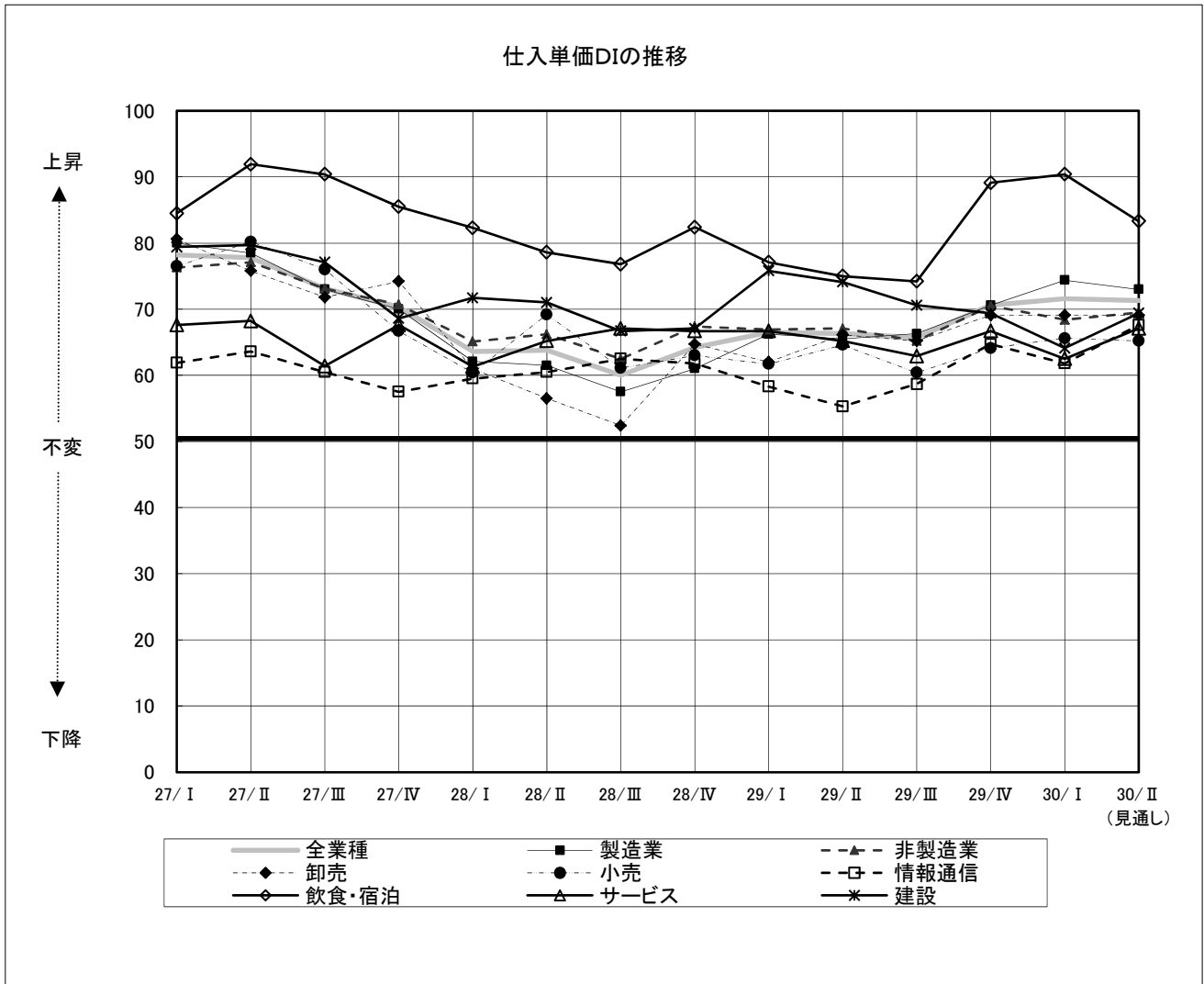


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

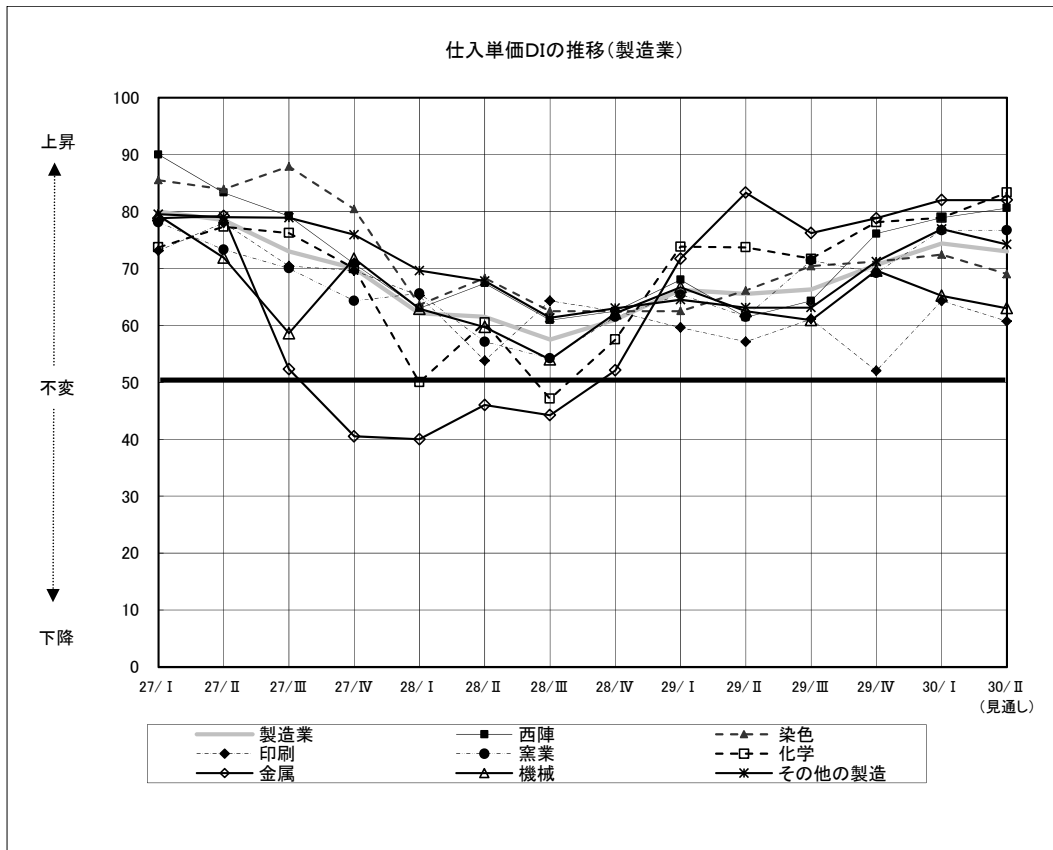


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	70.6	71.6	△ 1.0	71.3	▼ 0.3
製造業	70.6	74.4	△ 3.8	73.0	▼ 1.4
西陣	76.1	78.9	△ 2.8	80.6	△ 1.7
染色	71.2	72.4	△ 1.2	69.0	▼ 3.4
印刷	52.0	64.3	△ 12.3	60.7	▼ 3.6
窯業	69.2	76.7	△ 7.5	76.7	0.0
化学	78.1	78.9	△ 0.8	83.3	△ 4.4
金属	78.8	82.0	△ 3.2	82.0	0.0
機械	69.6	65.2	▼ 4.4	63.0	▼ 2.2
その他の製造	71.2	76.9	△ 5.7	74.2	▼ 2.7
非製造業	70.5	68.4	▼ 2.1	69.5	△ 1.1
卸売	69.1	69.1	0.0	69.1	0.0
小売	64.1	65.6	△ 1.5	65.2	▼ 0.4
情報通信	64.7	61.8	▼ 2.9	67.6	△ 5.8
飲食・宿泊	89.1	90.4	△ 1.3	83.3	▼ 7.1
サービス	66.7	62.5	▼ 4.2	67.1	△ 4.6
建設	69.4	64.1	▼ 5.3	69.4	△ 5.3
観光関連	80.6	75.5	▼ 5.1	73.4	▼ 2.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

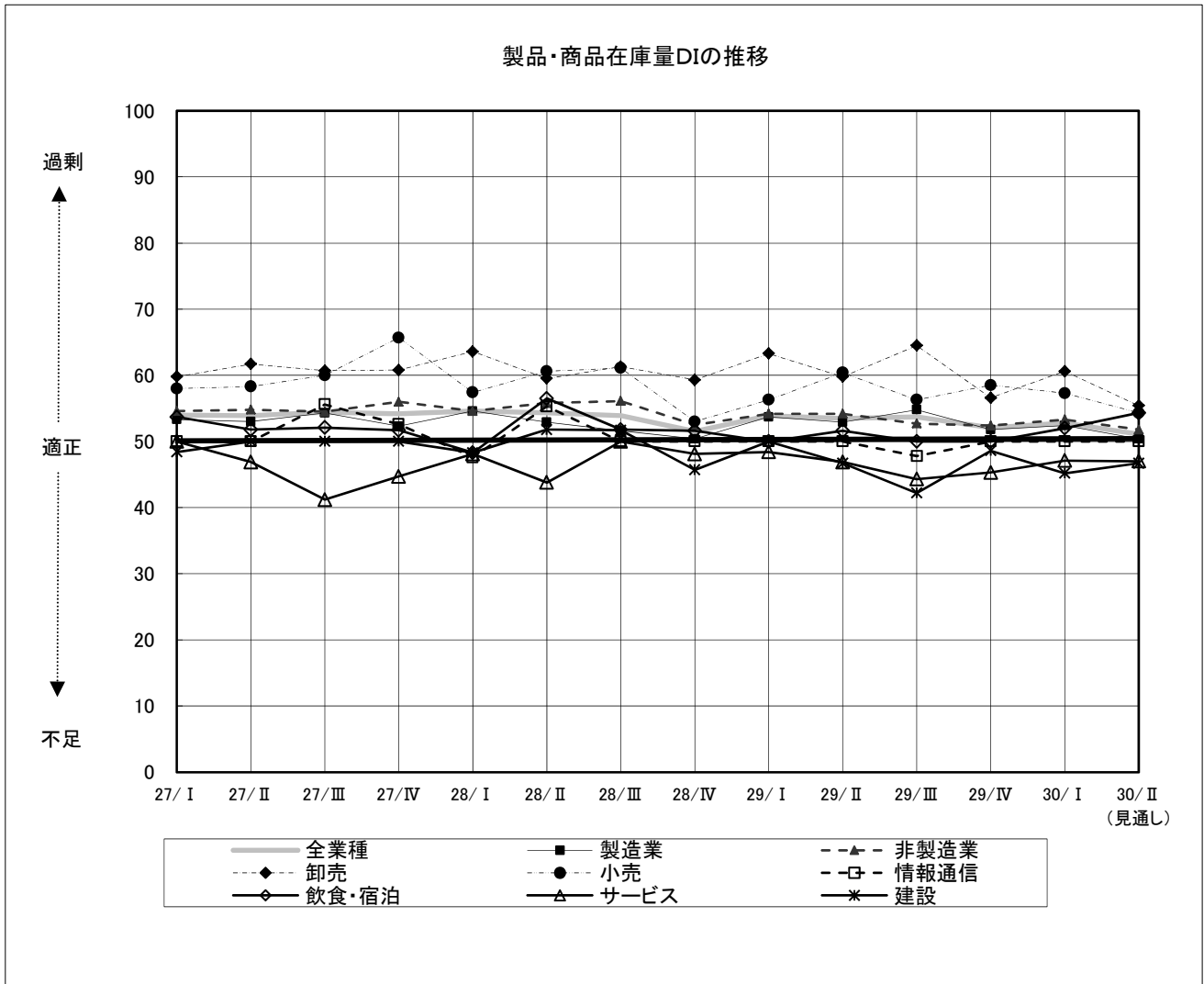


図 12. 製品・商品在庫量DIの推移 (製造業)

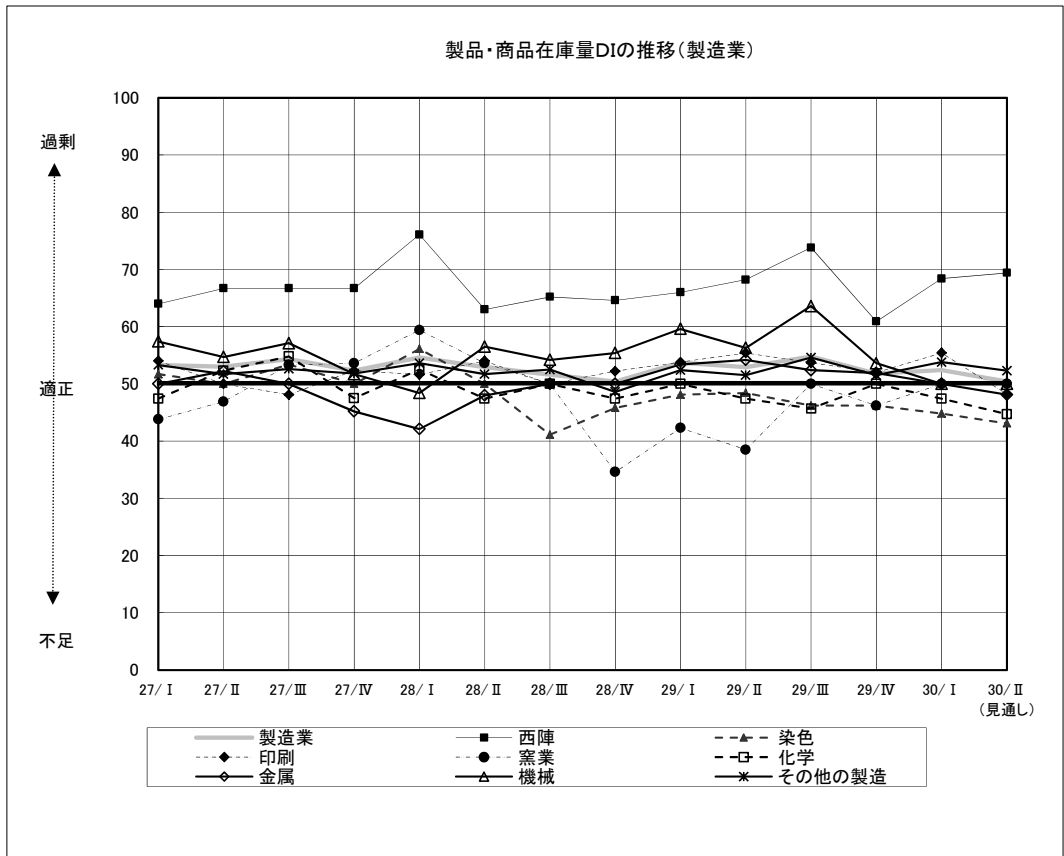


表 6. 製品・商品在庫量DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	52.1	52.8	△ 0.7	▼ 1.7
製造業	51.8	52.4	△ 0.6	▼ 2.0
西陣	60.9	68.4	△ 7.5	△ 1.0
染色	46.2	44.8	▼ 1.4	▼ 1.7
印刷	52.0	55.4	△ 3.4	▼ 7.2
窯業	46.2	50.0	△ 3.8	0.0
化学	50.0	47.4	▼ 2.6	▼ 2.7
金属	51.9	50.0	▼ 1.9	▼ 1.9
機械	53.6	50.0	▼ 3.6	0.0
其他の製造	51.5	53.8	△ 2.3	▼ 1.5
非製造業	52.4	53.3	△ 0.9	▼ 1.5
卸売	56.6	60.6	△ 4.0	▼ 5.2
小売	58.5	57.3	▼ 1.2	▼ 3.0
情報通信	50.0	50.0	0.0	0.0
飲食・宿泊	50.0	52.0	△ 2.0	△ 2.3
サービス	45.3	47.1	△ 1.8	▼ 0.1
建設	48.6	45.2	▼ 3.4	△ 1.5
観光関連	54.6	54.3	▼ 0.3	△ 1.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移 (全体)

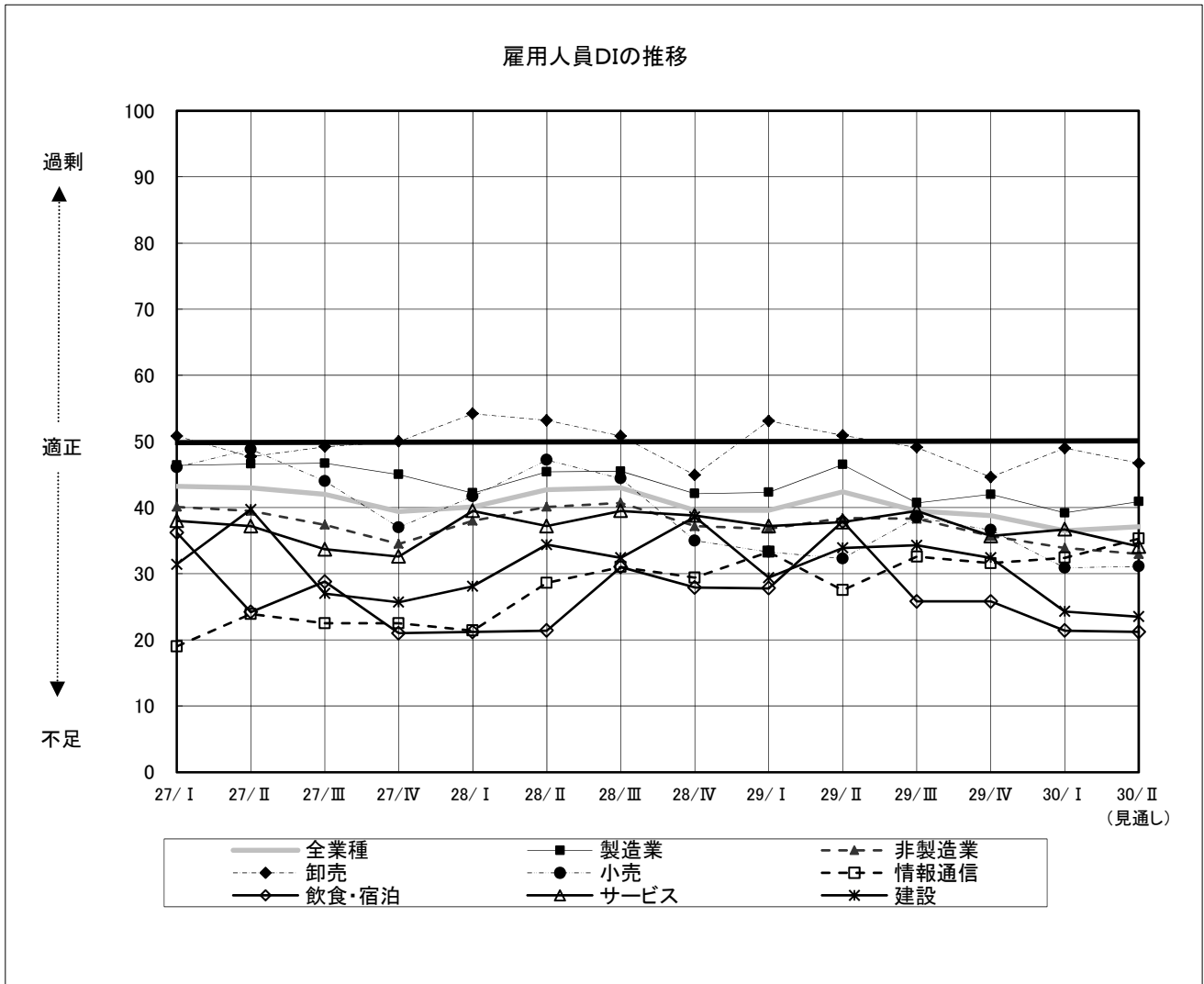


図14. 雇用人員DIの推移（製造業）

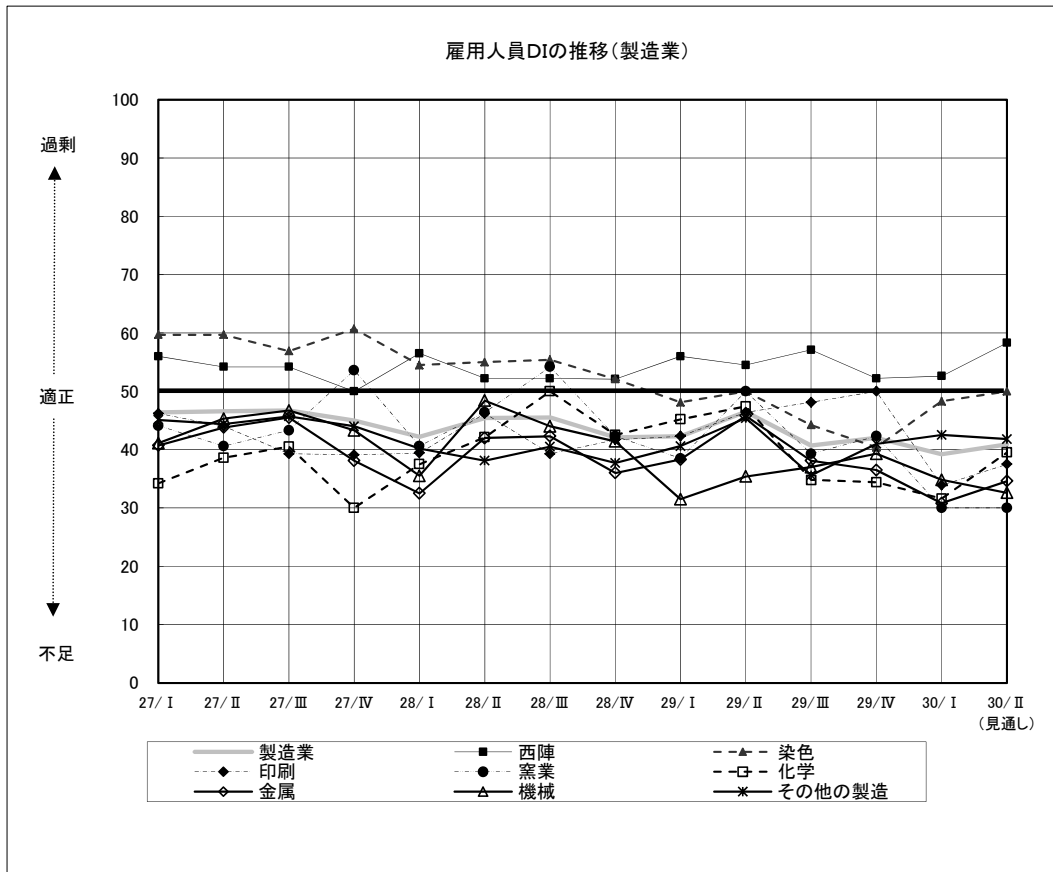


表7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	38.8	36.5	▼ 2.3	37.1	△ 0.6
製造業	42.0	39.2	▼ 2.8	40.9	△ 1.7
西陣	52.2	52.6	△ 0.4	58.3	△ 5.7
染色	40.4	48.3	△ 7.9	50.0	△ 1.7
印刷	50.0	33.9	▼ 16.1	37.5	△ 3.6
窯業	42.3	30.0	▼ 12.3	30.0	0.0
化学	34.4	31.6	▼ 2.8	39.5	△ 7.9
金属	36.5	30.8	▼ 5.7	34.6	△ 3.8
機械	39.3	34.8	▼ 4.5	32.6	▼ 2.2
その他の製造	41.0	42.5	△ 1.5	41.8	▼ 0.7
非製造業	35.7	33.9	▼ 1.8	33.0	▼ 0.9
卸売	44.6	49.0	△ 4.4	46.7	▼ 2.3
小売	36.6	30.9	▼ 5.7	31.1	△ 0.2
情報通信	31.6	32.4	△ 0.8	35.3	△ 2.9
飲食・宿泊	25.8	21.4	▼ 4.4	21.2	▼ 0.2
サービス	35.7	36.7	△ 1.0	34.1	▼ 2.6
建設	32.4	24.3	▼ 8.1	23.5	▼ 0.8
観光関連	28.2	28.1	▼ 0.1	29.2	△ 1.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

8. 資金繰り

図15. 資金繰りDIの推移 (全体)

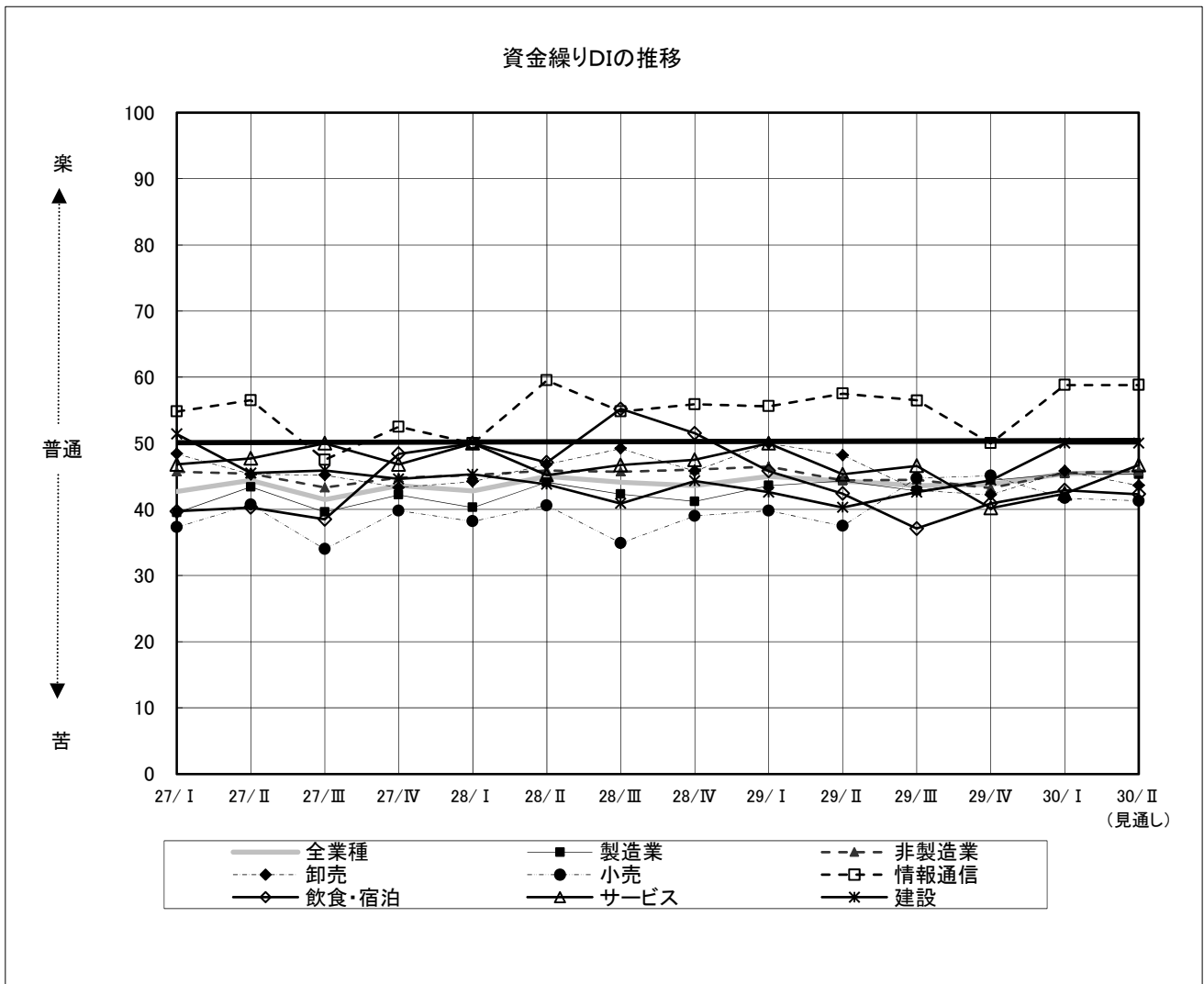


図16. 資金繰りDIの推移（製造業）

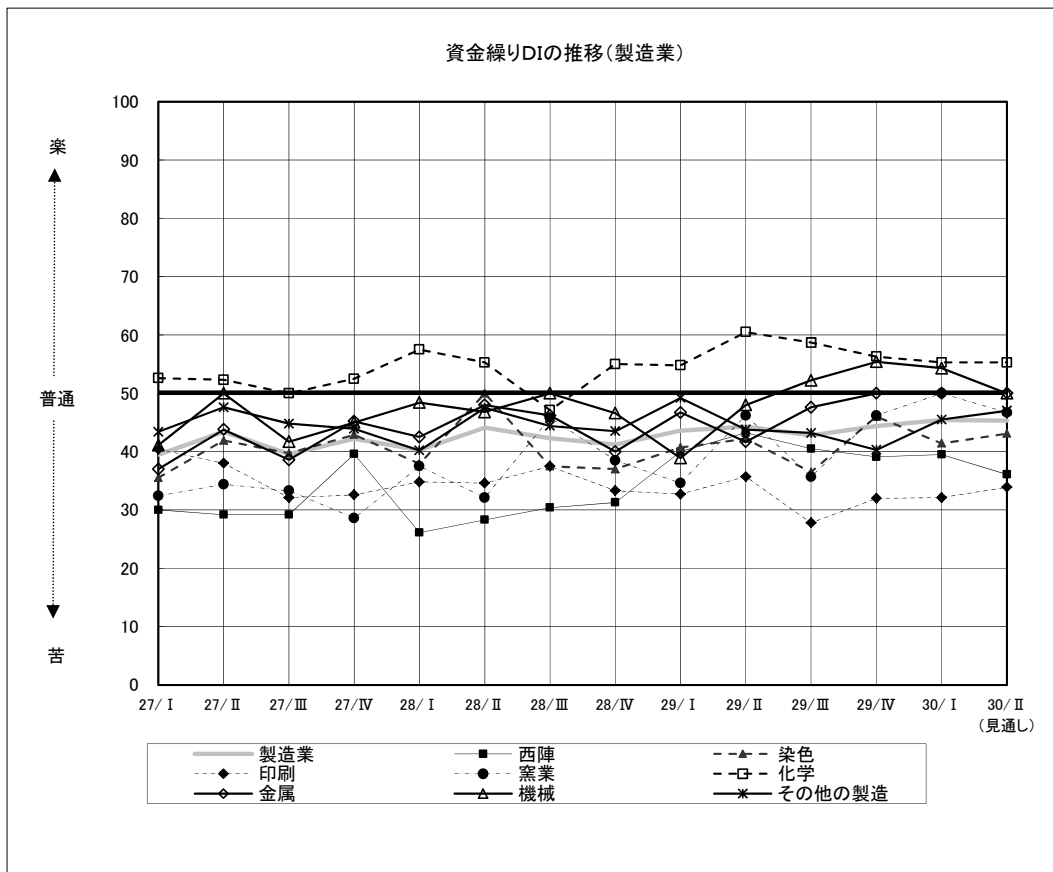


表8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	43.8	45.4	△ 1.6	45.6 △ 0.2
製造業	44.4	45.4	△ 1.0	45.3 ▼ 0.1
西陣	39.1	39.5	△ 0.4	36.1 ▼ 3.4
染色	46.0	41.4	▼ 4.6	43.1 △ 1.7
印刷	32.0	32.1	△ 0.1	33.9 △ 1.8
窯業	46.2	50.0	△ 3.8	46.7 ▼ 3.3
化学	56.3	55.3	▼ 1.0	55.3 0.0
金属	50.0	50.0	0.0	50.0 0.0
機械	55.4	54.3	▼ 1.1	50.0 ▼ 4.3
その他の製造	40.3	45.5	△ 5.2	47.0 △ 1.5
非製造業	43.2	45.5	△ 2.3	45.8 △ 0.3
卸売	42.2	45.8	△ 3.6	43.6 ▼ 2.2
小売	45.1	41.7	▼ 3.4	41.3 ▼ 0.4
情報通信	50.0	58.8	△ 8.8	58.8 0.0
飲食・宿泊	40.9	42.9	△ 2.0	42.3 ▼ 0.6
サービス	40.2	42.4	△ 2.2	46.7 △ 4.3
建設	44.4	50.0	△ 5.6	50.0 0.0
観光関連	42.7	41.8	▼ 0.9	43.9 △ 2.1

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

9. 同業他社との競争

図17. 同業他社との競争DIの推移（全体）

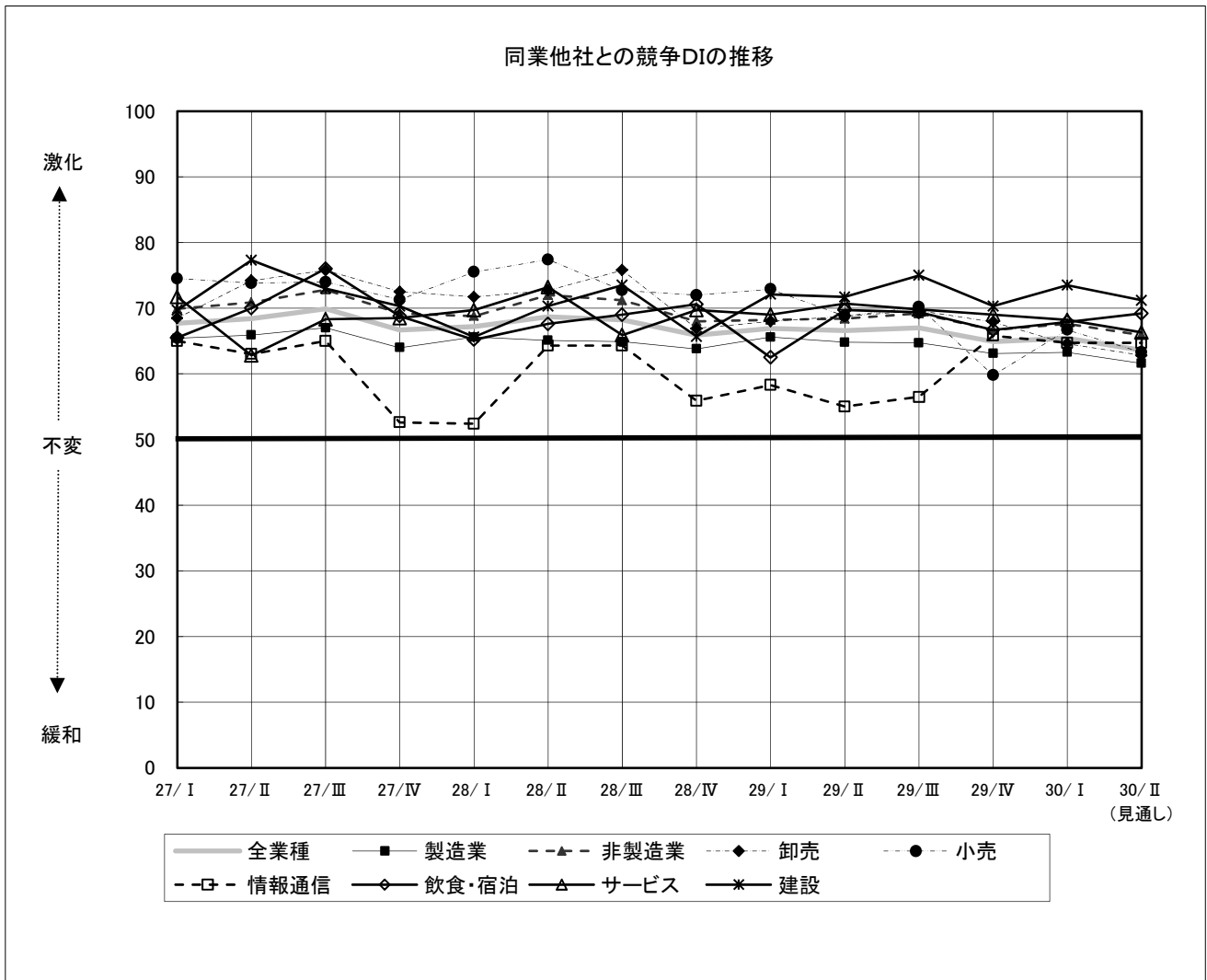


図 18. 同業他社との競争DIの推移（製造業）

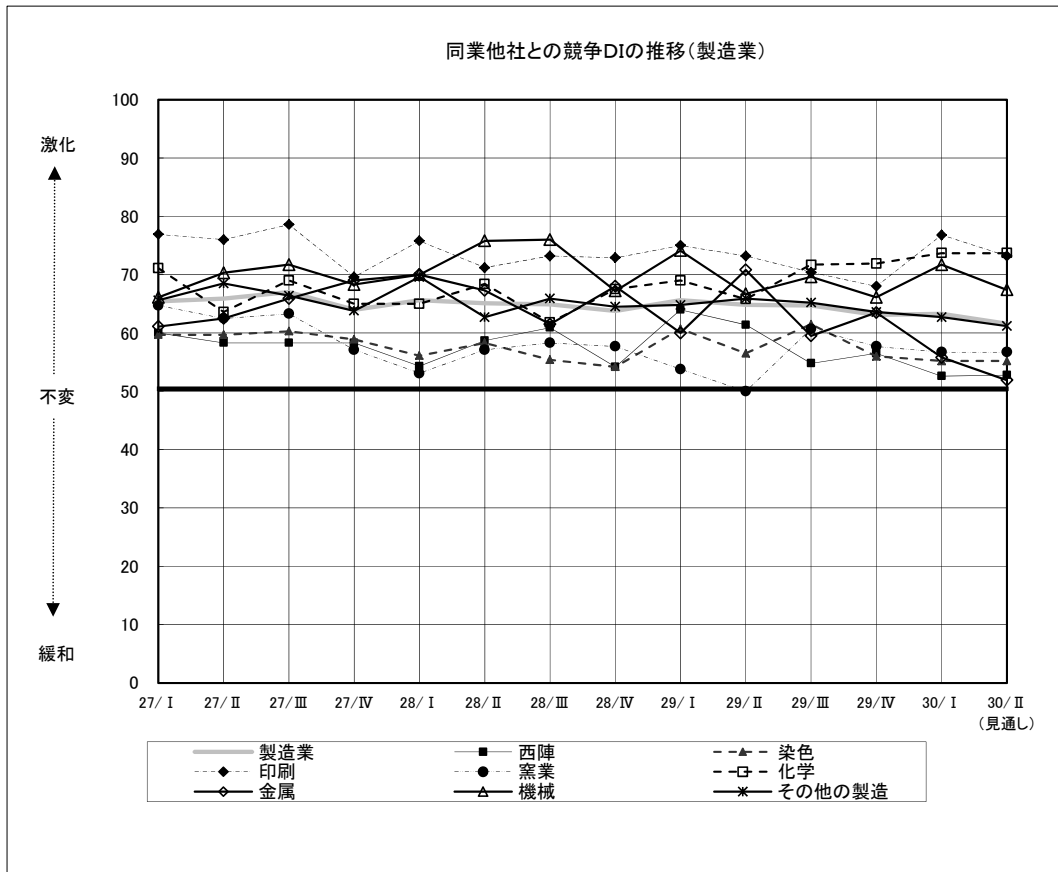


表 9. 同業他社との競争DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
全業種	64.9	65.4	△ 0.5	▼ 1.8
製造業	63.1	63.3	△ 0.2	▼ 1.7
西陣	56.5	52.6	▼ 3.9	△ 0.2
染色	56.0	55.2	▼ 0.8	0.0
印刷	68.0	76.8	△ 8.8	▼ 3.6
窯業	57.7	56.7	▼ 1.0	0.0
化学	71.9	73.7	△ 1.8	0.0
金属	63.5	55.8	▼ 7.7	▼ 3.9
機械	66.1	71.7	△ 5.6	▼ 4.3
その他の製造	63.6	62.7	▼ 0.9	▼ 1.5
非製造業	66.7	67.6	△ 0.9	▼ 1.7
卸売	67.9	64.6	▼ 3.3	▼ 1.8
小売	59.8	66.7	△ 6.9	▼ 3.4
情報通信	65.8	64.7	▼ 1.1	0.0
飲食・宿泊	66.7	67.9	△ 1.2	△ 1.3
サービス	69.0	68.2	▼ 0.8	▼ 1.9
建設	70.3	73.5	△ 3.2	▼ 2.3
観光関連	69.4	69.4	0.0	0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

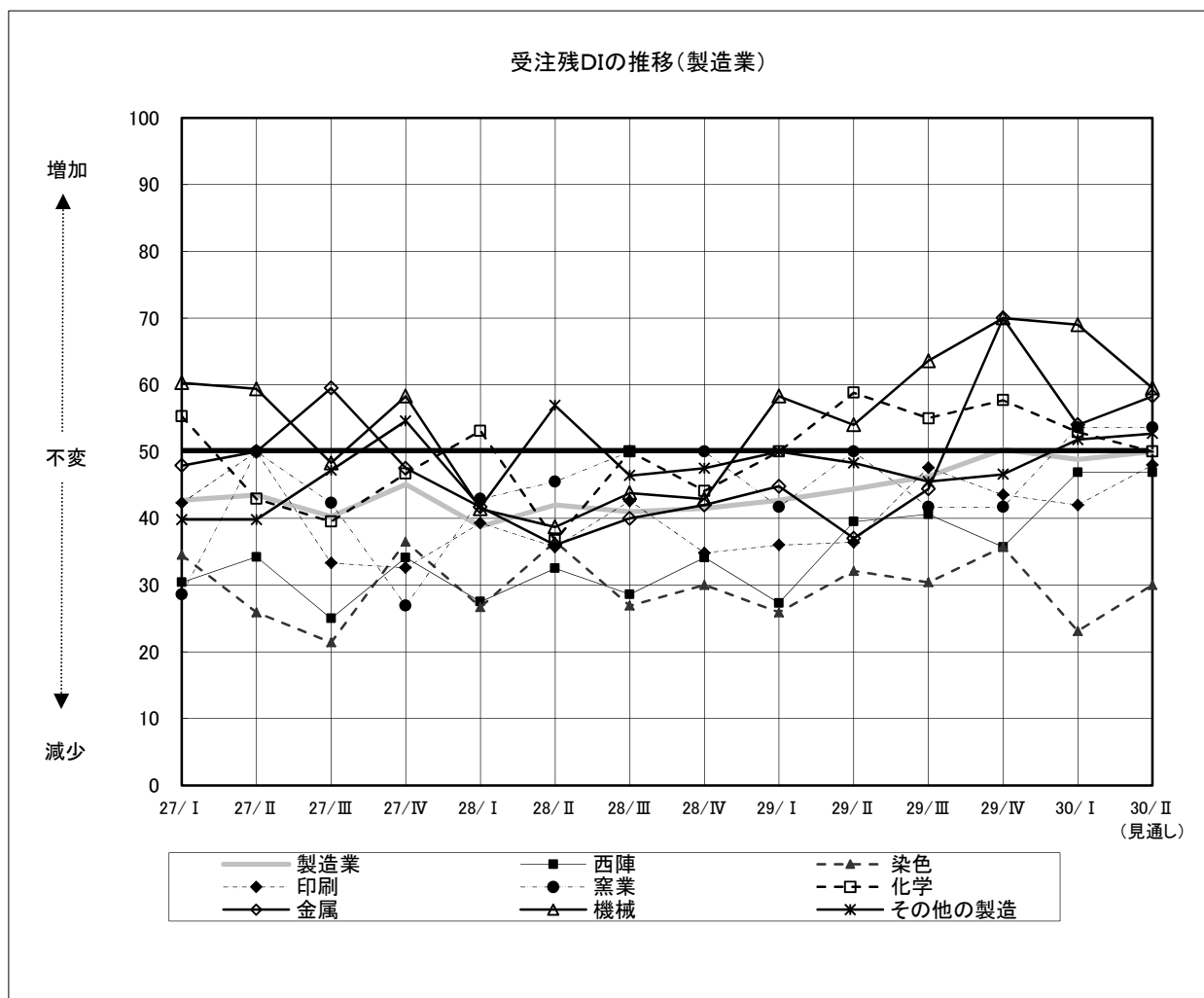


表10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	50.3	48.8	▼ 1.5	50.0	△ 1.2
西陣	35.7	46.9	△ 11.2	46.9	0.0
染色	35.7	23.1	▼ 12.6	30.0	△ 6.9
印刷	43.5	42.0	▼ 1.5	48.0	△ 6.0
窯業	41.7	53.6	△ 11.9	53.6	0.0
化学	57.7	52.9	▼ 4.8	50.0	▼ 2.9
金属	70.0	54.0	▼ 16.0	58.3	△ 4.3
機械	70.0	69.0	▼ 1.0	59.5	▼ 9.5
その他の製造	46.6	51.8	△ 5.2	52.7	△ 0.9
観光関連	34.4	50.0	△ 15.6	53.6	△ 3.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1.1. 生産設備

図20. 生産設備DIの推移

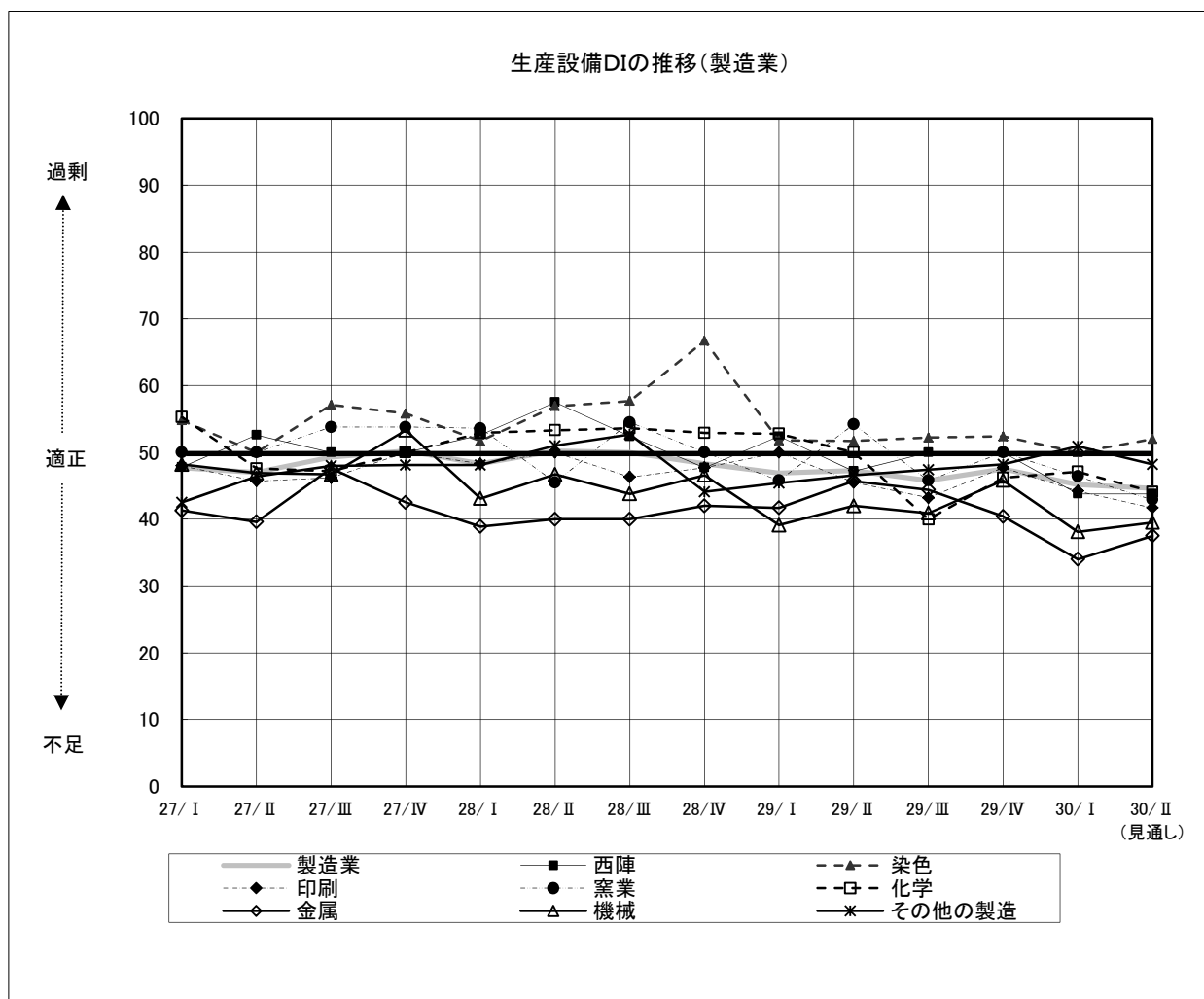


表11. 生産設備DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	47.5	45.2	▼ 2.3	44.6	▼ 0.6
西陣	50.0	43.8	▼ 6.2	43.8	0.0
染色	52.4	50.0	▼ 2.4	52.0	△ 2.0
印刷	47.7	44.2	▼ 3.5	41.7	▼ 2.5
窯業	50.0	46.4	▼ 3.6	42.9	▼ 3.5
化学	46.2	47.1	△ 0.9	44.1	▼ 3.0
金属	40.4	34.0	▼ 6.4	37.5	△ 3.5
機械	45.8	38.1	▼ 7.7	39.5	△ 1.4
その他の製造	48.2	50.9	△ 2.7	48.2	▼ 2.7
観光関連	50.0	50.0	0.0	46.4	▼ 3.6

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

1.2. 設備投資

図 21. 設備投資DIの推移

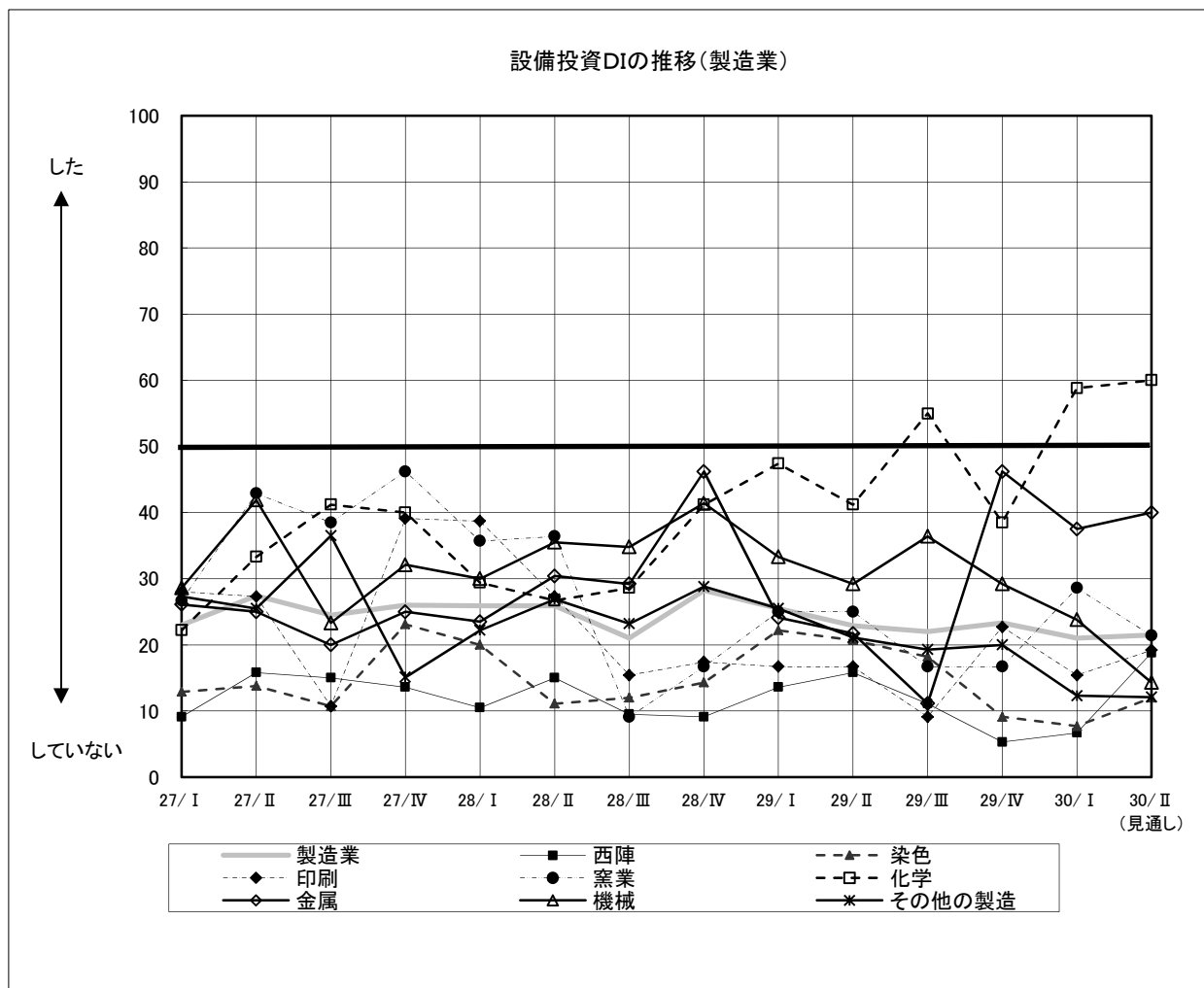


表 12. 設備投資DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績	来期見通し	
			前期比	今期比
製造業	23.3	21.0	▼ 2.3	21.5
西陣	5.3	6.7	△ 1.4	18.8
染色	9.1	7.7	▼ 1.4	12.0
印刷	22.7	15.4	▼ 7.3	19.2
窯業	16.7	28.6	△ 11.9	21.4
化学	38.5	58.8	△ 20.3	60.0
金属	46.2	37.5	▼ 8.7	40.0
機械	29.2	23.8	▼ 5.4	14.3
その他の製造	20.0	12.3	▼ 7.7	12.1
観光関連	17.6	14.3	▼ 3.3	0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

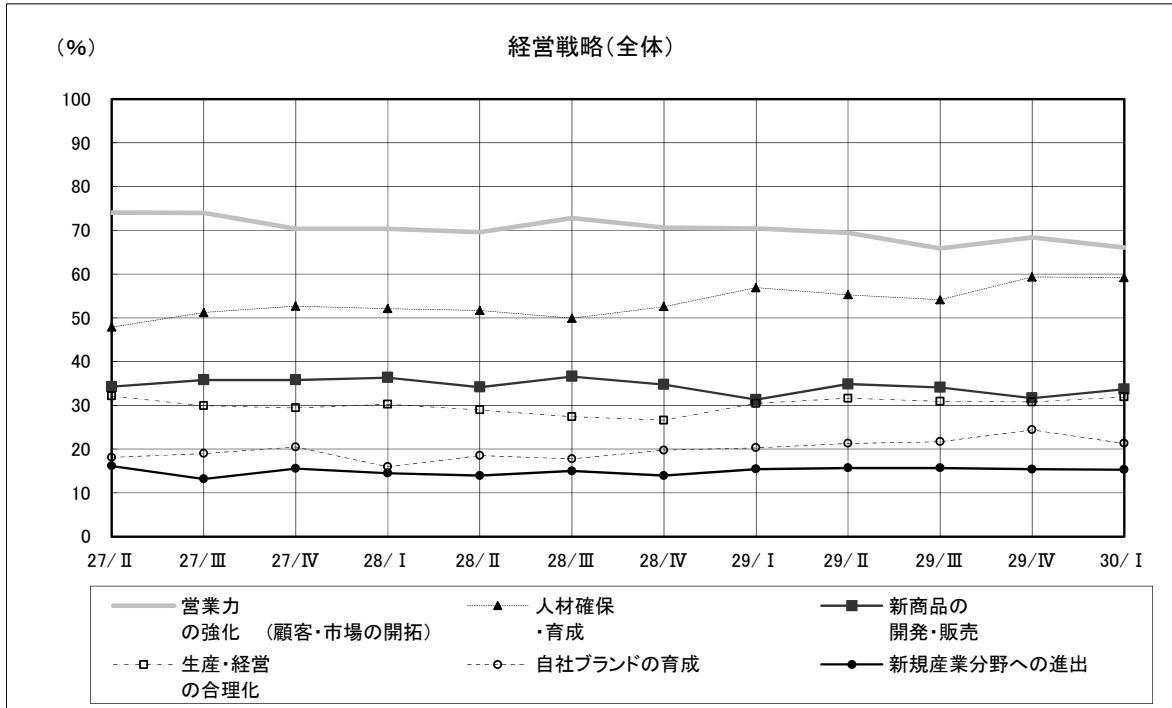


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

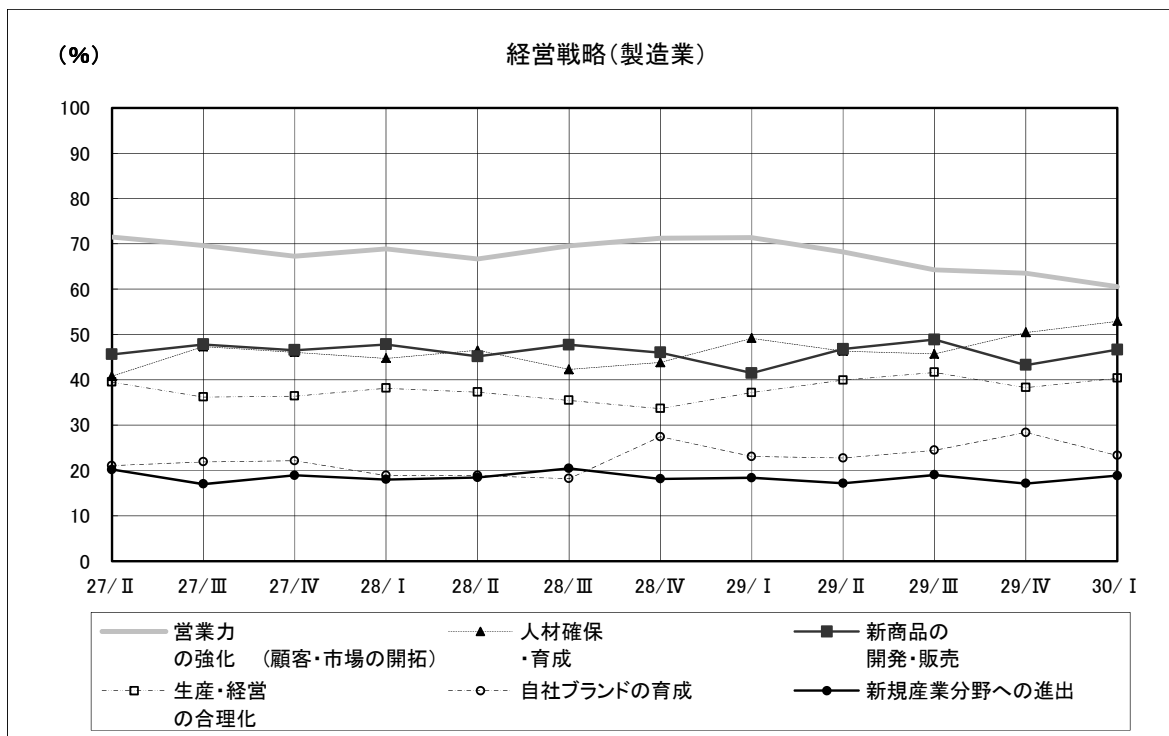


図 24. 当面の経営戦略・西陣

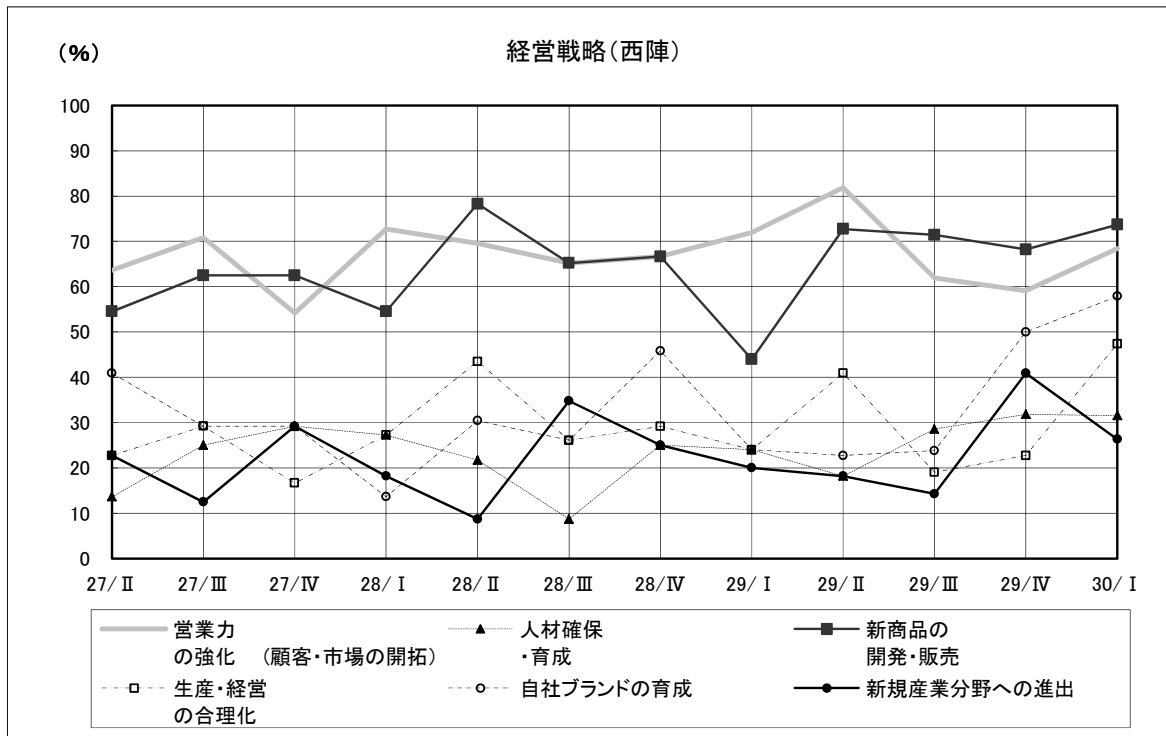


図 25. 当面の経営戦略・染色

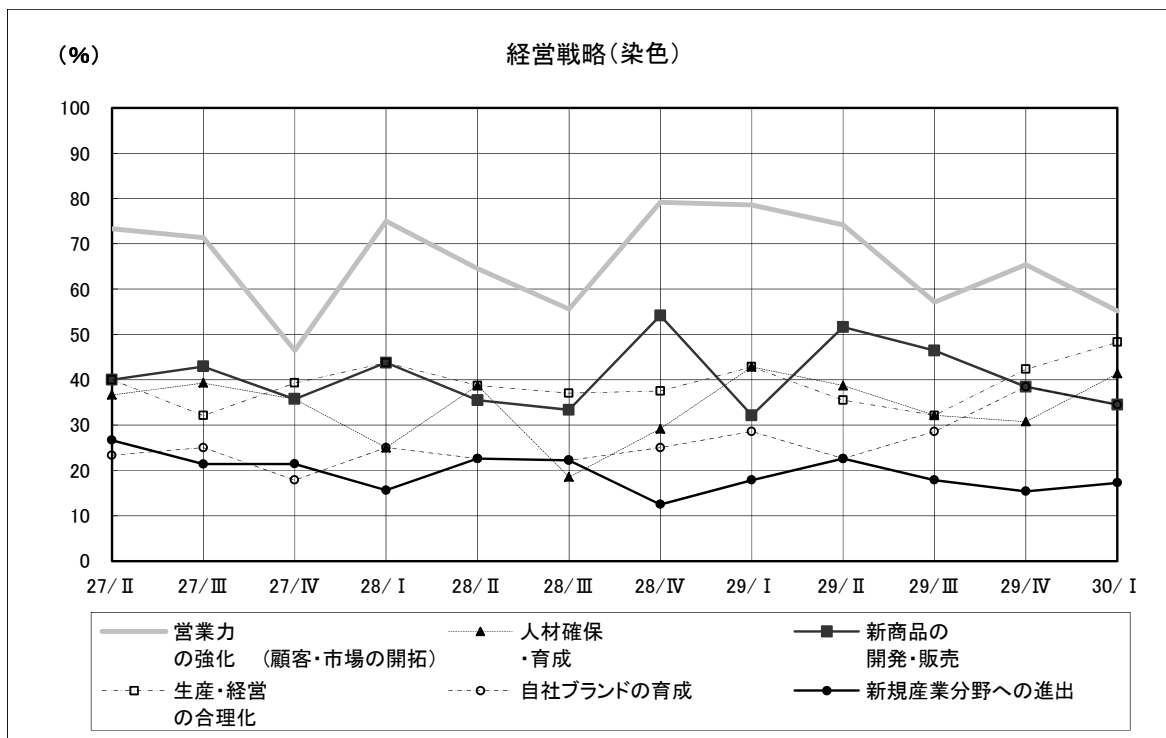


図 26. 当面の経営戦略・印刷

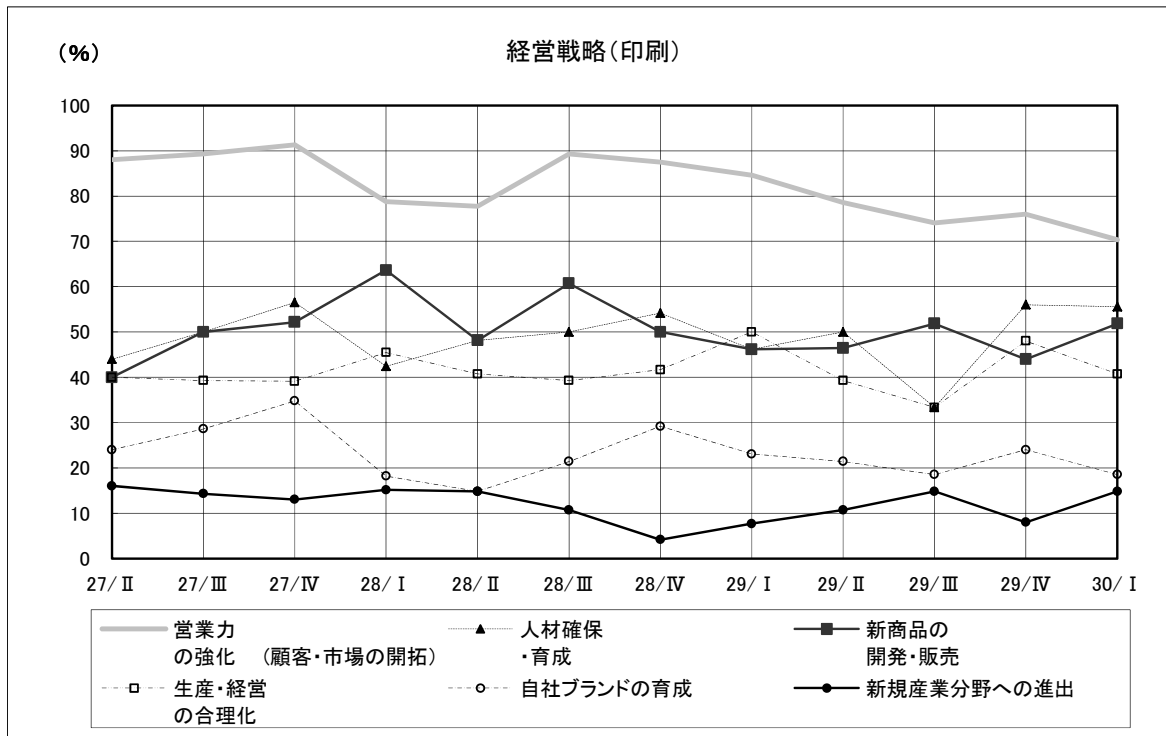


図 27. 当面の経営戦略・窯業

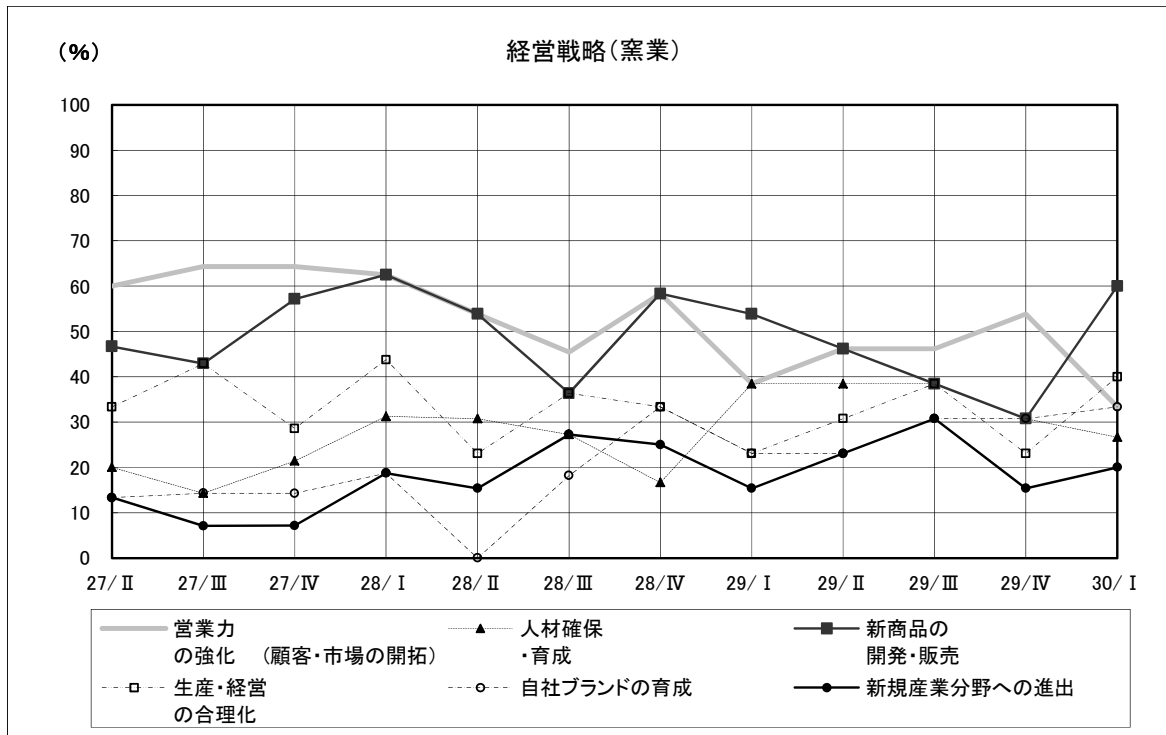


図 28. 当面の経営戦略・化学

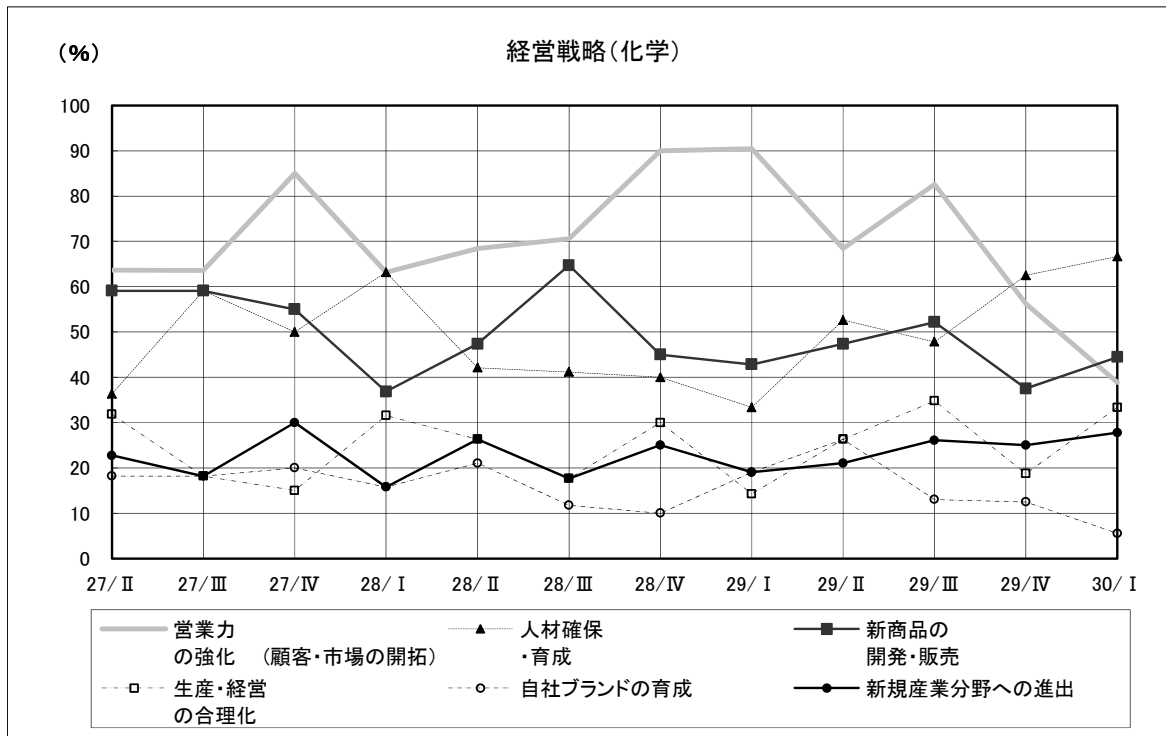


図 29. 当面の経営戦略・金属

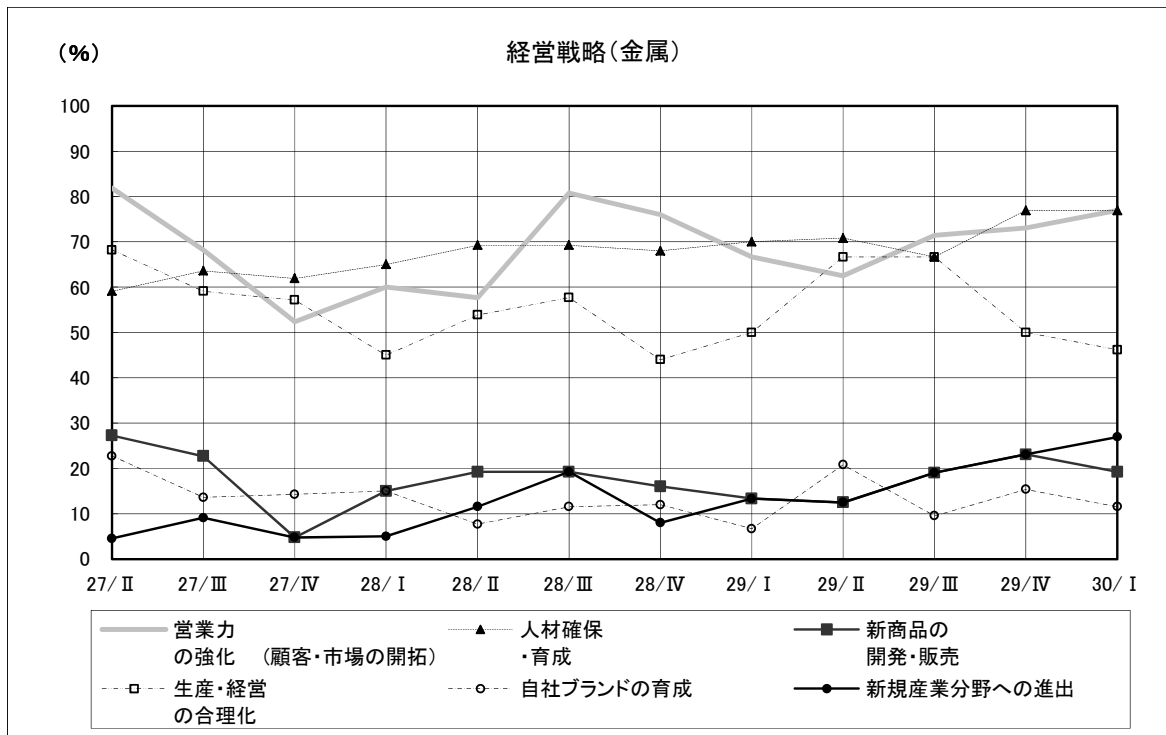


図 30. 当面の経営戦略・機械

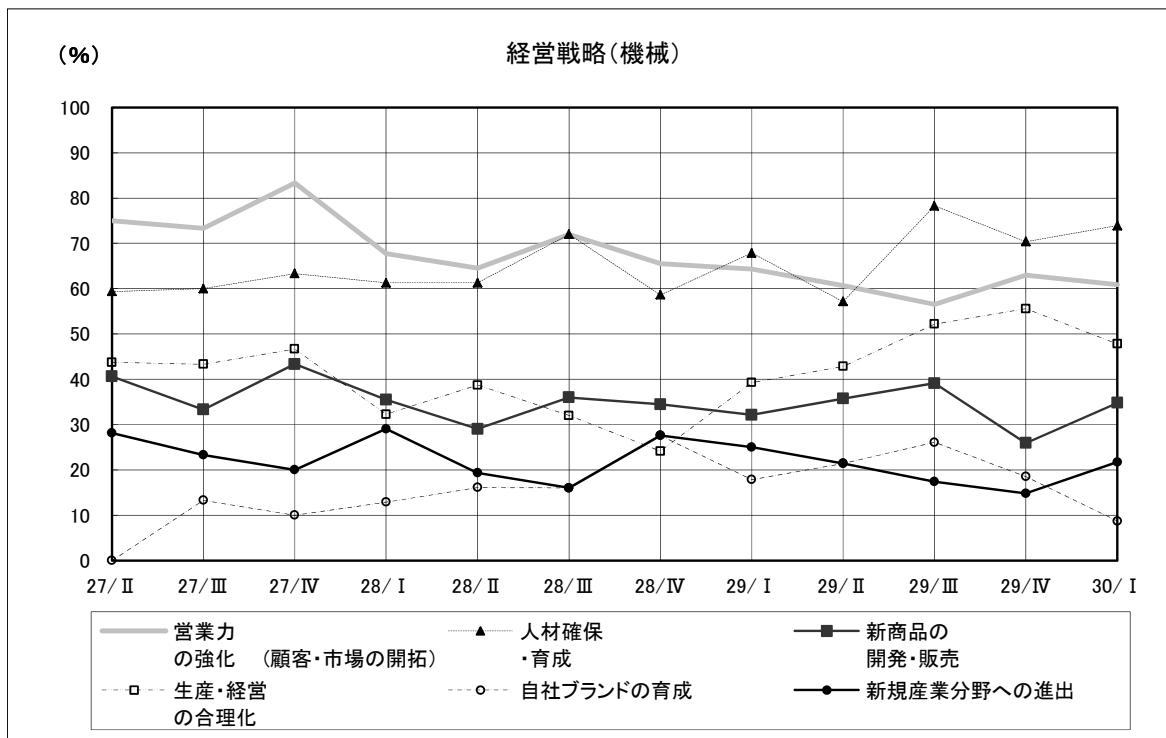


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

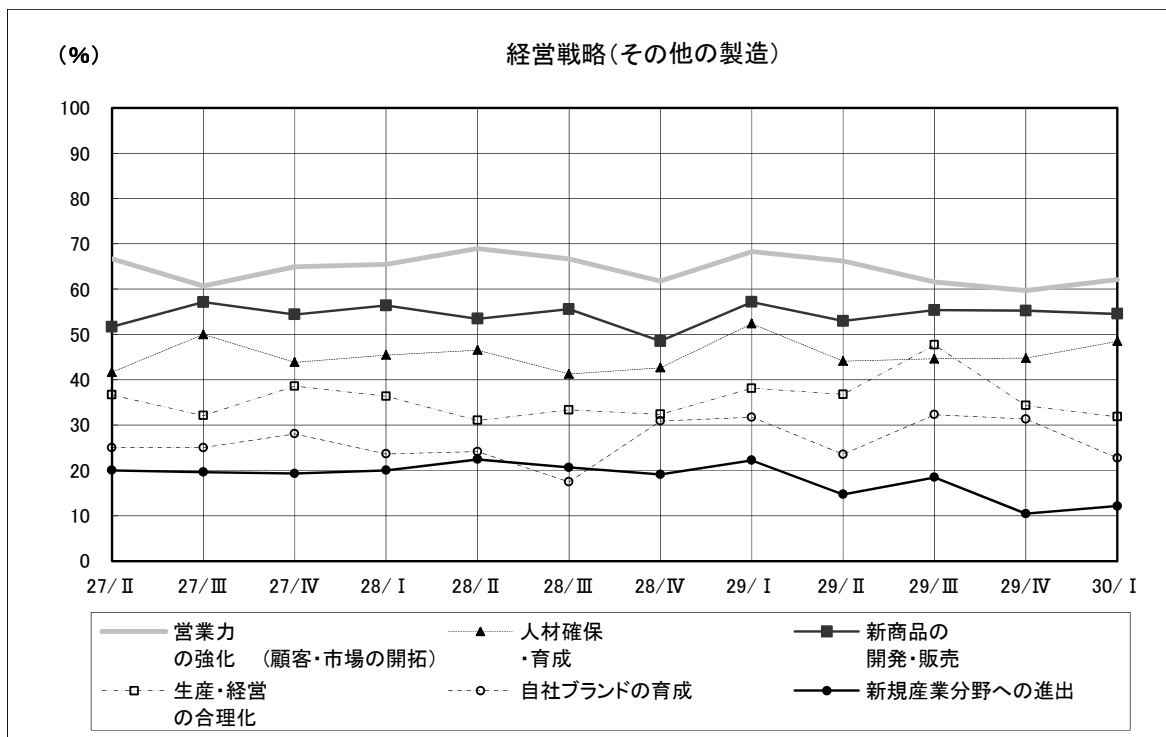


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

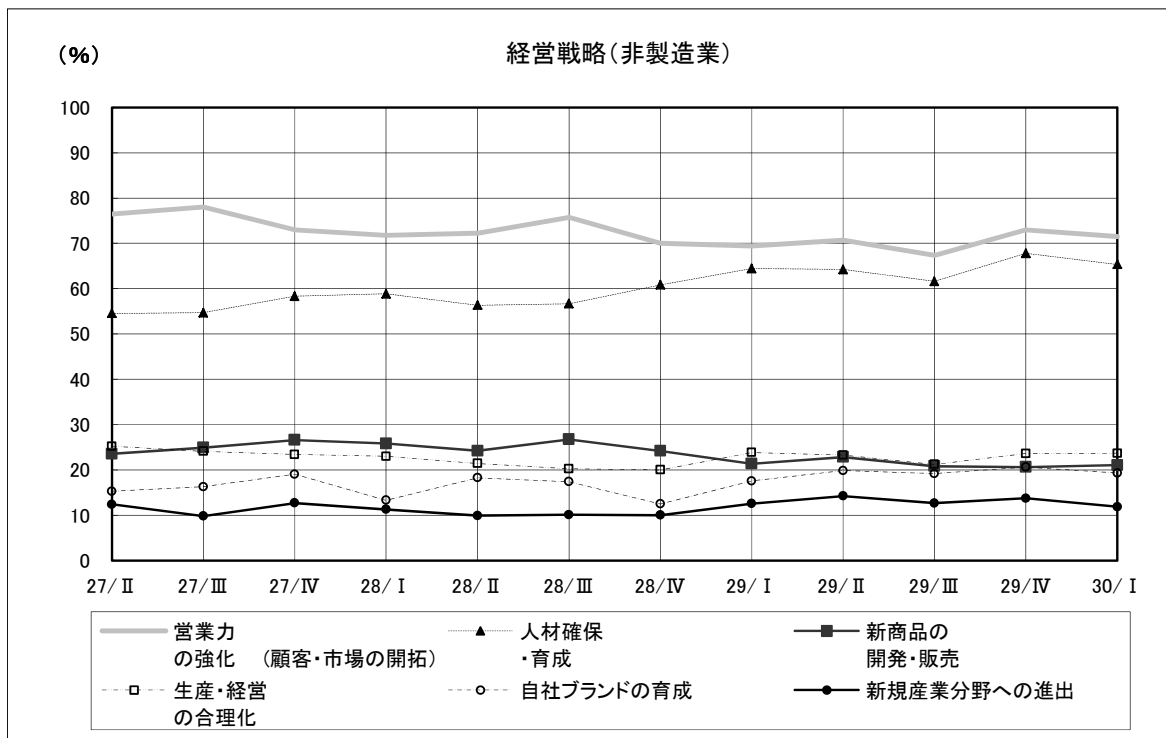


図 33. 当面の経営戦略・卸売

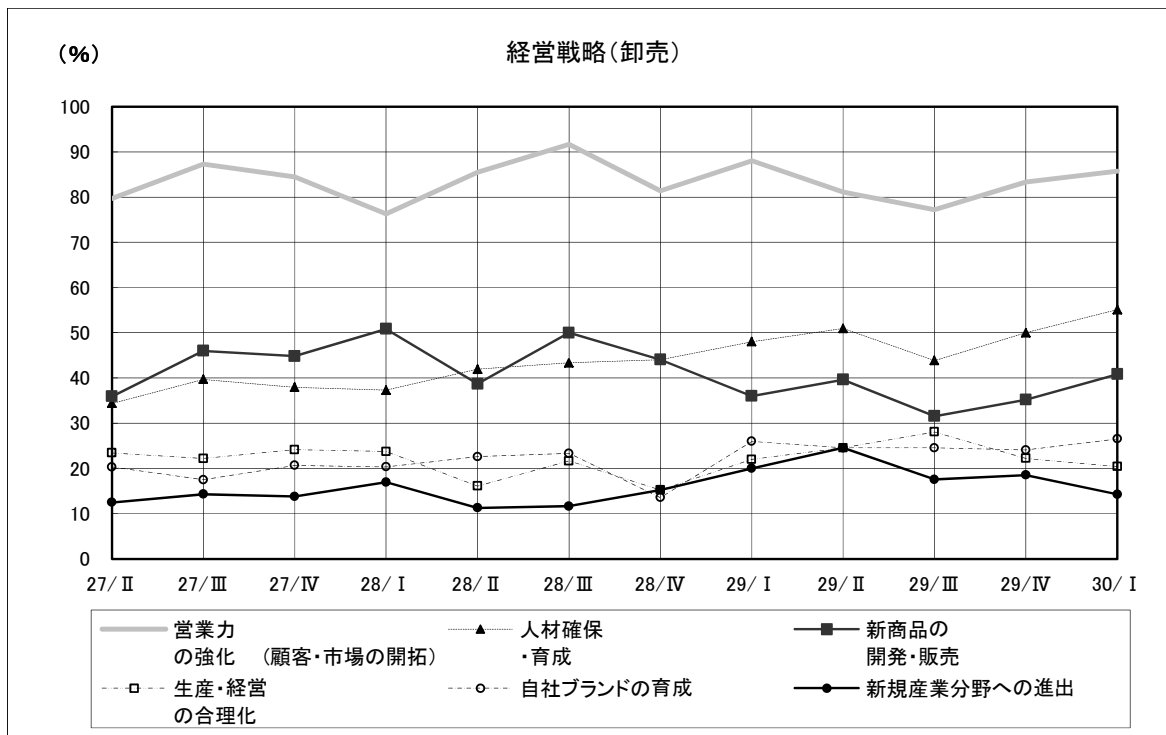


図 34. 当面の経営戦略・小売

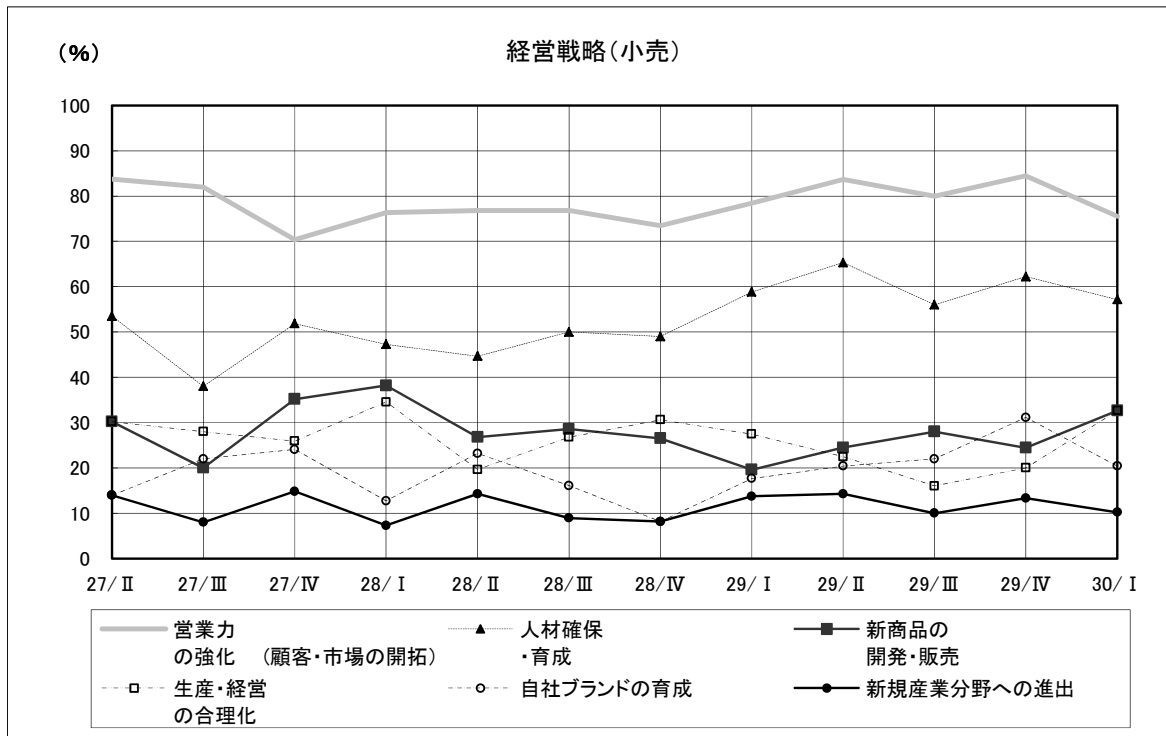


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

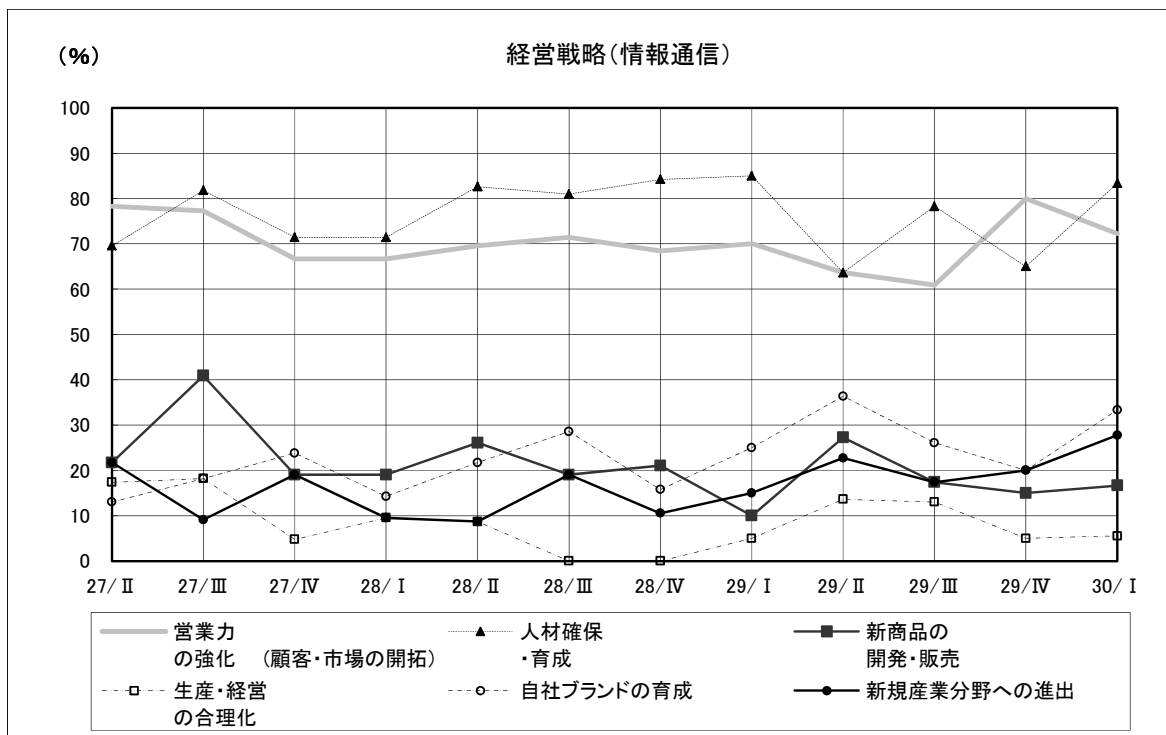


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

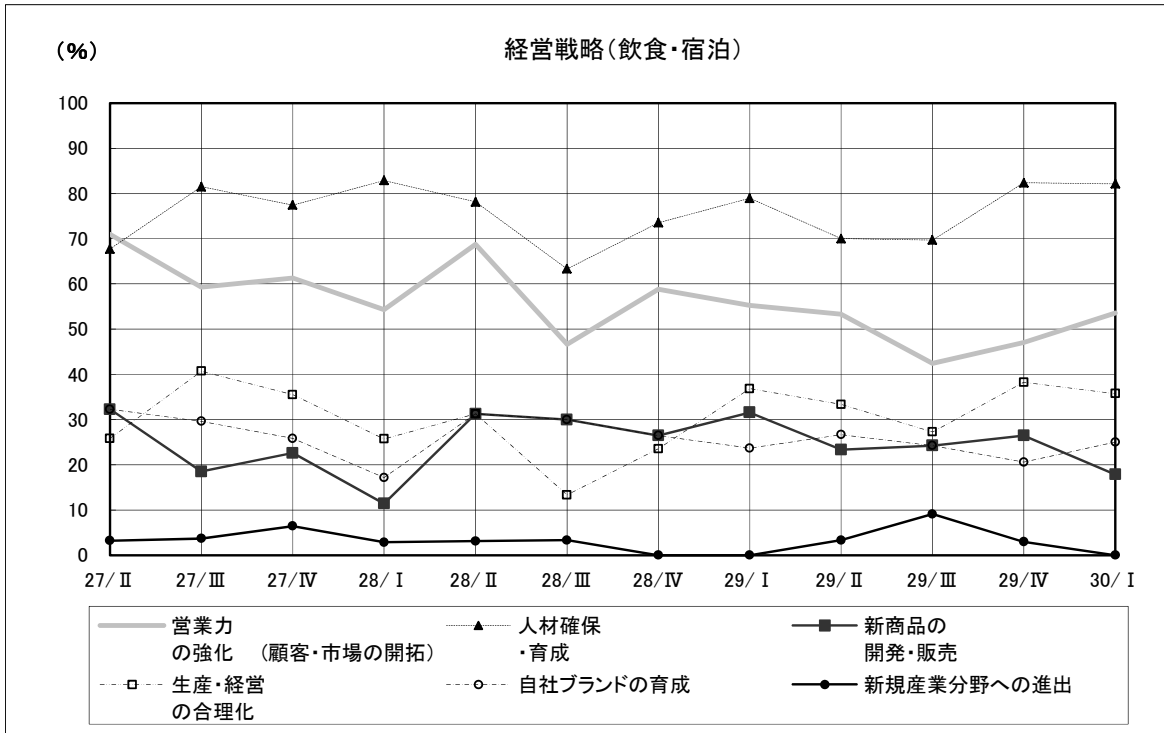


図 37. 当面の経営戦略・サービス

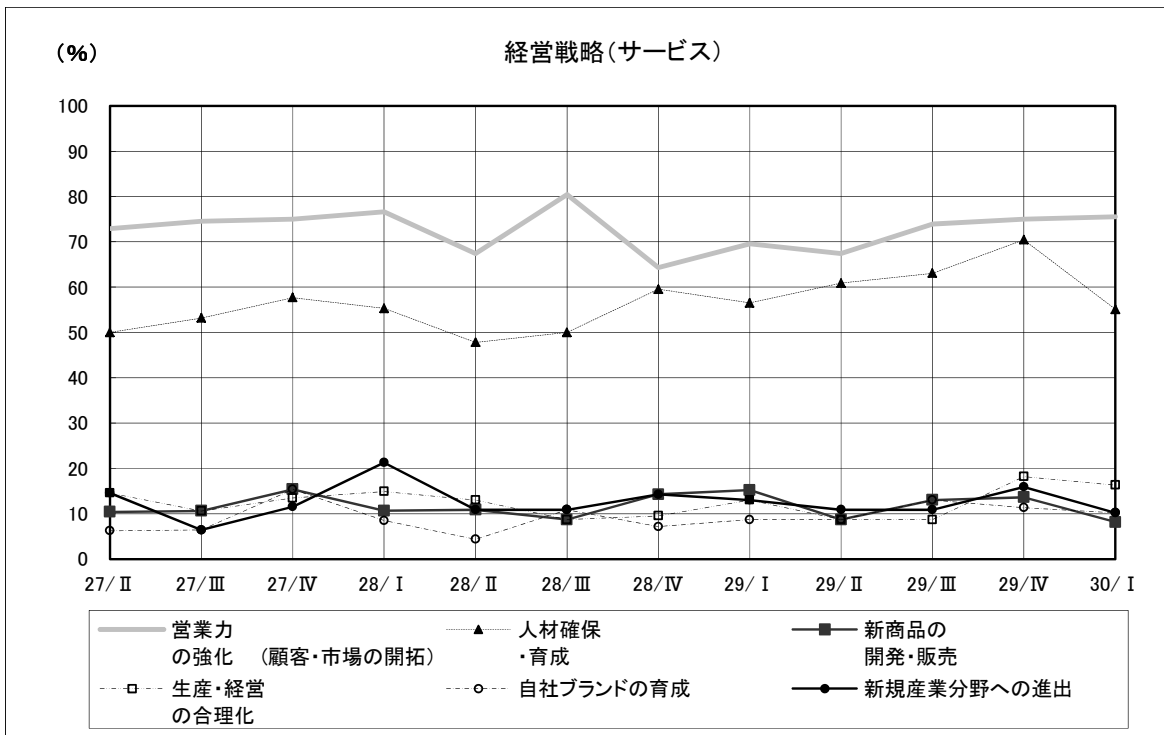


図 38. 当面の経営戦略・建設

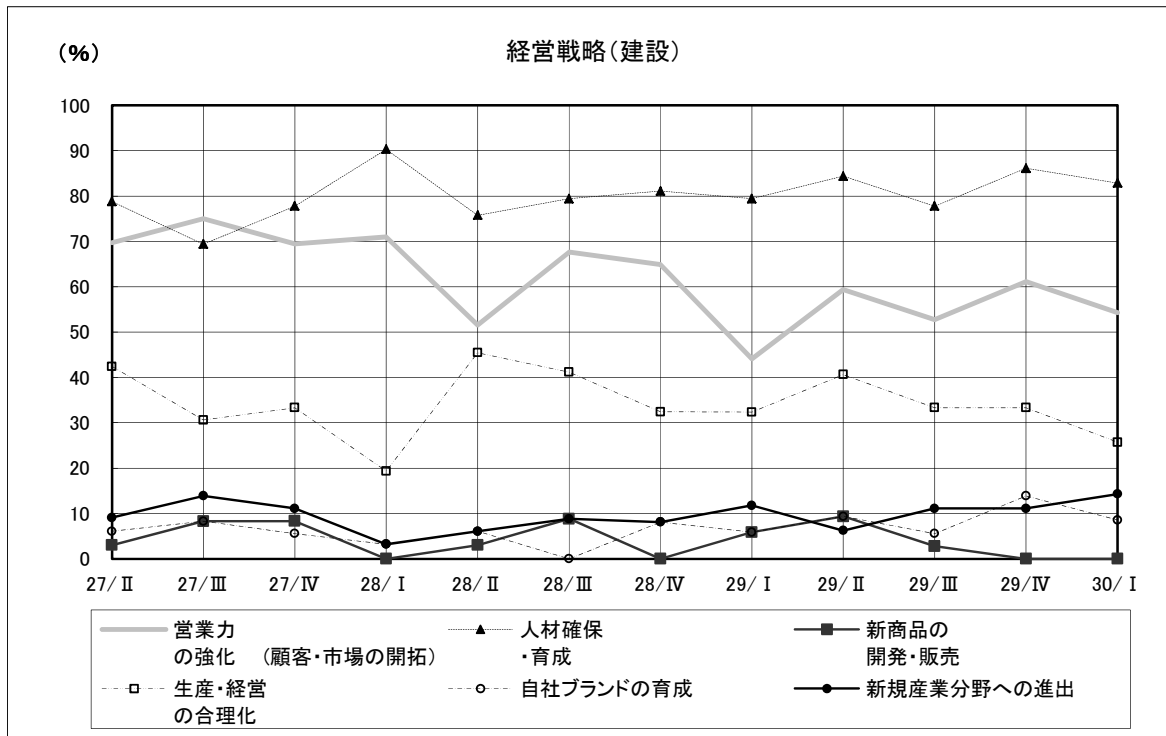


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	自社ブランドの育成	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	298 66.1%	144 31.9%	267 59.2%	69 15.3%	96 21.3%	152 33.7%	30 6.7%	63 14.0%	13 2.9%	451 100.0%	35
製造業	135 60.5%	90 40.4%	118 52.9%	42 18.8%	52 23.3%	104 46.6%	26 11.7%	26 11.7%	7 3.1%	223 100.0%	18
西陣	13 68.4%	9 47.4%	6 31.6%	5 26.3%	11 57.9%	14 73.7%	1 5.3%	3 15.8%	2 10.5%	19 100.0%	1
染色	16 55.2%	14 48.3%	12 41.4%	5 17.2%	10 34.5%	10 34.5%	2 6.9%	3 10.3%	2 6.9%	29 100.0%	2
印刷	19 70.4%	11 40.7%	15 55.6%	4 14.8%	5 18.5%	14 51.9%	0 0.0%	6 22.2%	0 0.0%	27 100.0%	2
窯業	5 33.3%	6 40.0%	4 26.7%	3 20.0%	5 33.3%	9 60.0%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	15 100.0%	1
化学	7 38.9%	6 33.3%	12 66.7%	5 27.8%	1 5.6%	8 44.4%	4 22.2%	2 11.1%	0 0.0%	18 100.0%	3
金属	20 76.9%	12 46.2%	20 76.9%	7 26.9%	3 11.5%	5 19.2%	3 11.5%	3 11.5%	0 0.0%	26 100.0%	1
機械	14 60.9%	11 47.8%	17 73.9%	5 21.7%	2 8.7%	8 34.8%	3 13.0%	1 4.3%	1 4.3%	23 100.0%	5
その他の製造	41 62.1%	21 31.8%	32 48.5%	8 12.1%	15 22.7%	36 54.5%	12 18.2%	7 10.6%	1 1.5%	66 100.0%	3
非製造業	163 71.5%	54 23.7%	149 65.4%	27 11.8%	44 19.3%	48 21.1%	4 1.8%	37 16.2%	6 2.6%	228 100.0%	17
卸売	42 85.7%	10 20.4%	27 55.1%	7 14.3%	13 26.5%	20 40.8%	1 2.0%	8 16.3%	0 0.0%	49 100.0%	4
小売	37 75.5%	16 32.7%	28 57.1%	5 10.2%	10 20.4%	16 32.7%	1 2.0%	5 10.2%	1 2.0%	49 100.0%	4
情報通信	13 72.2%	1 5.6%	15 83.3%	5 27.8%	6 33.3%	3 16.7%	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	18 100.0%	3
飲食・宿泊	15 53.6%	10 35.7%	23 82.1%	0 0.0%	7 25.0%	5 17.9%	1 3.6%	3 10.7%	1 3.6%	28 100.0%	2
サービス	37 75.5%	8 16.3%	27 55.1%	5 10.2%	5 10.2%	4 8.2%	1 2.0%	12 24.5%	4 8.2%	49 100.0%	4
建設	19 54.3%	9 25.7%	29 82.9%	5 14.3%	3 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 17.1%	0 0.0%	35 100.0%	0
観光関連	30 62.5%	14 29.2%	31 64.6%	4 8.3%	14 29.2%	20 41.7%	1 2.1%	5 10.4%	2 4.2%	48 100.0%	4

(3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位7項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

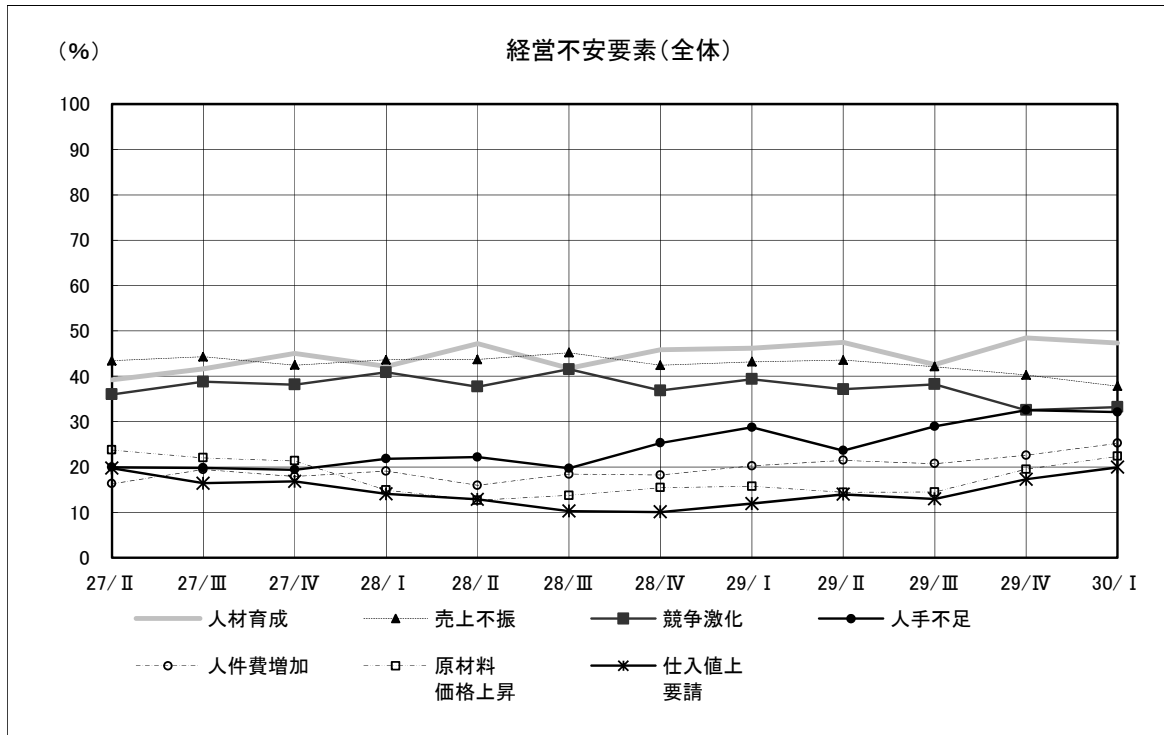


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

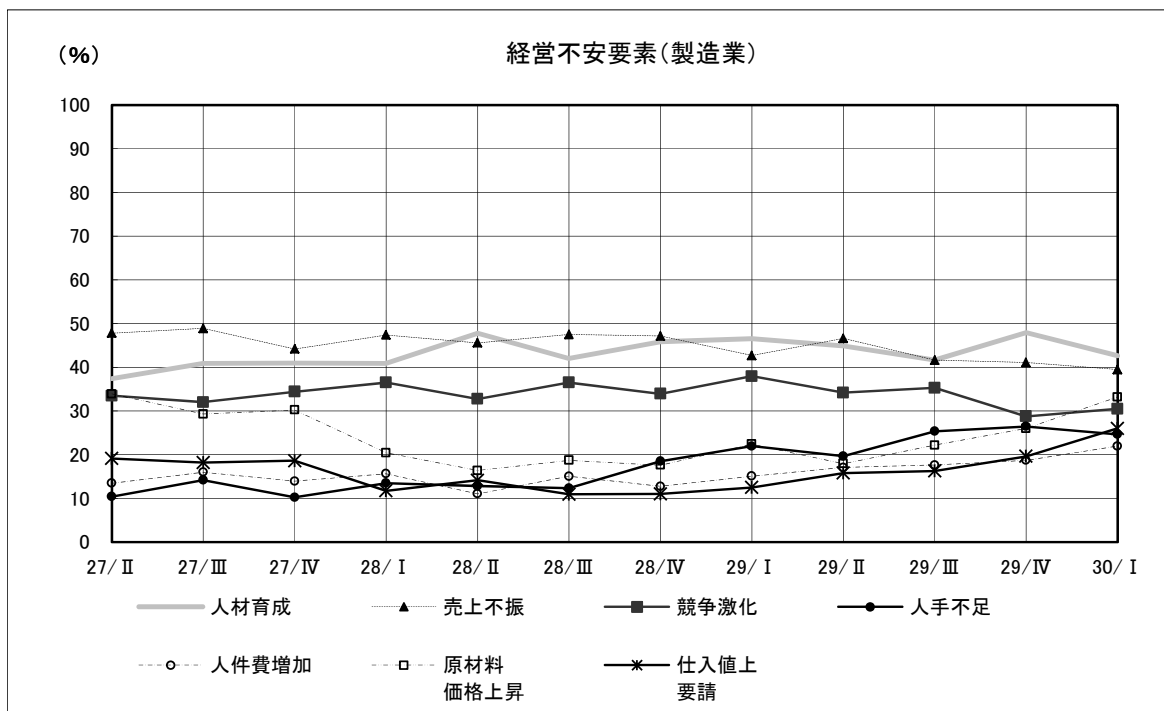


図 41. 経営上の不安要素・西陣

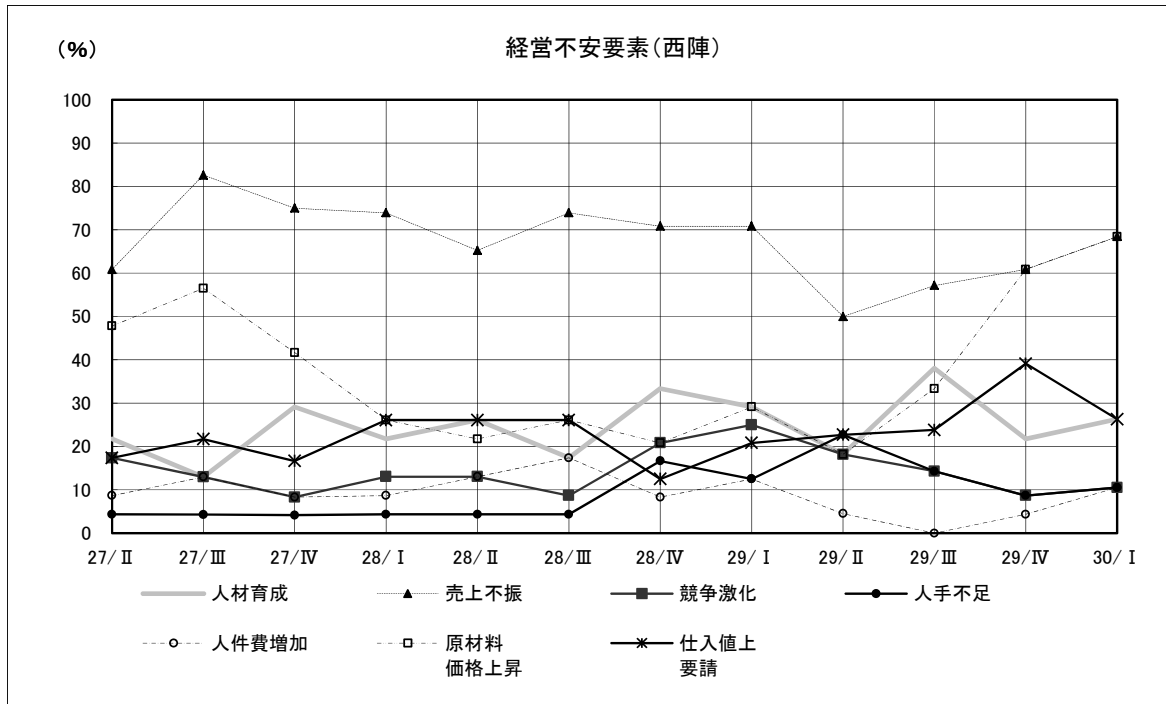


図 42. 経営上の不安要素・染色

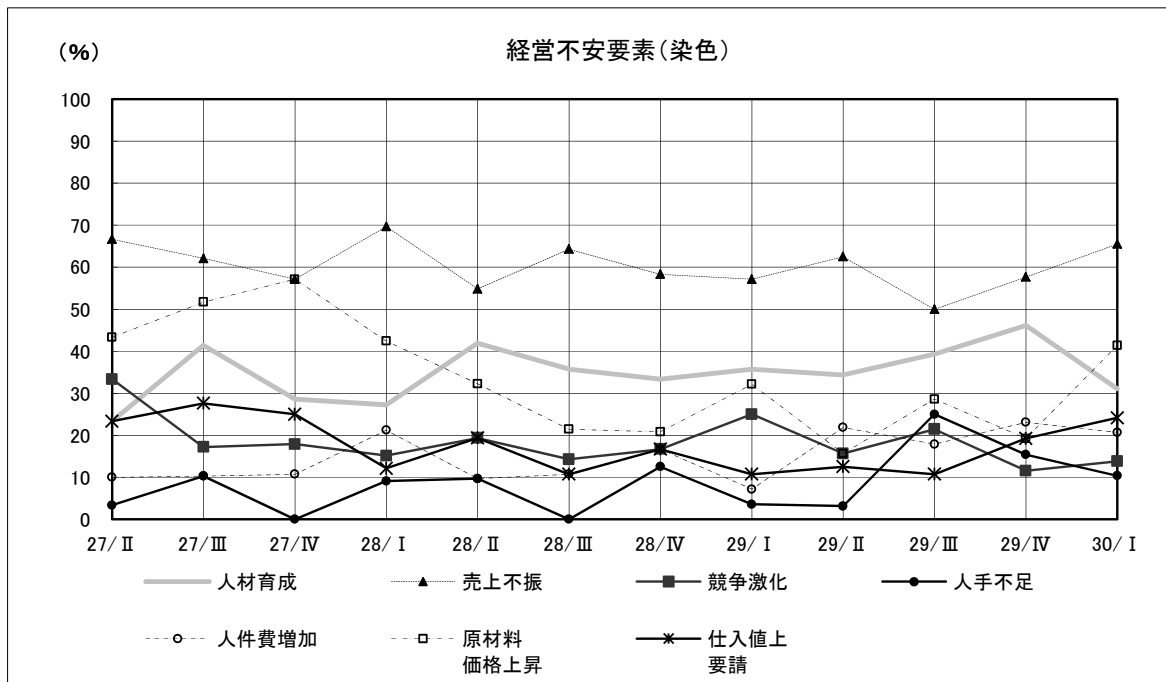


図 43. 経営上の不安要素・印刷

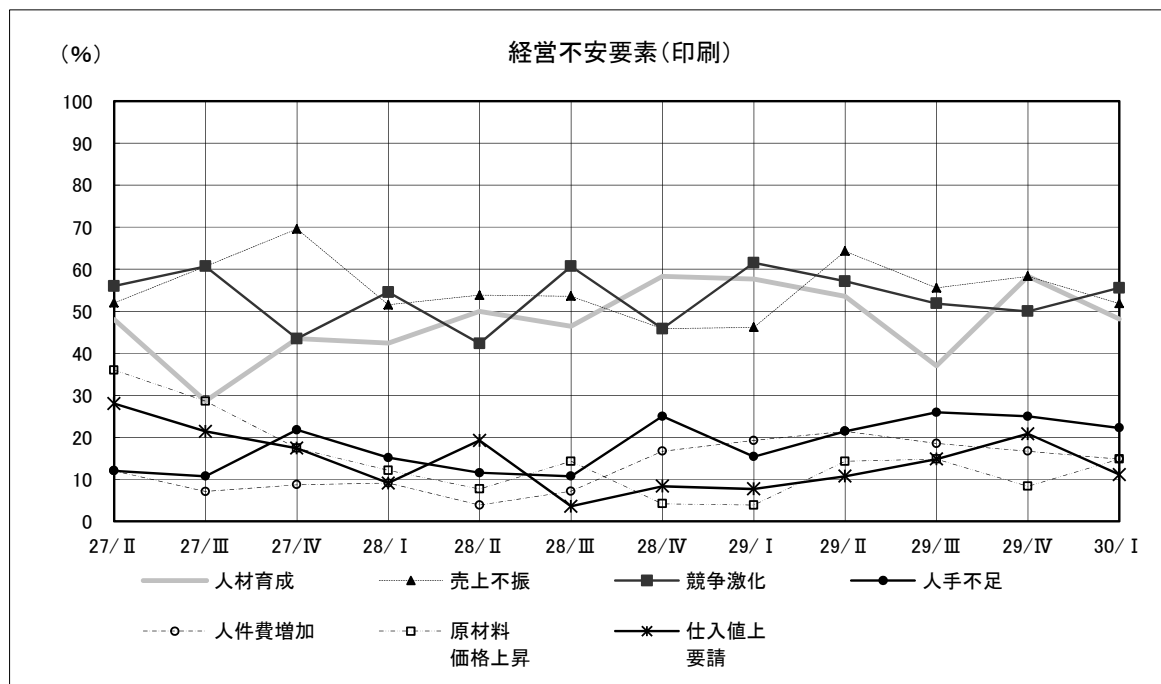


図 44. 経営上の不安要素・窯業

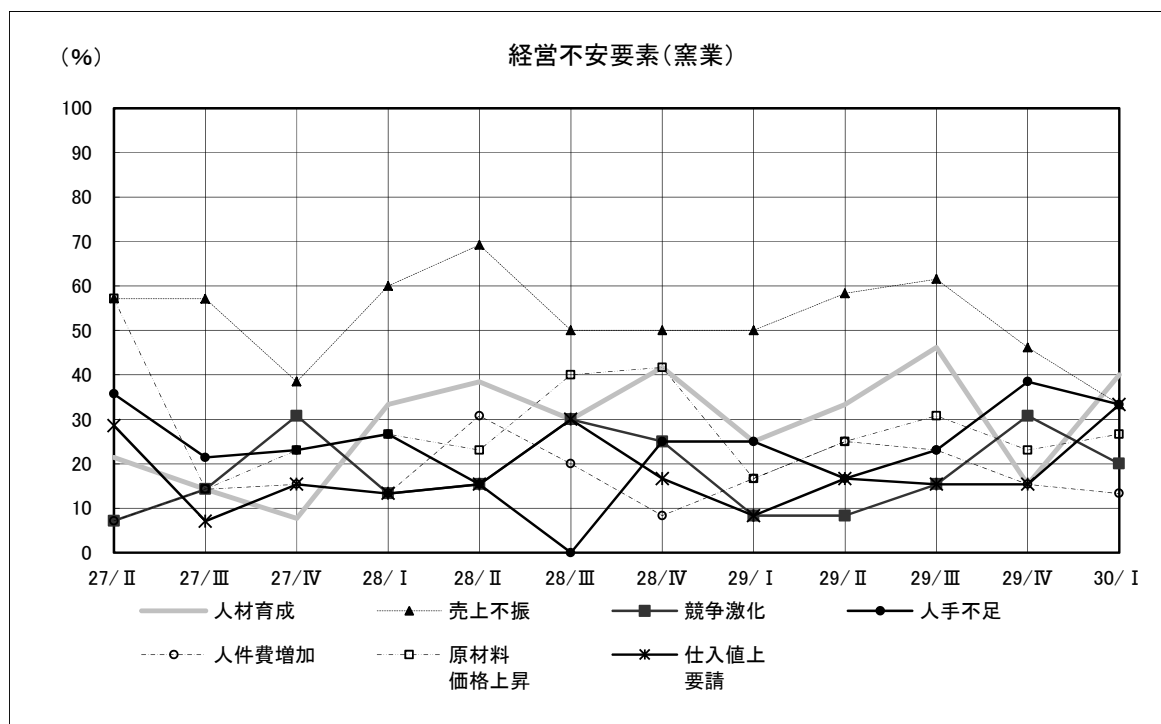


図 45. 経営上の不安要素・化学

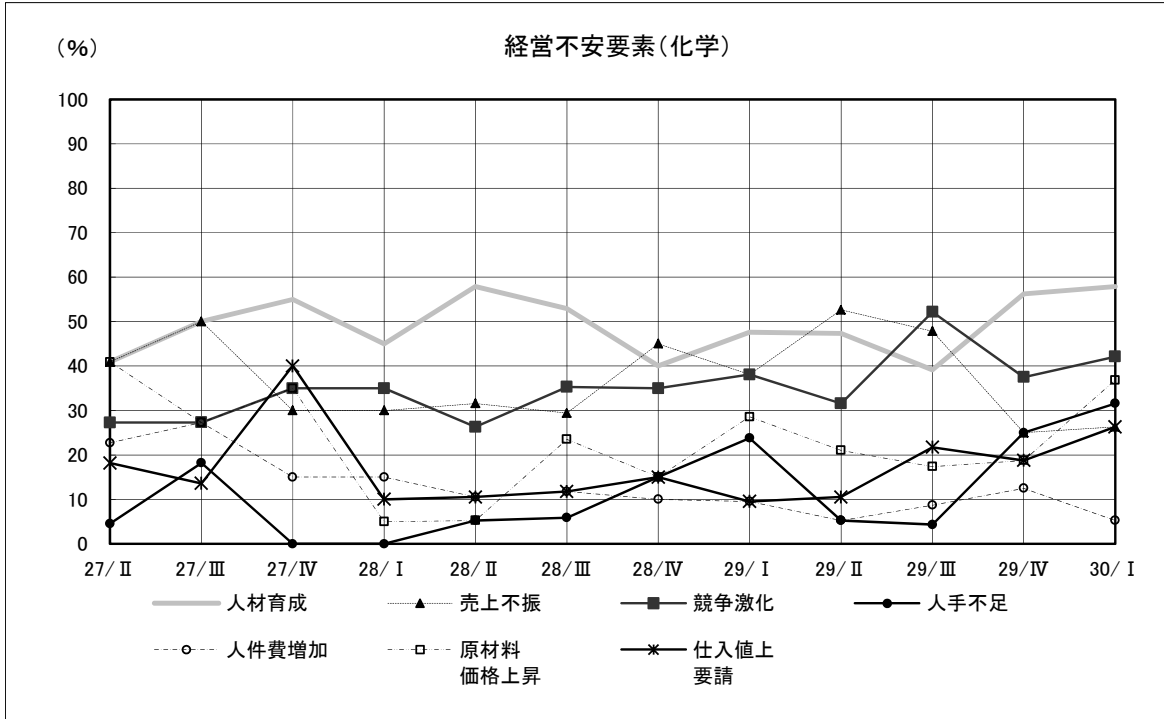


図 46. 経営上の不安要素・金属

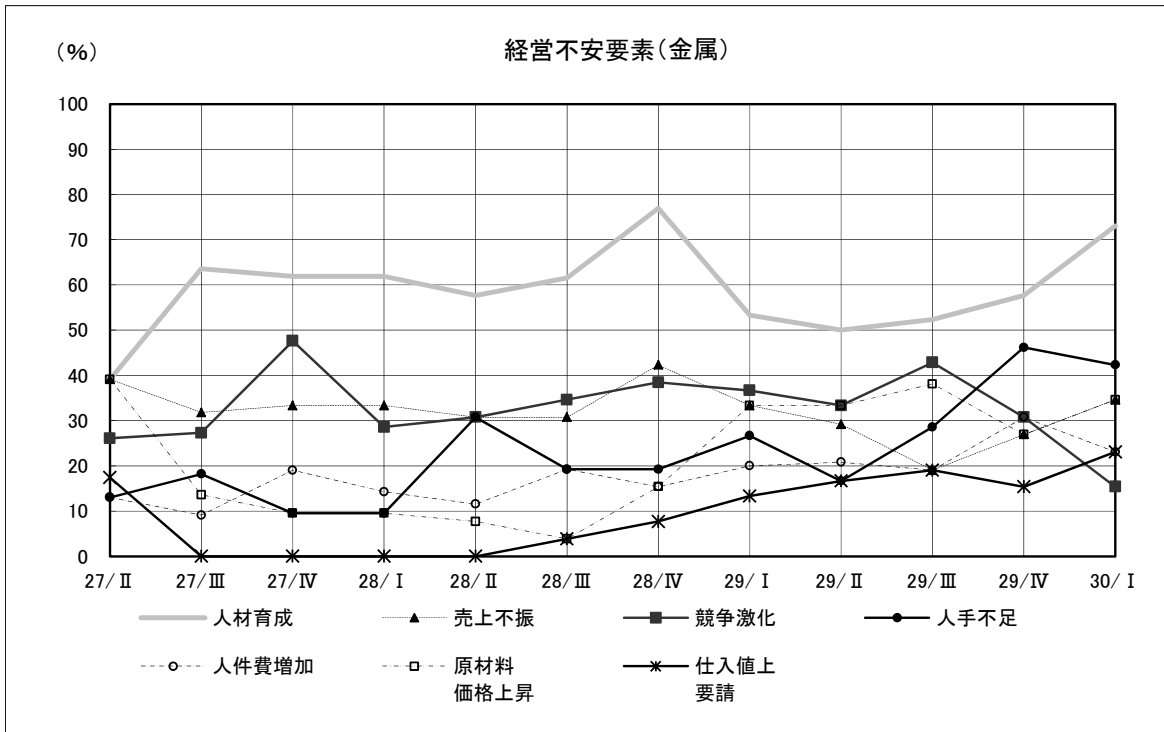


図 47. 経営上の不安要素・機械

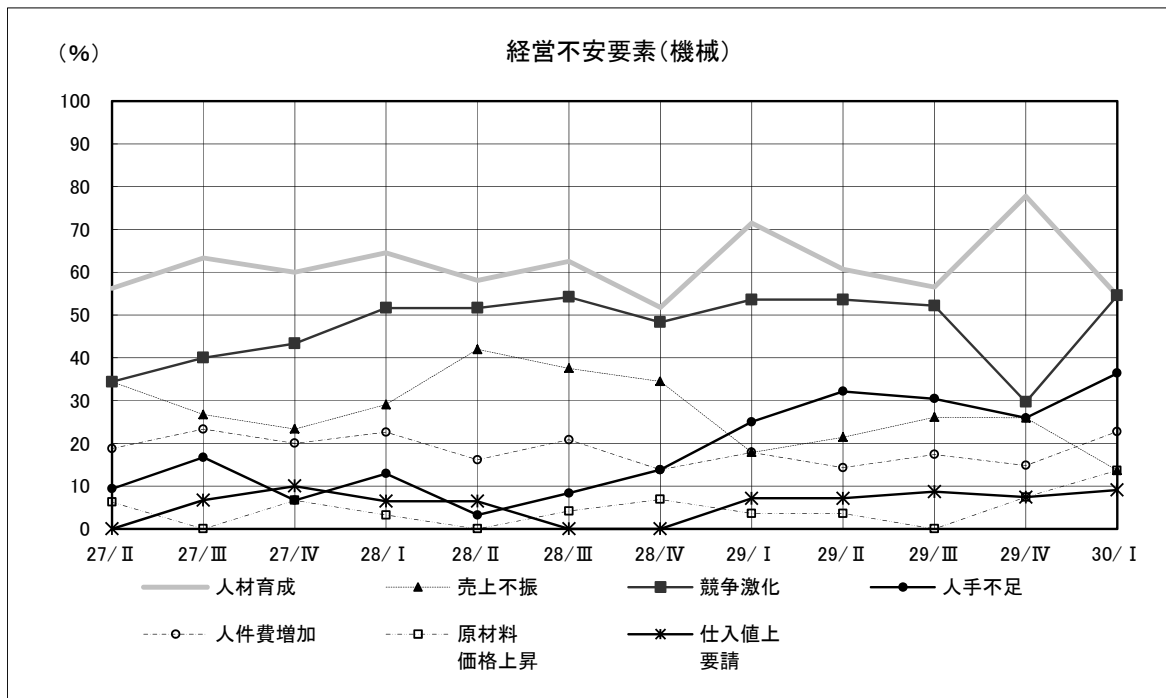


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

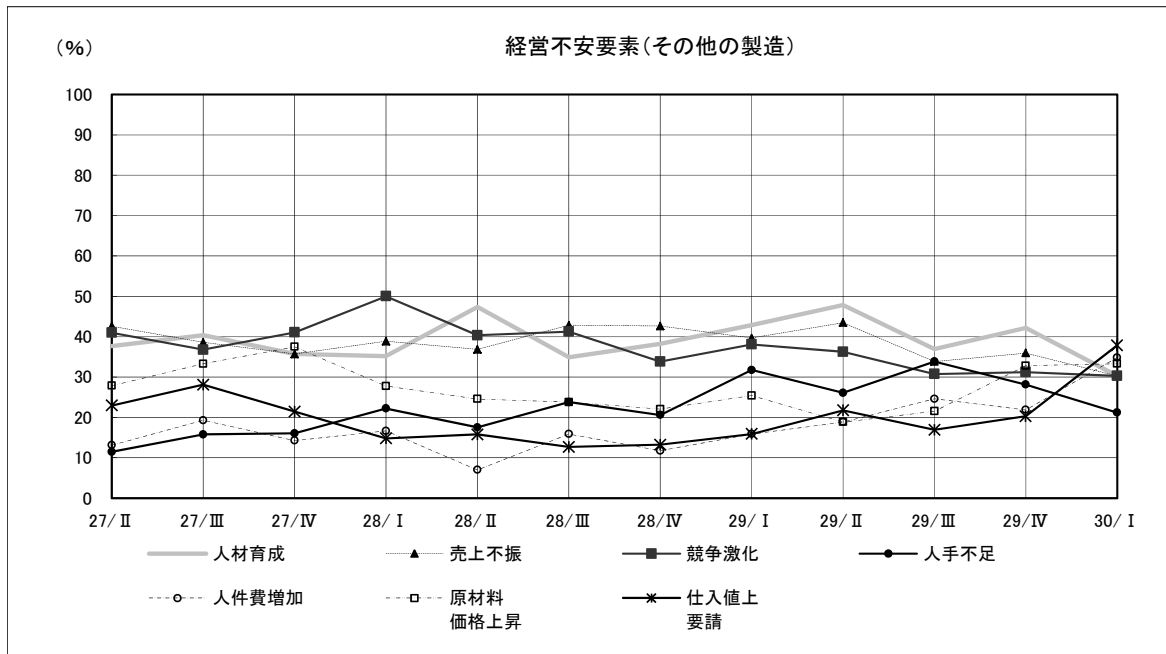


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

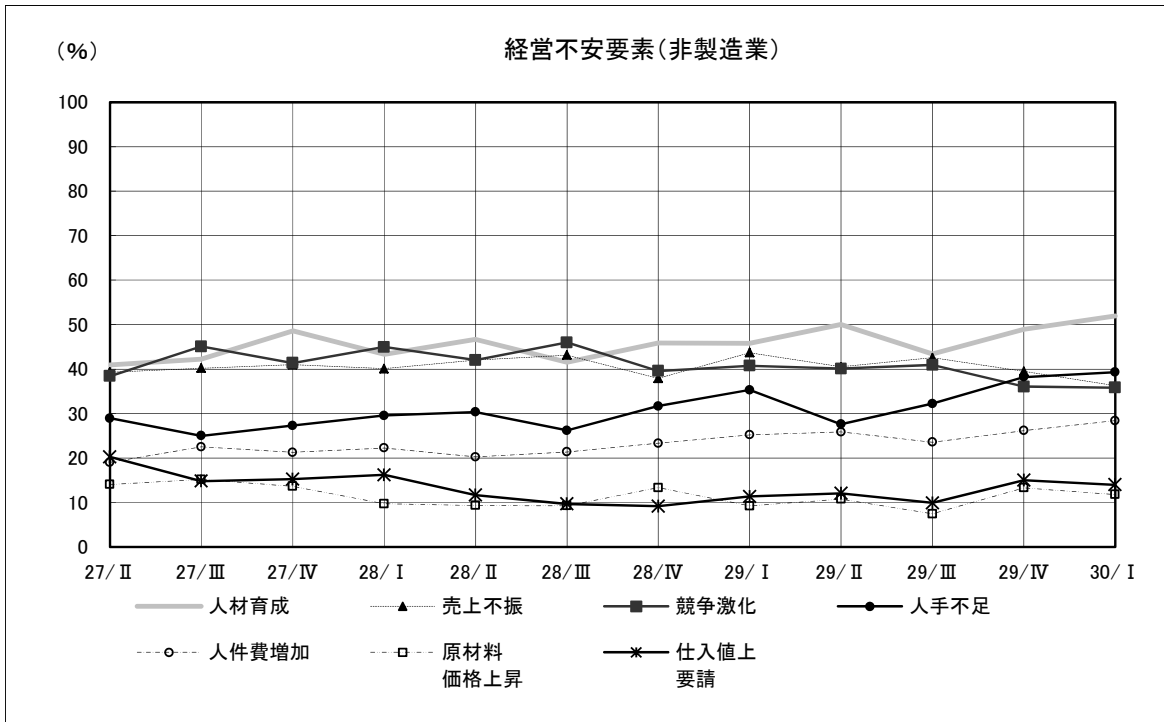


図 50. 経営上の不安要素・卸売

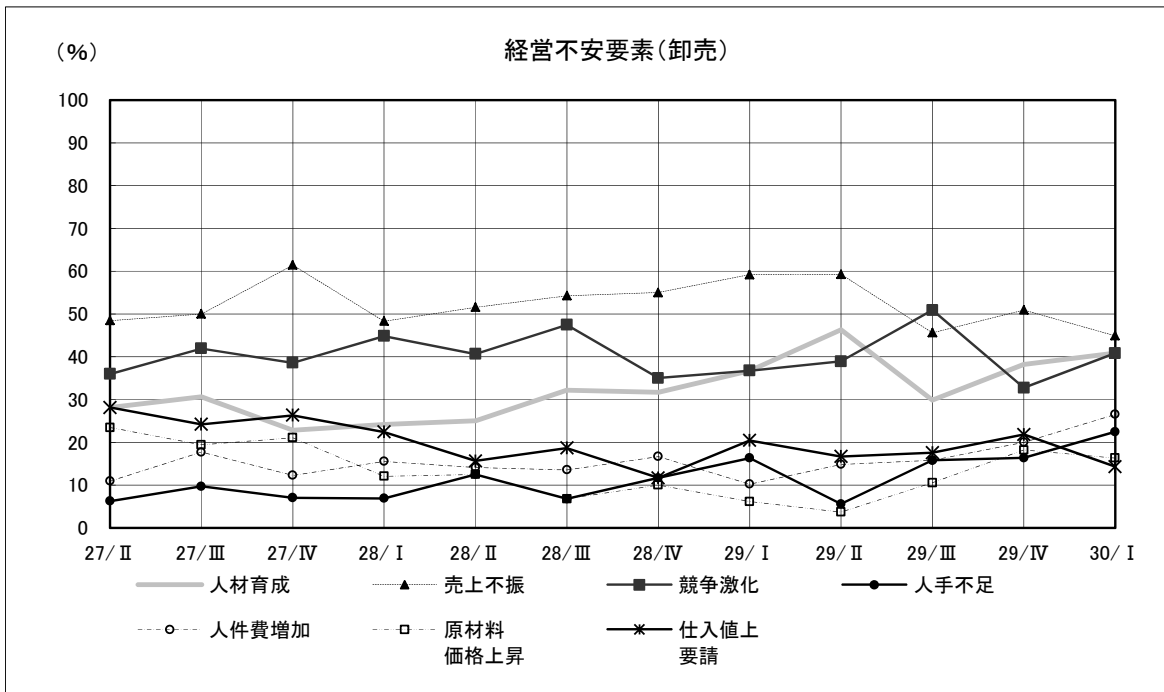


図 51. 経営上の不安要素・小売

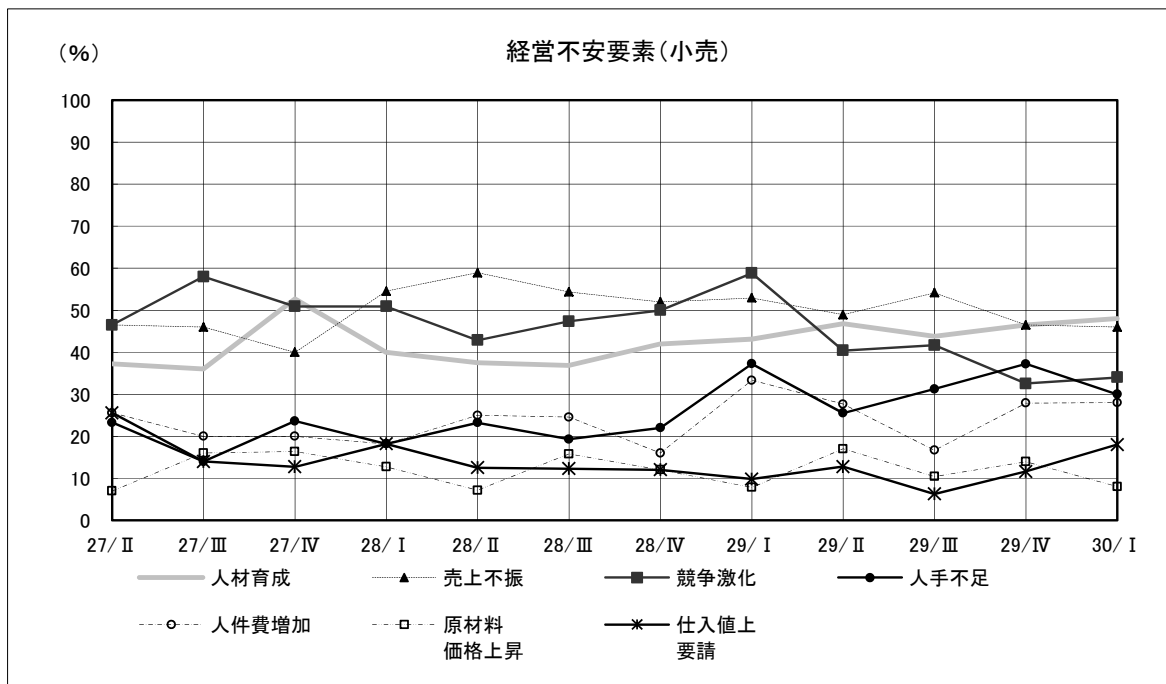


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

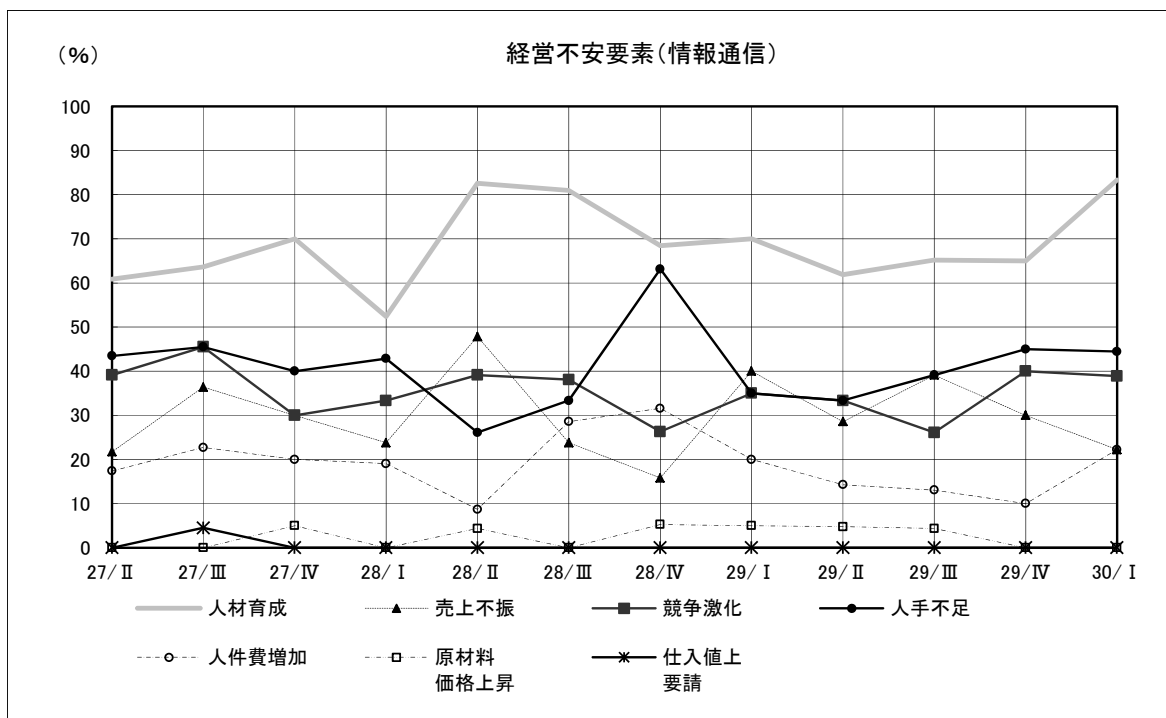


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

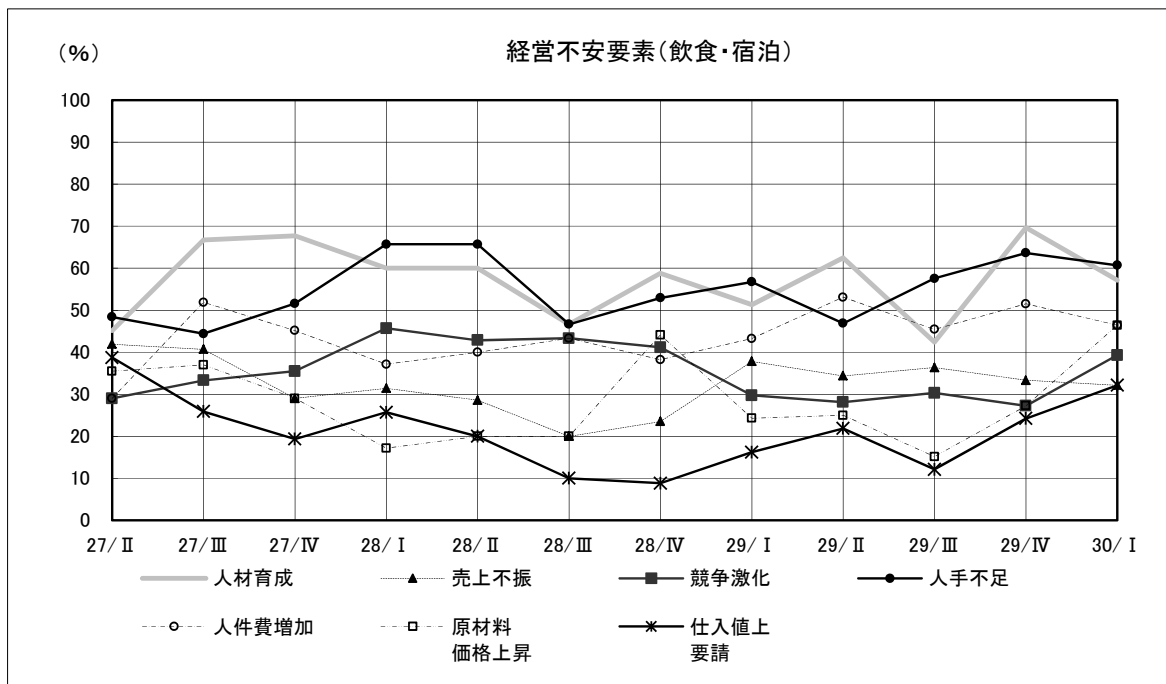


図 54. 経営上の不安要素・サービス

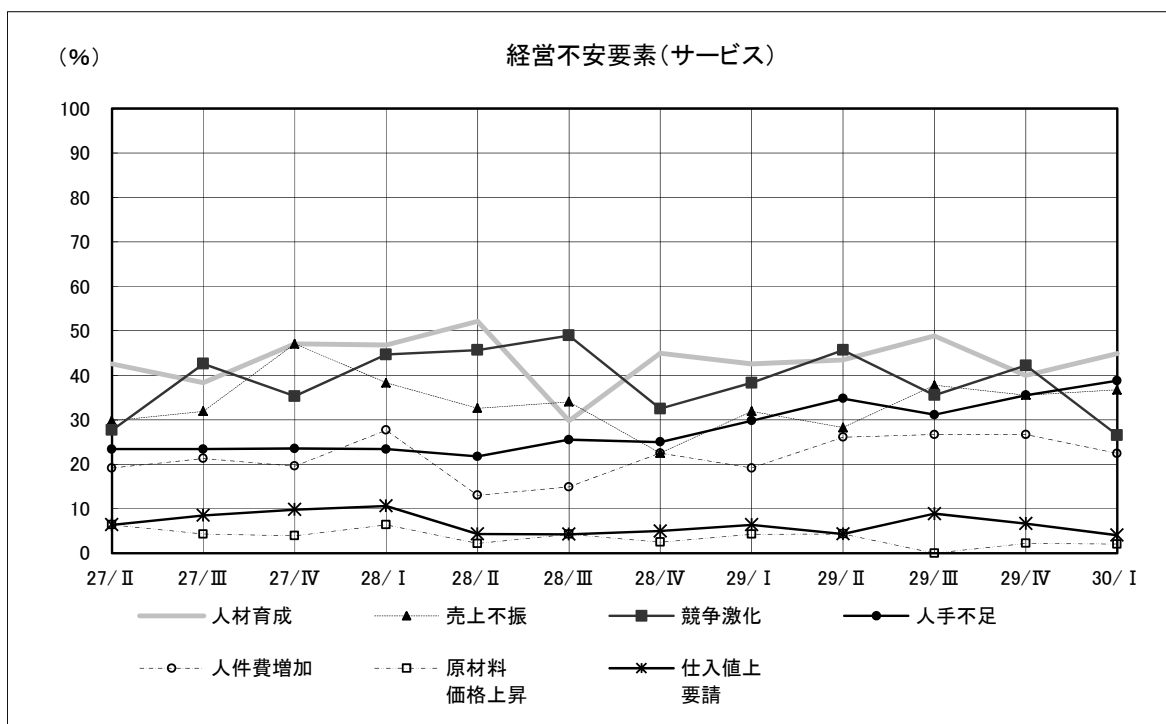


図 55. 経営上の不安要素・建設

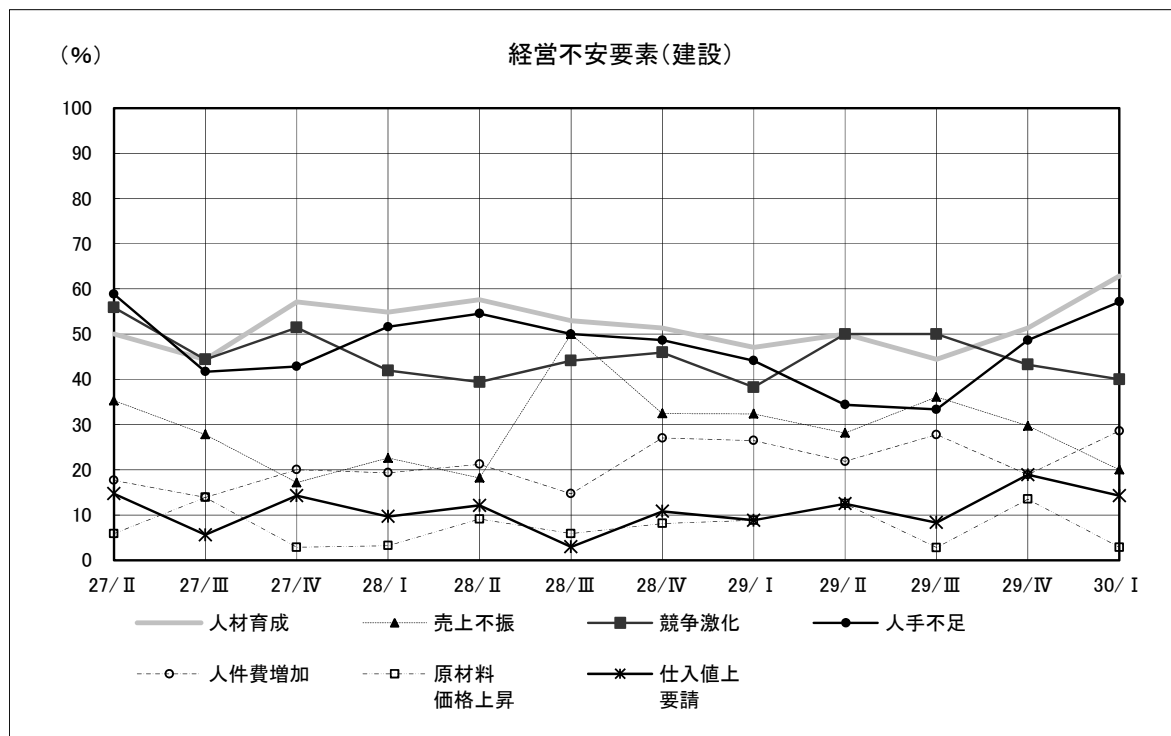


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	150 33.2%	171 37.8%	214 47.3%	42 9.3%	90 19.9%	101 22.3%	12 2.7%	50 11.1%
製造業	68 30.5%	88 39.5%	95 42.6%	23 10.3%	58 26.0%	74 33.2%	7 3.1%	27 12.1%
西陣	2 10.5%	13 68.4%	5 26.3%	1 5.3%	5 26.3%	13 68.4%	0 0.0%	3 15.8%
染色	4 13.8%	19 65.5%	9 31.0%	0 0.0%	7 24.1%	12 41.4%	2 6.9%	1 3.4%
印刷	15 55.6%	14 51.9%	13 48.1%	5 18.5%	3 11.1%	4 14.8%	2 7.4%	5 18.5%
窯業	3 20.0%	5 33.3%	6 40.0%	0 0.0%	5 33.3%	4 26.7%	0 0.0%	2 13.3%
化学	8 42.1%	5 26.3%	11 57.9%	3 15.8%	5 26.3%	7 36.8%	1 5.3%	3 15.8%
金属	4 15.4%	9 34.6%	19 73.1%	2 7.7%	6 23.1%	9 34.6%	2 7.7%	2 7.7%
機械	12 54.5%	3 13.6%	12 54.5%	5 22.7%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%	4 18.2%
その他の製造	20 30.3%	20 30.3%	20 30.3%	7 10.6%	25 37.9%	22 33.3%	0 0.0%	7 10.6%
非製造業	82 35.8%	83 36.2%	119 52.0%	19 8.3%	32 14.0%	27 11.8%	5 2.2%	23 10.0%
卸売	20 40.8%	22 44.9%	20 40.8%	4 8.2%	7 14.3%	8 16.3%	1 2.0%	10 20.4%
小売	17 34.0%	23 46.0%	24 48.0%	3 6.0%	9 18.0%	4 8.0%	1 2.0%	8 16.0%
情報通信	7 38.9%	4 22.2%	15 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
飲食・宿泊	11 39.3%	9 32.1%	16 57.1%	0 0.0%	9 32.1%	13 46.4%	0 0.0%	2 7.1%
サービス	13 26.5%	18 36.7%	22 44.9%	8 16.3%	2 4.1%	1 2.0%	2 4.1%	1 2.0%
建設	14 40.0%	7 20.0%	22 62.9%	4 11.4%	5 14.3%	1 2.9%	1 2.9%	2 5.7%
観光関連	21 43.8%	11 22.9%	28 58.3%	1 2.1%	14 29.2%	15 31.3%	0 0.0%	2 4.2%

	技術力不足	後継者問題	人手不足	人件費増加	円安	その他	有効回答	無回答
全業種	47 10.4%	53 11.7%	145 32.1%	114 25.2%	18 4.0%	13 2.9%	452 100.0%	34
製造業	28 12.6%	25 11.2%	55 24.7%	49 22.0%	11 4.9%	4 1.8%	223 100.0%	18
西陣	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	19 100.0%	1
染色	2 6.9%	3 10.3%	3 10.3%	6 20.7%	2 6.9%	1 3.4%	29 100.0%	2
印刷	3 11.1%	2 7.4%	6 22.2%	4 14.8%	0 0.0%	1 3.7%	27 100.0%	2
窯業	2 13.3%	3 20.0%	5 33.3%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	1
化学	5 26.3%	2 10.5%	6 31.6%	1 5.3%	2 10.5%	0 0.0%	19 100.0%	2
金属	4 15.4%	4 15.4%	11 42.3%	6 23.1%	1 3.8%	0 0.0%	26 100.0%	1
機械	6 27.3%	4 18.2%	8 36.4%	5 22.7%	1 4.5%	1 4.5%	22 100.0%	6
その他の製造	5 7.6%	5 7.6%	14 21.2%	23 34.8%	4 6.1%	1 1.5%	66 100.0%	3
非製造業	19 8.3%	28 12.2%	90 39.3%	65 28.4%	7 3.1%	9 3.9%	229 100.0%	16
卸売	1 2.0%	4 8.2%	11 22.4%	13 26.5%	2 4.1%	6 12.2%	49 100.0%	4
小売	2 4.0%	9 18.0%	15 30.0%	14 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	50 100.0%	3
情報通信	3 16.7%	3 16.7%	8 44.4%	4 22.2%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%	3
飲食・宿泊	1 3.6%	2 7.1%	17 60.7%	13 46.4%	3 10.7%	0 0.0%	28 100.0%	2
サービス	5 10.2%	6 12.2%	19 38.8%	11 22.4%	1 2.0%	2 4.1%	49 100.0%	4
建設	7 20.0%	4 11.4%	20 57.1%	10 28.6%	0 0.0%	1 2.9%	35 100.0%	0
観光関連	3 6.3%	2 4.2%	22 45.8%	21 43.8%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%	4

参考：分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
明治以前	8	(1.6)
明治	13	(2.7)
大正	8	(1.6)
昭和19年以前	27	(5.6)
20 ~ 39年	184	(37.9)
40 ~ 49年	82	(16.9)
昭和50年以降	87	(17.9)
平成	72	(14.8)
無回答	0	(0.0)
不明	5	(1.0)
合計	486	(100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)
法人	481	(99.0)
個人	5	(1.0)
無回答	0	(0.0)
合計	486	(100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
製造業	241	(49.6)	非製造業	245	(50.4)
西陣	20	(4.1)	卸売	53	(10.9)
染色	31	(6.4)	小売	53	(10.9)
印刷	29	(6.0)	情報通信	21	(4.3)
窯業	16	(3.3)	飲食・宿泊	30	(6.2)
化学	21	(4.3)	サービス	53	(10.9)
金属	27	(5.6)	建設	35	(7.2)
機械	28	(5.8)	不明	0	(0.0)
その他の製造	69	(14.2)	合計	486	(100.0)

※観光関連 (観光関連の売上が25%以上)	52	(10.7)
-----------------------	----	----------

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
~ 100万円	2	(0.4)	3001 ~ 5000	73	(15.2)
101 ~ 200	0	(0.0)	5001 ~ 1億円	36	(7.5)
201 ~ 500	33	(6.9)	1億円超	3	(0.6)
501 ~ 1000	200	(41.6)	無回答	0	(0.0)
1001 ~ 3000	134	(27.9)	合計	481	(100.0)

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数	(構成比)	項目	企業数	(構成比)
0 ~ 4人	85	(17.5)	50 ~ 99人	48	(9.9)
5 ~ 9人	82	(16.9)	100人以上	26	(5.3)
10人 ~ 19人	109	(22.4)	無回答	10	(2.1)
20人 ~ 29人	64	(13.2)	合計	486	(100.0)
30 ~ 49人	62	(12.8)			

第126回京都市中小企業経営動向実態調査

【締切日 平成30年3月15日（木）】

貴社の概要を御記入ください。

（該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。）

会社名													
経営形態	法人・個人	資本金					万円	電話					—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年						従業員数						人(うち非正規)
※1 業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造												
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設												
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。												
主な製品、商品、サービス													
御記入者	部課：	役職：					氏名：						

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項目	期間	平成30年1月～3月の実績 (前年の同期と比較して)			平成30年4月～6月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化(顧客・市場開拓) | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 自社ブランドの育成 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------|-----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 為替動向(円安・円高等) | 14 その他() | |

(裏面も御記入ください。)

(5)平成30年度の貴社の設備投資計画についてお尋ねします。(非製造業の方も御回答ください。)

- A. 平成30年度に貴社は設備投資を計画していますか。
該当するものを下記から選び○印を付けてください。
また、「3 計画はない」を選択された方はその理由を記入してください。

1 計画がある	2 実施を検討中
3 計画はない(理由: _____)	

- B. 「計画がある」又は「実施を検討中」と回答された方にお尋ねします。
設備投資の目的はどのようなものですか。
該当するものを下記から選び、○印を付けてください。(複数回答可)
また、回答いただける範囲で、具体的な設備投資の内容と設備投資を行う理由を記入してください。

1 能力増強	2 維持・補修・更新	3 省力化・合理化	4 新規事業・新製品
5 新店舗開設	6 研究開発	7 その他(_____)	

具体的な設備投資の内容:
(例)新しい生産機械を導入する。新しい研究機材を導入する。
海外で生産を増強する。

設備投資を行う理由
(例)現在稼働中の設備が耐用年数を過ぎたため、新しい設備の導入が必要になった。
新規分野を開拓するため、新商品を研究・開発が必要なため。

- C. 「計画がある」又は「検討中」と回答された方にお尋ねします。
投資額の対前年度伸び率はどの程度を予定していますか。
該当するものを下記から選び、○印を付けてください。また、その理由を記入してください。

1 前年度と同じ	2 1~9%の増	3 10~19%の増	4 20%以上の増
5 1~9%の減	6 10~19%の減	7 20%以上の減	8 不明

理由: _____

- D. 「計画がある」又は「検討中」と回答された方にお尋ねします。
計画はいつ頃を予定していますか。該当するものを下記から選び、○印を付けてください。

1 4月~6月期	2 7月~9月期	3 10月~12月期	4 31年1月~3月期
----------	----------	------------	-------------

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。
当調査票は、同封の返信用封筒、もしくは業務委託先の(株)東京商工リサーチ京都支店(FAX:211-4788)にご返送願います。
なお、内容についてのお問い合わせは、京都市産業観光局産業政策課(TEL:222-3325)まで、お願いたします。